

HUAWEI P20

取扱説明書

HUAWEI

目次

ご使用になる前に

各部の名称	1
カード挿入方法	2
充電方法	2
通信設定	3

便利な機能

主な使い方のヒント	8
カメラのヒント	12
スマートライフ	15

ジェスチャーと操作

スクリーンショットとスクリーン録画	18
-------------------	----

ホーム画面

ナビゲーションバー	23
素早い切り替え	24
通知パネルとステータスバー	26
画面ロックとロック解除	28
簡易モード	29
ホーム画面の管理	30

連絡先

名刺の管理	34
連絡先の検索	36
連絡先の管理	37
サードパーティ製アプリの連絡先を統合	38

発信

基本的な通話機能	40
迷惑電話のブロック: 煩わしい電話を安全にブロック	42
VoLTE	43

メッセージ

基本的なメッセージ機能	45
-------------	----

カメラ

基本的なカメラ機能	47
ポートレートモード	50
ワイドアパーチャ	51
パノラマ	52
3D パノラマ	53
プロモード	56

	目次
モノクロ	59
ライトペインティングモード	61
その他の撮影モード	66
ギャラリー	
ハイライト	68
写真の管理	70
端末管理	
ワンタップ最適化の使用	75
モバイルデータ通信量の管理	75
消費電力の最適化	76
ウイルススキャンの有効化	77
メール	
メールアカウントの追加	78
メールアカウントの管理	78
VIP メール連絡先の管理	79
Exchange メール of 自動返信の設定	79
カレンダー	
カレンダー: 一元的な予定管理	80
カレンダーの操作	80
To-Do をインポートしてタスクを整理する	81
世界の休日の表示	81
時計	
時計の使用	82
メモ帳	
メモを管理してレコードを整理する	84
ツール	
天気予報のチェック	85
音声レコーダーを使用した音声メモの作成	85
運転モード	85
HUAWEI ID とマルチユーザー	
マルチユーザー: 端末別のユーザーアカウントを作成	88
複数のユーザーの設定と使用	88
デバイス接続	
Bluetooth	90
NFC	92
デスクトップモード	94
マルチスクリーン表示	98
USB デバイスの接続	100

セキュリティとプライバシー

指紋	105
位置情報の保護	107
PrivateSpace	108
アプリロックを使用して重要なアプリをロック	111
高度なデータ保護: プライバシーの保護	111

バックアップと復元

データのバックアップ: データの消失を防ぐ	113
バックアップ方法の選択	113
データのバックアップ: HiSuite を使用したデータのバックアップ	114
端末の内部ストレージへのデータのバックアップ	114
USB ストレージデバイスへのデータのバックアップ	115
端末のリセット	116
バックアップデータの復元	117
端末のバックアップデータの検索	118

Wi-Fi とネットワーク

Wi-Fi	120
インターネット接続	123

アプリと通知

ツインアプリ: 1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン	124
--------------------------------------	-----

ストレージ

ストレージクリーナー	125
------------	-----

スマートアシスタント

ナビゲーションバーとナビゲーションメニュー	126
-----------------------	-----

システム

入力方法の変更	127
ユーザー補助	127
一般設定	129

法律上の注意事項

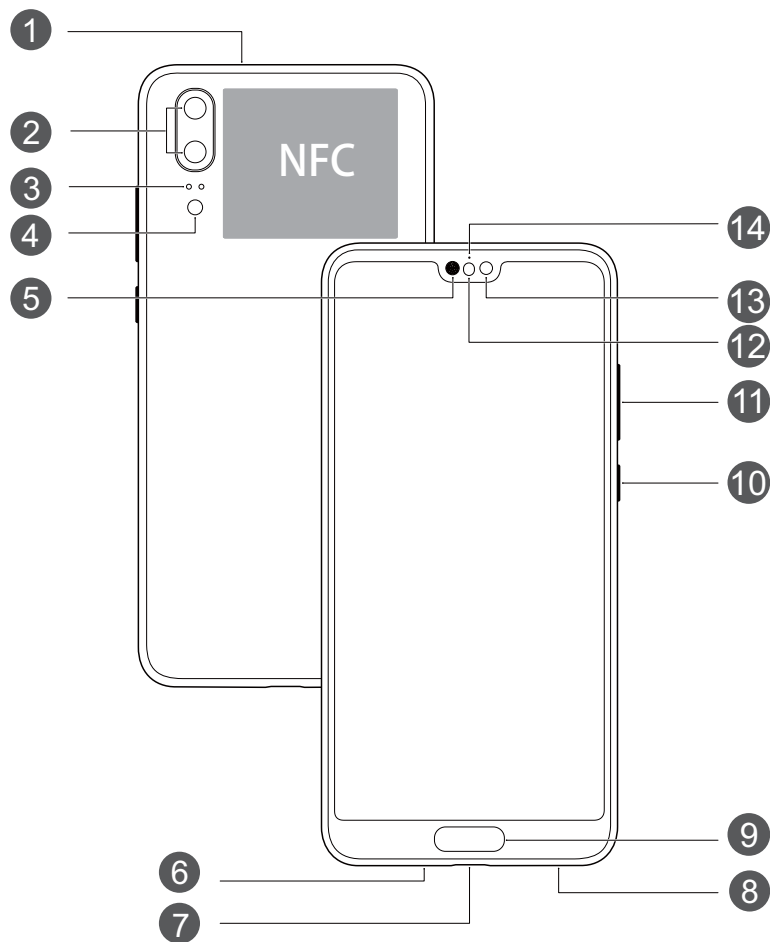
法律上の注意事項	134
個人情報とデータセキュリティ	135
防水防塵	136
ヘルプの取得	137

ご使用になる前に

各部の名称

各部の名称について説明します。

- ⚠ 本機の電源をONにするには、画面が点灯するまで電源ボタンを長押しします。
- 本機の電源をOFFにするには、電源ボタンを長押しし、🔌 をタップします。
- 本機を再起動するには、電源ボタンを長押しし、🌟 をタップします。
- 本機を強制的に再起動するには、電源ボタンを10秒以上長押しします。



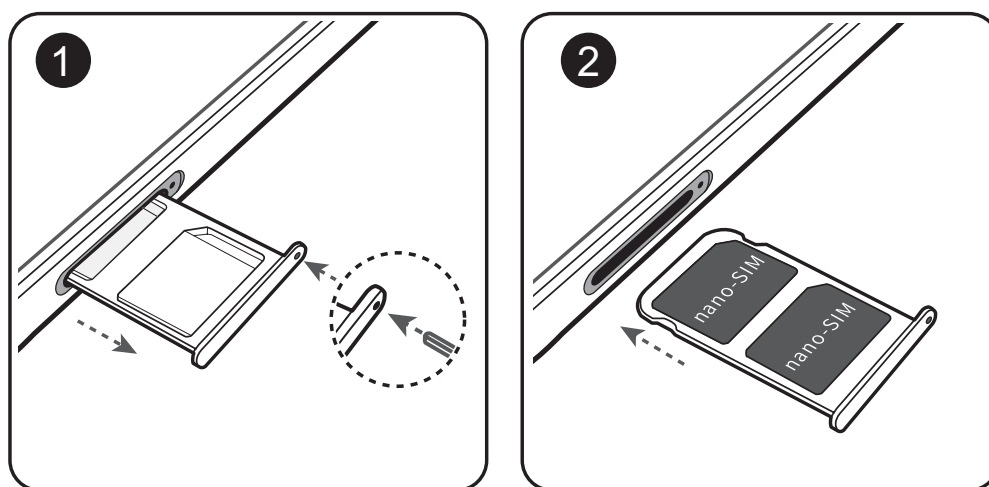
①	サブマイク	②	デュアルレンズカメラ
③	レーザーセンサー	④	フラッシュ/色温度センサー
⑤	受話口	⑥	メインマイク
⑦	USB-C ポート*	⑧	スピーカー
⑨	指紋スキャナー	⑩	電源ボタン

11	音量ボタン	12	照度センサー/光学近接センサー
13	フロントカメラ	14	ステータスインジケータ

(* :ヘッドフォンオーディオは同梱の USB-C イヤホンをご利用いただくか、お手持ちのヘッドフォンを同梱のUSB-C to 3.5mm ヘッドフォンジャックアダプターを用いてご利用いただけます。)

カード挿入方法

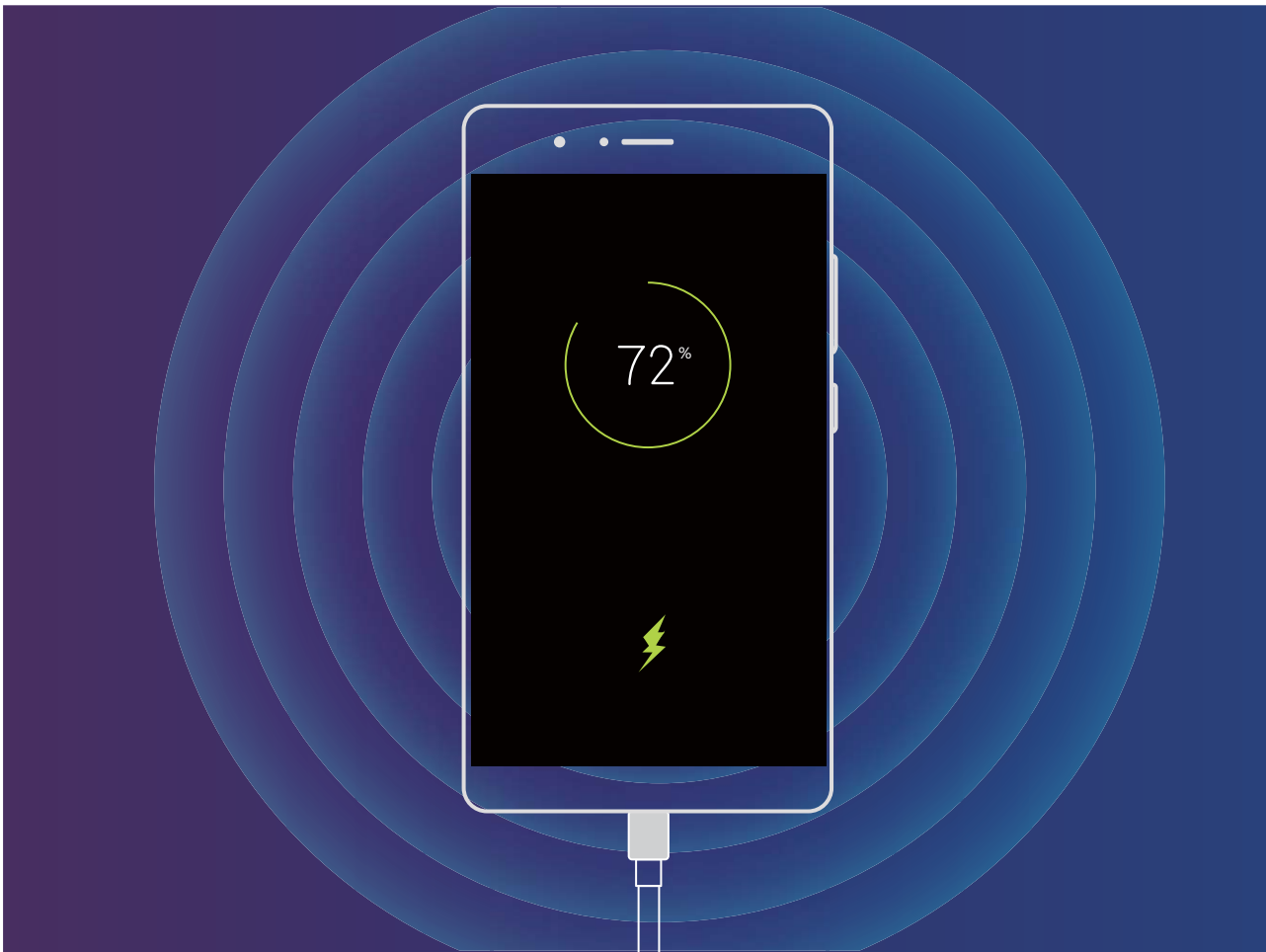
- ⚠ 標準のナノSIMカードを使用して、端末本体に沿って横方向にカードトレイを挿入します(または取り外します)。標準以外のSIMカードを使用したり、間違った方向に挿入すると、カードトレイや端末が損傷するおそれがあります。
- SIM取り出しピンの使用時は、指を怪我したり、端末を傷つけないように十分に注意してください。
- SIM取り出しピンはお子様が悪く誤って飲み込んだり、怪我をしたりしないように手の届かない安全な場所に保管してください。
- SIMカードの挿抜前に端末の電源をOFFにしてください。



充電方法

本端末はSmartCharge機能を搭載しており、充電電圧と充電電流をインテリジェントに調整することで、よりスマートな急速充電を実現します。

- ⚠ 端末を充電する際は、必ず製品付属の充電器とUSBケーブルを使用してください。サードパーティ製の充電器やUSBケーブルを使用すると、再起動が繰り返し発生したり、充電時間が長くなったり、端末の温度が上昇したり、場合によっては、端末のバッテリーが損傷、または焼損することもあります。




通信設定



インターネット接続


端末から簡単にWi-Fiネットワークに接続できます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

- 1 ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。
- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

モバイルデータ通信経由での接続


-  モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。
 - 2  をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。

-  インターネット接続が必要ない場合、モバイルデータ通信を無効にして消費電力とデータ通信量を節約してください。



サウンドと表示

通知の鳴動制限モードの設定

通知の鳴動制限モードでは、知らない人からの着信がブロックされ、選択した連絡先からの着信またはメッセージ受信の場合にだけ通知されます。

 **設定** を開いて **音** > **通知の鳴動制限** に移動します。今すぐ有効にする スイッチをオンに切り替え、**通知鳴動制限モード** をタップして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- 重要な連絡先からの着信とメッセージ: 優先度の高い通知のみ鳴動** を選択して **優先度の高い着信/通知を定義** をタップし、着信またはメッセージ受信を許可する連絡先を設定します。
- 許可 アラーム音: アラームのみ** を選択してアラーム音だけを許可します。
- すべての鳴動の無効化: 鳴動させない** を選択して着信音とバイブレーションを無効にし、着信、メッセージ受信、アラームで画面が点灯しないようにします。

- 
 - あるいは、ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルの  をタップすると、**通知の鳴動制限モード**を容易に有効/無効にできます。
 - 一部のサードパーティ アプリでは、通知の鳴動制限モードを有効にしている場合でも音が鳴ることがあります。アプリ内の設定で、これらのアプリからの通知をミュートにしてください。



時間に関するルール: 設定した時間(週末や夜など)に鳴動を制限します。**時間帯** をタップして、時間と繰り返し間隔を設定し、**時間帯** スイッチをオンに切り替えます。


イベントルール: 会議やイベントの開催中に鳴動を制限します。**予定** をタップすることで、**通知の鳴動制限モード**が有効になります。

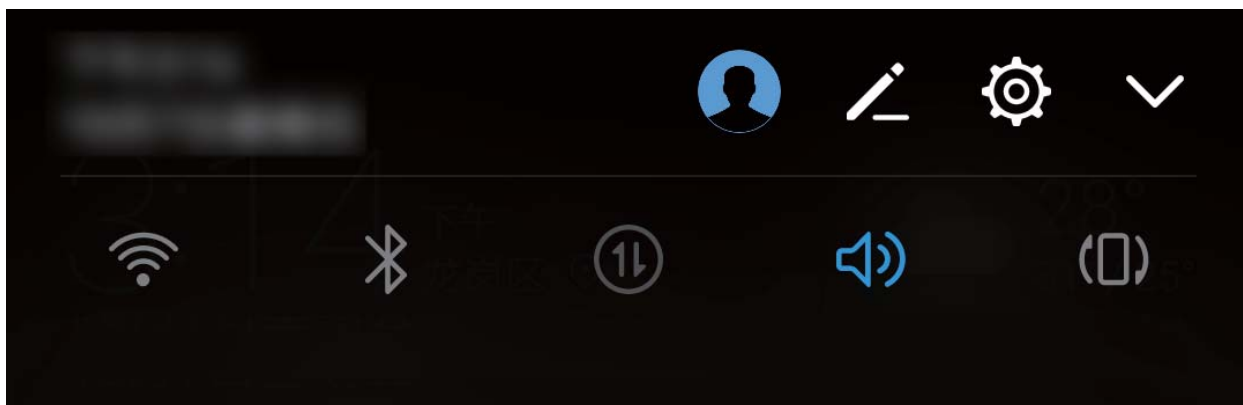
サウンドの設定


映画を観たり、ゲームをしたりするときには、端末のサウンド設定が自動的にステレオサウンドに切り替わって最適なオーディオ体験が実現します。また、さまざまな状況での着信音や音声通知を設定することもできます。

システム音量の調整: 音量ボタンを押しながら  をタップすることで、着信音、メディア、アラーム、通話時の音量を調整できます。

-  また、システム設定で音量を調整することもできます。 **設定** を開いて **音** をタップし、音量スライダーをドラッグして音量を調整します。

サウンドモード、バイブモード、マナーモードの切り替え: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。 をタップして、**サウンド**、**サイレント**、**バイブ** モードを簡単に切り替えることができます。





キーパッドと通知音の有効化:  **設定** を開いて **音 > その他のサウンド設定** に移動し、キーパッドと通知音を有効／無効にします。



端末をマナーモードに設定する: **音** 画面で、**マナーモード** を有効にします。**マナーモード** を有効にした後、**マナーモード時のバイブ** を有効にします。これにより、着信があったときに画面が点灯して端末が振動するようになります。


着信音と通知音のカスタマイズ: **音** 画面で、カスタム着信音を選択するか、**通知** を使用します。

目の疲れを軽減する視力保護モードの有効化

視力保護モードは、ブルーライトを効果的に低減して画面を暖色系の色に調整することで、目の疲れを和らげて視力を保護します。

視力保護モードの有効化:  **設定** を開いて **画面 > 色と視力保護 > 視力保護** に移動し、**視力保護** を有効にします。視力保護モードアイコン  がステータスバーに表示されます。視力保護モードを有効にするとブルーライトが一部カットされ、画面が黄色がかった色になります。

視力保護モードの簡単な有効化／無効化: ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。通知パネルの  をタップしてショートカットパネルを展開し、 を有効／無効にします。


設定した時間に視力保護モードを有効化: 毎日設定した時間に視力保護モードを有効にするように、端末を設定できます。視力保護モードが無効になっている場合、 **設定** を開いて **画面 > 色と視力保護 > 視力保護** に移動し、**時間帯指定** を有効にしてから、**開始時間** と **終了時間** を設定します。

視力保護モードの色温度の調整: 視力保護モードを有効にすると、ブルーライトが一部カットされ、画面が軽く黄色がかった色になります。色温度は必要に応じて調整できます。**視力保護** を有効にしてから色温度スライダーを調整すると、画面の色を寒色系または暖色系にすることができます。

その他の表示設定

ショートカットによる、よく利用する機能へのアクセス

アプリアイコンを長押しすることで、よく利用する機能のメニューが表示され、素早くアクセスできます。また、機能を長押しして、ホーム画面にドラッグすることでショートカットを作成することもできます。

 アプリアイコンを長押ししてもショートカットが作成されない場合、該当するアプリがホーム画面へのショートカット作成に対応していません。

よく利用するアプリ機能に素早くアクセス: ホーム画面のアプリアイコンを長押しすると、よく利用する機能にアクセスできます。各アプリでは、最大4つのよく利用する機能へのアクセスに対応しています。こ

れらはアプリによって事前に設定されているため、変更はできません。たとえば、セルフィーを撮影するには、カメラアイコンを長押しして、ポップアップメニュー内の **セルフィー** をタップします。

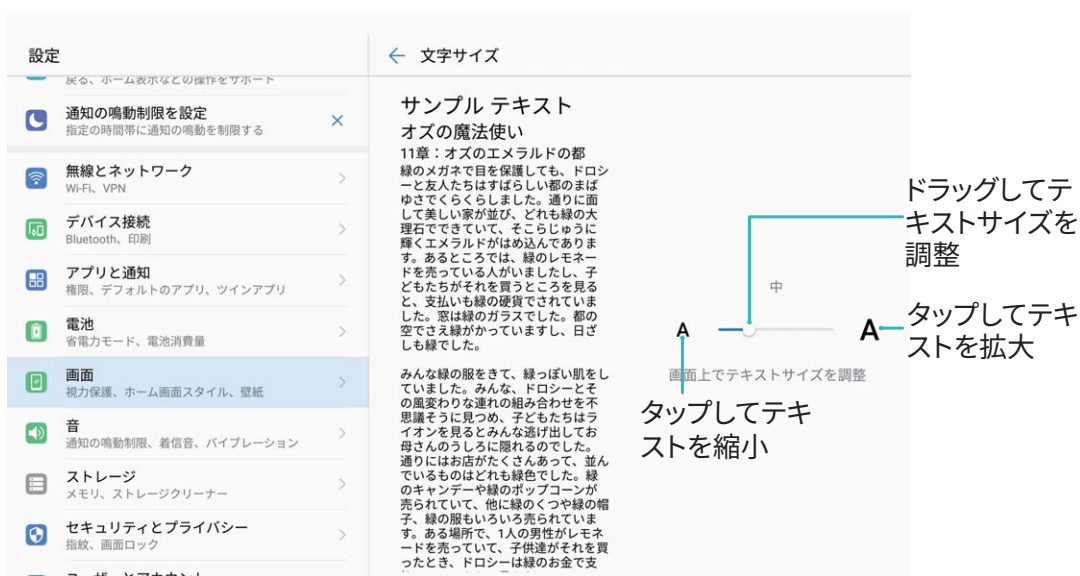
ショートカットをホーム画面に追加: ホーム画面でアプリアイコンを長押しすることで、メニューが起動します。該当する機能を長押しし、ホーム画面にドラッグすることでショートカットが作成されます。たとえば、カメラのセルフィー機能のショートカットを作成することで、セルフィー機能に素早くアクセスできます。


画面設定の変更

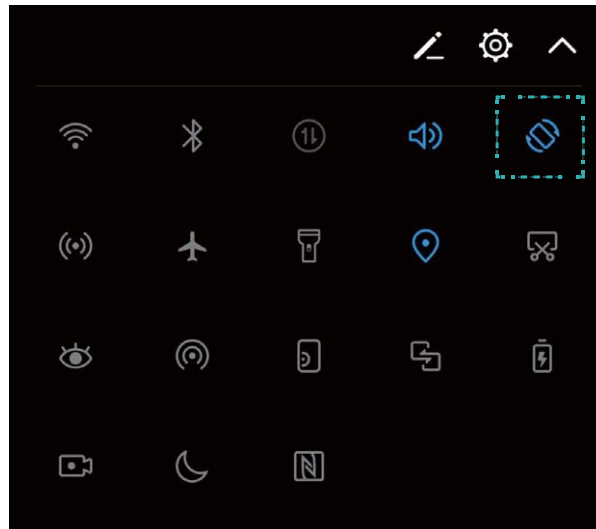
必要に応じてフォントサイズを変更したり、画面の明るさを調整できます。

 **設定** を開いて、**画面** をタップします。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **ノッチ表示設定:** **ノッチ** をタップして、ノッチの表示設定を行います。
- **画像と文字サイズの変更:** **表示モード** をタップし、必要に応じて画面モードを選択します。
- **フォントサイズの変更:** **文字サイズ** をタップし、指定のサイズを選択します。



- **画面の明るさの調整:** **画面の明るさ** で、**自動** の横のチェックボックスをオンにします。このオプションが有効な場合、周囲の明るさに基づいて画面の明るさが自動的に調整されます。明るさを手動で調整するには、**自動** の横のチェックボックスをオフにし、明るさのスライダーをドラッグするか、ステータスバーを下にスワイプして通知パネルを開き、明るさの設定にアクセスします。
- **画面の自動回転を有効にする:** **画面の自動回転** を有効にします。また、ステータスバーを下にスワイプすると、通知パネルが開くので、 を有効にします。



- **色温度の調整**: **色と視力保護** > **色彩と色温度** をタップします。事前に設定されているオプション(デフォルト、暖色、寒色)を選択するか、スライダーをタップまたはドラッグして、色温度を手動で調整します。**視力保護** が有効なときには、色温度を変更できません。
- **画面解像度の自動調整**: **画面の解像度** をタップし、**スマート解像度** を有効にします。画面解像度が自動的に調整され、消費電力を節約します。
- **スクリーンセーバーを有効にする**: **スクリーンセーバー** をタップして **スクリーンセーバー** を有効にし、**写真** と **長さ** を設定します。端末の充電中またはスタンバイモード実行時に端末に写真のスライドショーが表示されます。

便利な機能

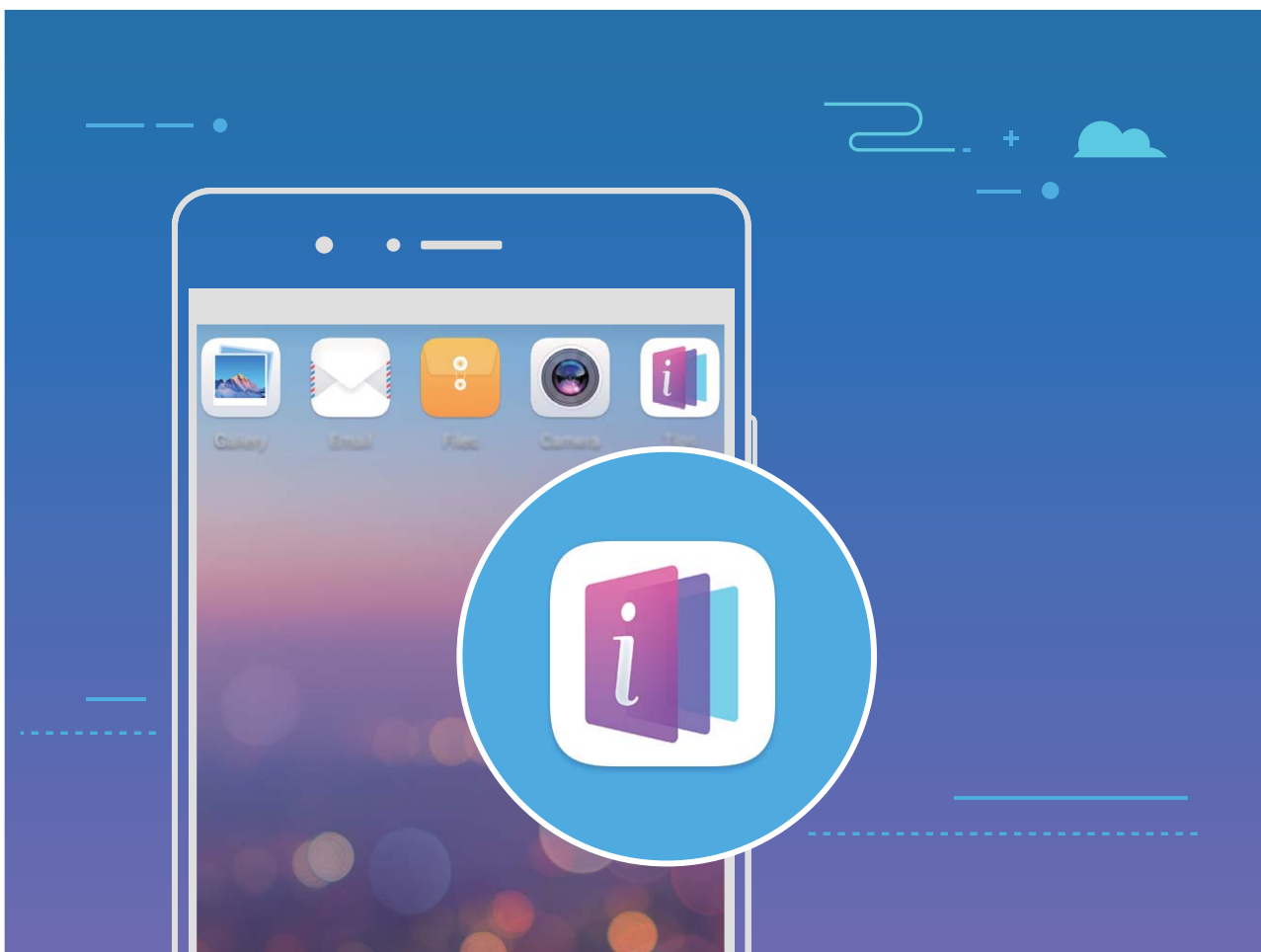
主な使い方のヒント

ヒント: 端末の機能を理解する端末

新しい端末を入手したばかりで機能がよくわからない場合は、ヒントアプリを使用してみてください。

ヒントは端末にプリインストールされているアプリです。ヒントではいくつかの機能が説明され、ユーザーガイドへのリンクが示されます。これにより、端末の使い方をすぐに覚えることができます。

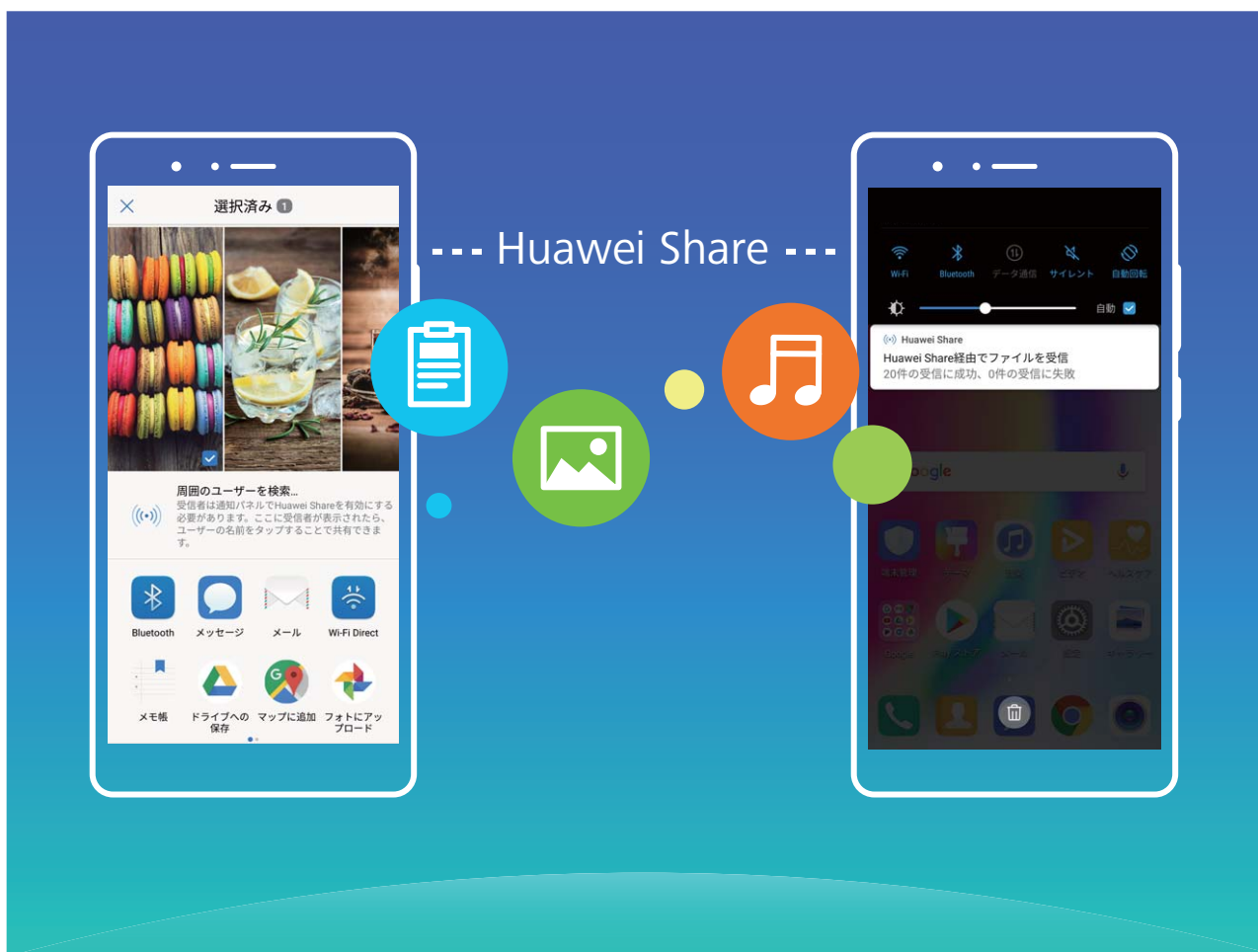
- ① **直観的なヒント:** 新しい端末をしばらく利用すると、スマートヒント機能がその端末で自動的に有効になります。この機能は、使用シナリオごとに直観的なヒントを提示します。こうしたヒントにより、端末をよりスマートに活用できるようになります。




Huawei Share を使用して Huawei 端末間でファイルを素早く共有する

Huawei Shareを使用すると、Huawei端末間で写真やビデオ、その他のファイルを素早く転送できます。Huawei Shareでは、近くにあるHuawei端末をBluetoothで検出し、モバイルデータ通信を使用せずに、Wi-Fiでファイルを素早く転送できます。

- ① Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが両方とも自動的に有効になります。



Huawei Shareを使用したファイルの送信: 他のHuawei端末に送信したいファイルを選択し、共有 をタップします。近くにある端末のリストからファイル送信先の端末を選択し、ファイルを送信します。


Huawei Shareを使用したファイルの受信: ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開き、 をタップしてHuawei Shareを有効にします。ファイル転送通知が表示されたら、受信 をタップします。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Huawei Share** フォルダに保存されます。

 2台のHuawei端末が同じHUAWEI IDを使用してログインしている場合、確認は必要ありません。


Huawei Share を使用して端末とコンピュータ間でファイルを転送する

Huawei Shareを使用すると、端末からコンピュータ(Windows/Mac)に写真やファイルを簡単に転送することができます。USBケーブルは必要ありません。

端末上のファイルをWindowsコンピュータと共有する

- 1  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** をタップして **Huawei Share** を有効にします。コンピュータ上に表示される名前 を記録しておきます。
- 2 PCでネットワークフォルダを開き、コンピュータ上に表示される名前 をダブルクリックします。
- 3 パスワードを入力します。パスワードは **デバイス接続** > **Huawei Share** > **コンピュータでの確認** で確認できます。
- 4 アルバムまたは内部ストレージを表示します。


端末上のファイルをMacコンピュータと共有する

- 1  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** をタップして **Huawei Share** を有効にします。コンピュータ上に表示される名前 を記録しておきます。

- 2 MacからFinderを開き、記録しておいたコンピュータ上に表示される名前をダブルクリックします。
- 3 新しいユーザーの登録を選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。パスワードは **デバイス接続** > Huawei Share > **コンピュータでの確認** で確認できます。
- 4 アルバムまたは内部ストレージを表示します。

ナビゲーションメニュー:どこからでも端末の機能にアクセス



端末でナビゲーションメニュー機能を有効にすると、ナビゲーションボタンを使用せずに、端末を片手で快適に操作できるようになります。

 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー に移動して、ナビゲーションメニュー を有効にします。● が画面に表示されます。その後、任意の位置までドラッグします。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る**:ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム**:ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **バックグラウンドアプリの表示**:ナビゲーションメニューを長押ししてから、左右にスワイプすると、バックグラウンドで実行されているアプリが表示されます。

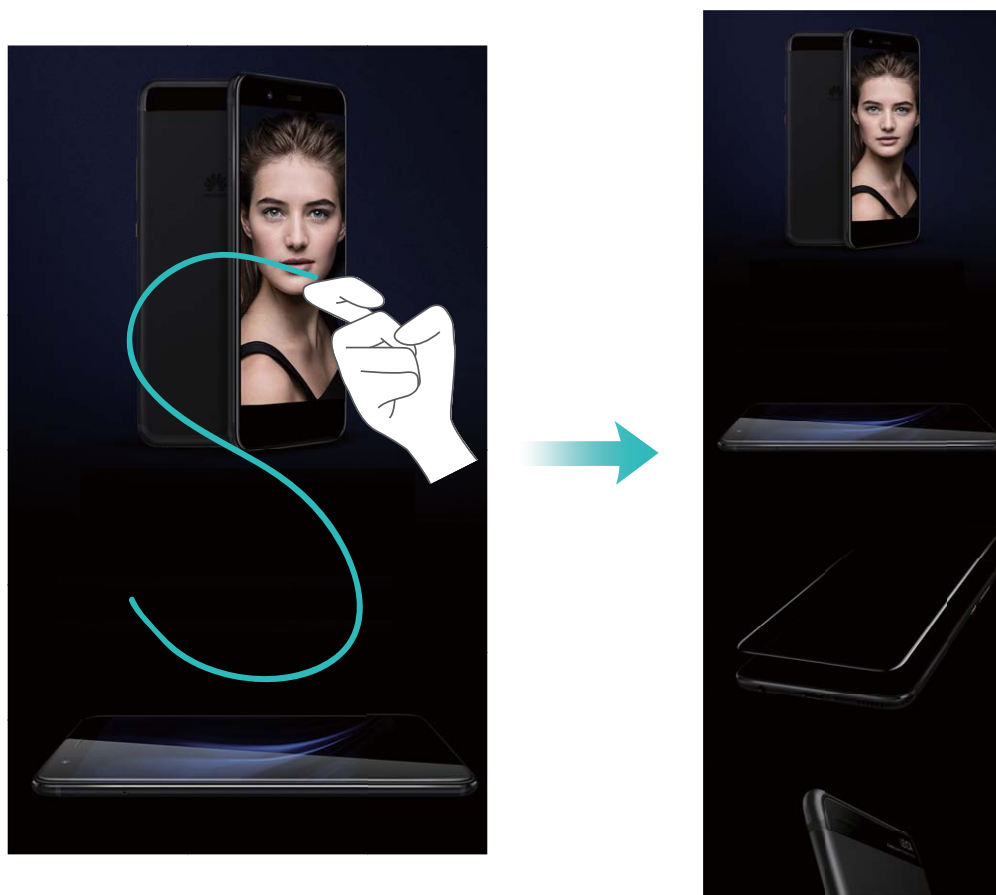
スクロールスクリーンショットによるページ全体のキャプチャ取得

長い記事やチャット履歴をキャプチャするのに何度もスクリーンショットを撮影するのは面倒なものです。端末のスクロールスクリーンショット機能を使用すると、ページの下までスクロールしたスクリーンショットを撮影できるため、1回のスクリーンショットで複数ページのすべての情報をキャプチャできます。

ショートカットを使用したスクロールスクリーンショットの撮影:ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開いてから  をタップし、スクロールスクリーンショットを撮影します。スクリーンショットの撮影から3秒以内に  をタップすると、画面が自動的に下までスクロールし、スクリーンショットの撮影を続けます。スクロール中にスクロール領域をタップすると、スクリーンショットの撮影が終了します。



指関節を使用したスクロールスクリーンショットの撮影: 指関節で画面をタップして、画面に指関節をつけたまま「S」という文字を描きます。画面が自動的に下にスクロールして、スクリーンショットが撮影されます。スクロール中にスクロール領域をタップすると、スクリーンショットの撮影が終了します。



ツインアプリ:1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン

LINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思ったことはありませんか？ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

i ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。


⚙️ 設定 を開きます。**アプリと通知** > **ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しすることで素早くツインアプリ機能を無効にできます。

カメラのヒント

モノクロ写真の撮影





世界には色があふれています。しかし、色彩が多すぎると何を見せたいのかわかりづらくなることもあります。モノクロモードを使用して色を取り除くと、光と影が強調され、写真にムーディで独特な雰囲気を加えることができます。




 **カメラ** > **その他** > **モノクロ** に移動してモノクロで写真を撮影します。



ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

セルフィーやグループ写真をもっと美しく魅力的にしたい。そんなときには、ポートレートモードのカスタムオプションを使用することで、美しく、思い出に残る写真を撮影することができます。

ポートレートモードを有効にしてさらに魅力的な写真を撮影する:  **カメラ** > **ポートレート** >  に移動します。スライダーを左右にドラッグして、ビューティー設定を調整します。ビューティーレベルを上げると、ビューティー効果がより鮮明になります。ビューファインダーの  アイコンをタップし、(ライティングなし、ソフトライティング、バタフライライティング、スプリットライティング、ステージライティング、クラシックライティング)を選択します。調整が終わったら、 をタップして写真を撮影します。

パーフェクトセルフィーモードを有効にしてビューティー設定をカスタマイズする:  **カメラ** > **ポートレート** >  に移動してカメラ設定画面を起動します。パーフェクトセルフィーをタップして有効にします。画面の指示に従って正面向き、左右横向き、さらに下向きで自分の写真を撮り、次にビューティー設定パラメータを設定します。パラメータの値を大きくするほど、よりスリムで鮮明なビューティー効果になります。設定を確認した後、 をタップすると、カスタマイズしたビューティー設定が保存されます。


- **個人情報**を再入力する:カメラの設定画面で **パーフェクトセルフィー** > **個人情報**を編集 に移動し、画面の指示に従って正面向き、左右横向き、さらに下向きで自分の写真をもう一度撮ります。これにより、ビューティー設定パラメータが再設定されます。

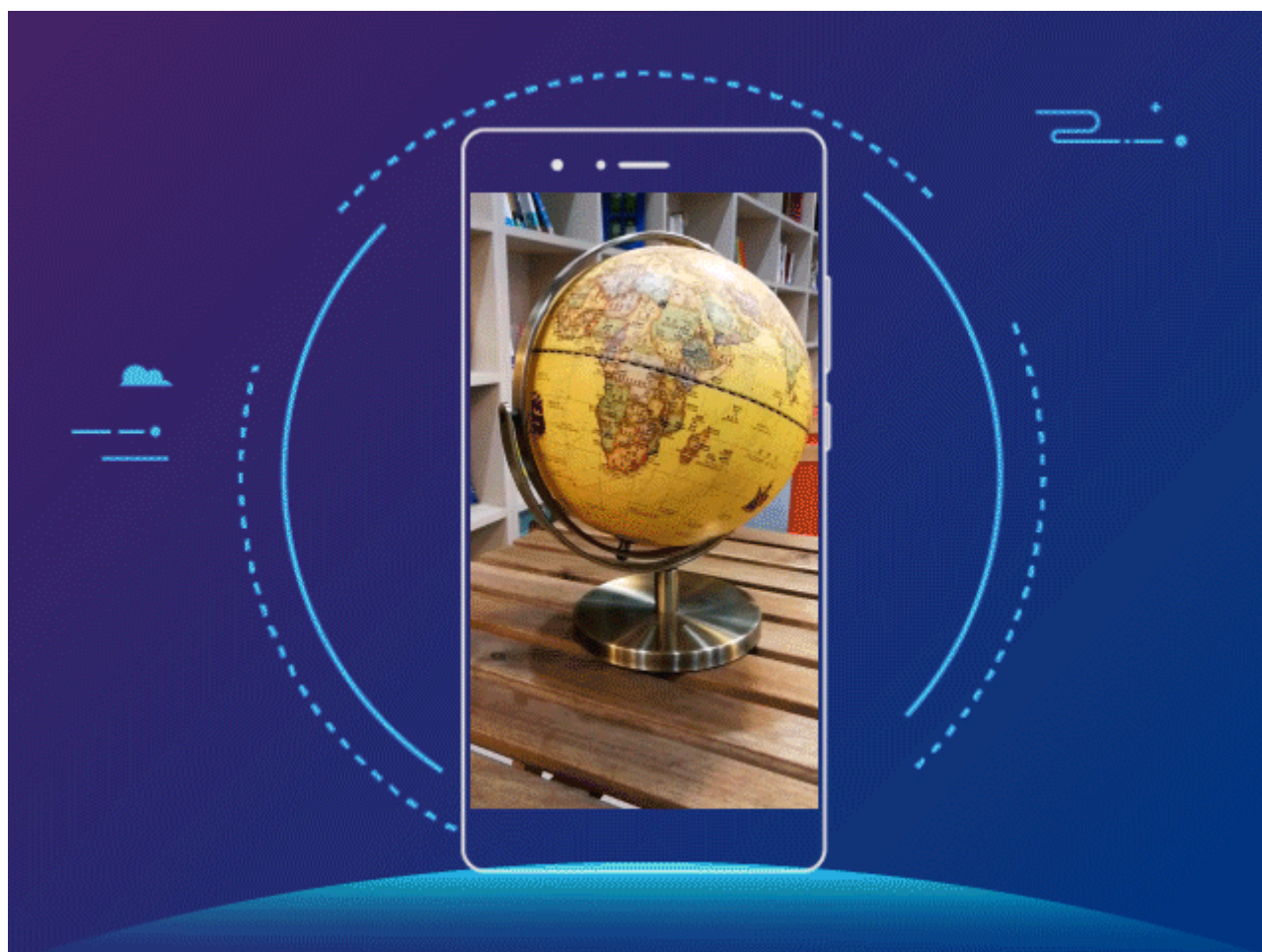
- **ビューティー設定パラメータを調整する:** カメラの設定画面で **パーフェクトセルフィー** > **ビューティーエフェクト** を設定に移動して、肌の瑞々しさや色合いなどのパラメータを調整します。


3D パノラマを使用した 360 度撮影

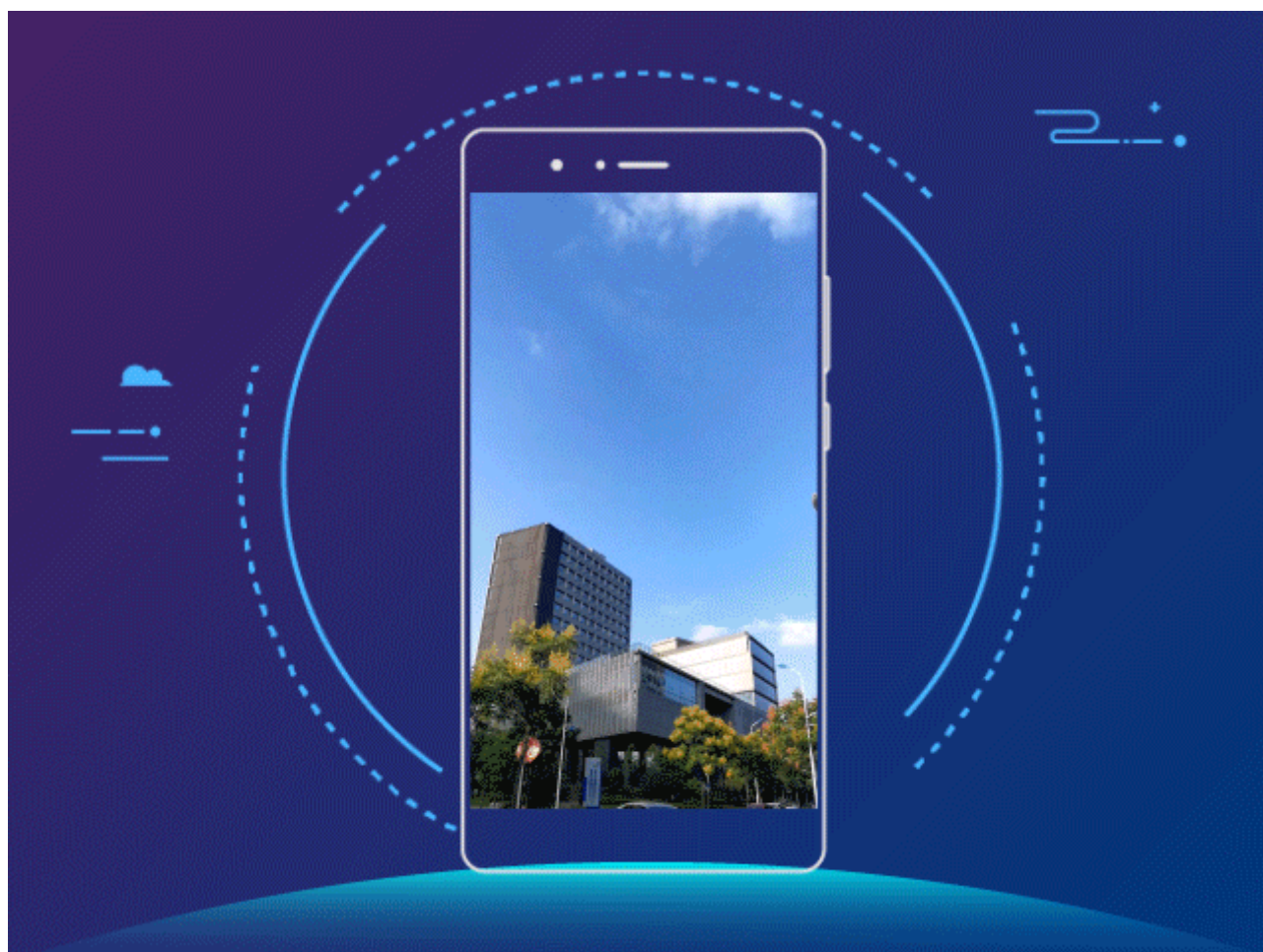
3Dパノラマ機能を使用して、風景や人物を360度の視点で撮影してみましょう。

3Dパノラマ 機能には次の3種類の撮影モードがあります。

- **被写体の撮影:**  **カメラ** > **その他** > **3Dパノラマ** に移動します。◎ を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには ◎ を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。







- **風景、人物や動物などの撮影:**  **カメラ** > **その他** > **3Dパノラマ** に移動します。◎ を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには ◎ を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。3Dパノラマの作成後に、端末を傾げるか写真をドラッグすると、3D効果を確認できます。



ワイドアパーチャモードを使用して被写体を強調する

ワイドアパーチャモードを使用すると、被写界深度が浅くなります。これにより、背景がぼけて被写体により強調されます。


ワイドアパーチャ写真を撮影する:  **カメラ** を開きます。アウトカメラ撮影モードで、画面下部の **アパーチャ** をタップして、ワイドアパーチャモードを有効にします。画面を左にスワイプすると、このモードを終了して他の撮影モードに切り替わります。撮影時は画面をタップして焦点を設定してから  をタップして撮影します。

-  ● 仕上がりをよくするために、中心の被写体がカメラから2m以内にあることを確認してください。
-  をタップし、スライダーを左右にドラッグして、アパーチャレベルを調整します。アパーチャの値が小さければ小さいほど、背景のボケ味が強くなります。

スマートライフ

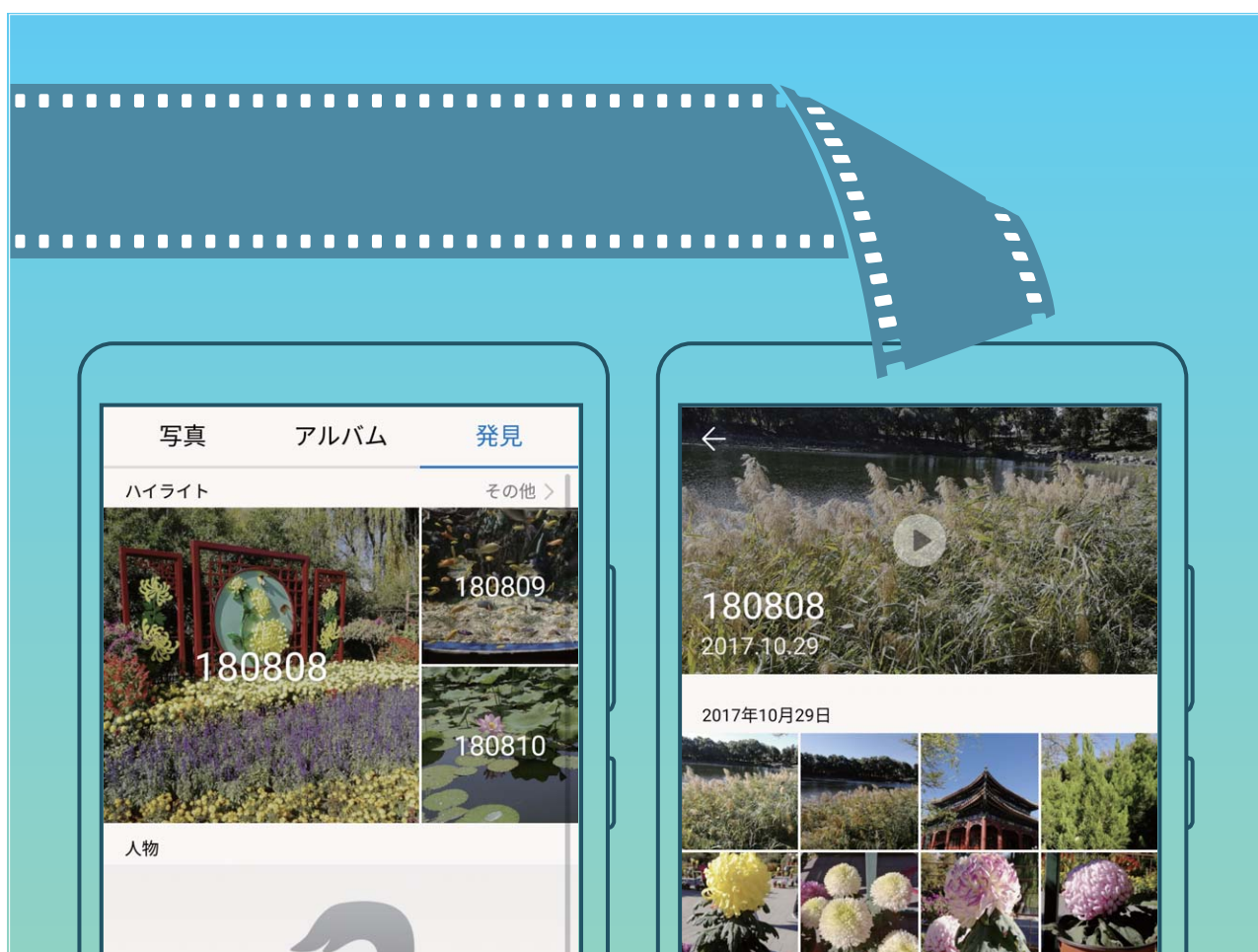
ハイライト: 写真からあなた独自のビデオを作成

ハイライトでは、時間や場所の情報に基づいて短いフォトクリップを作成できます。ビデオクリップを編集して、友人と共有することもできます。

- **i** ハイライトでは、写真の時間と地理情報に基づいて自動的にビデオを作成します。写真を撮影する前に、カメラを開いて  をタップし、GPSタグが有効になっていることを確認します。
- 端末がインターネットに接続されていることを確認してください、インターネットに接続しないとハイライトができません。
- ハイライトアルバムは、端末の充電中、画面が消灯されていて、電池残量が50%以上あるときに自動的に作成されます。ご利用の端末によるアルバム作成には時間がかかる場合があります。ギャラリー内の写真やビデオが7枚未満の場合、ハイライトアルバムは作成されません。

ハイライトを使用して以下のようなことが可能です。

- **テーマに基づいたアルバムの自動作成**: ハイライトでは、時間や場所(誕生日パーティや卒業式など)に基づいてフォトアルバムを自動で作成します。新しいアルバムが作成されると、プッシュ通知が端末に送信されます。この通知をタップすることでアルバムを閲覧できます。
- **過去のアルバムの閲覧通知**: アルバム作成から1年後または該当する写真が撮影された場所を再び訪れた際に過去のアルバムの閲覧通知が表示されます。
- **アルバムの編集**: アルバム名の変更、写真の追加/削除、バックグラウンドミュージックやアニメーション効果の編集が可能です。アルバムを編集して、そのビデオクリップを端末に保存したり、友人と共有できます。

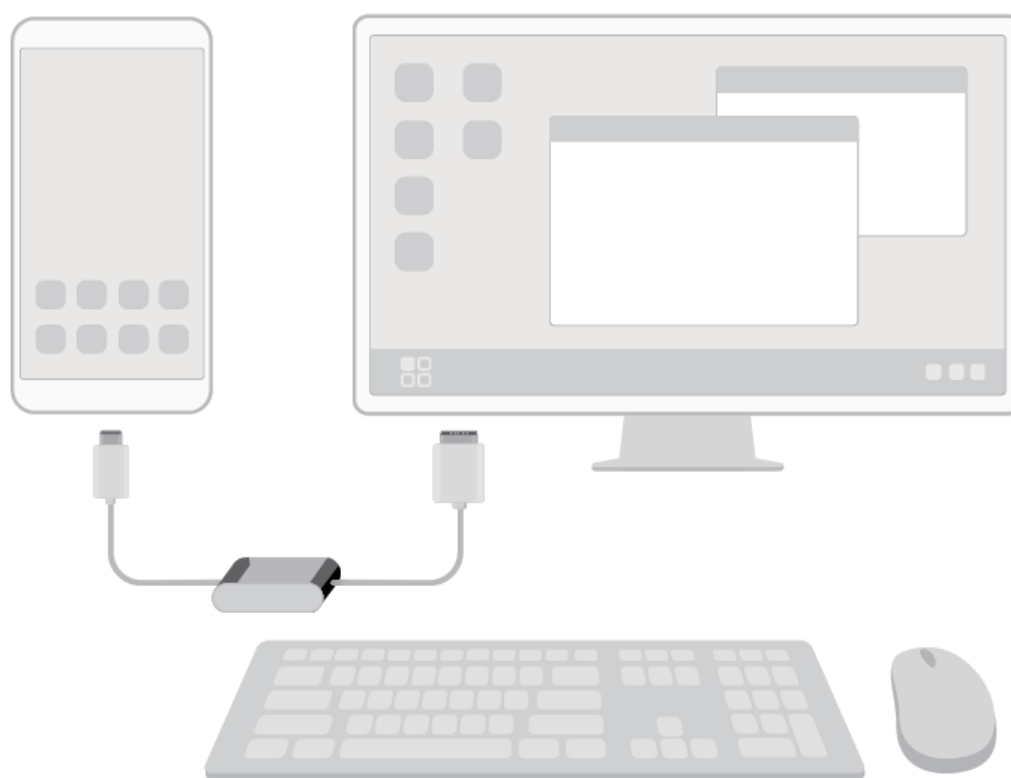


端末を外部ディスプレイに接続して PC のように操作

端末を外部ディスプレイに接続すると、PCのように操作することができます。これにより、会社と自宅間でノートPCを持ち運ぶ必要がなくなります。アダプタ(USB Type-CからHDMIアダプタケーブルなど)を使用するだけで、端末をPCモニターやプロジェクタなどのディスプレイ装置に接続できます。これにより、デスクトップのようなさまざまな機能がモバイル端末で便利に使用できるようになります。

端末を外部ディスプレイに接続しているときには、以下の機能を使用できます。

- **プライバシー保護**: 通知、着信、チャットメッセージは、端末の通知パネルでは赤いドットとして表示されますが、外部ディスプレイには表示されません。
- **デュアルディスプレイ**: 仕事関連のコンテンツを外部ディスプレイに表示しながら、端末で友人とチャットできます。
- **デスクトップのような操作性**: Androidアプリをデスクトップのように利用できます。複数のウィンドウを開いたり、ファイルの管理や端末の検索、デスクトップの壁紙の変更などが可能です。また、マウスやキーボードなどの周辺機器を接続することもできます。





ジェスチャーと操作

スクリーンショットとスクリーン録画

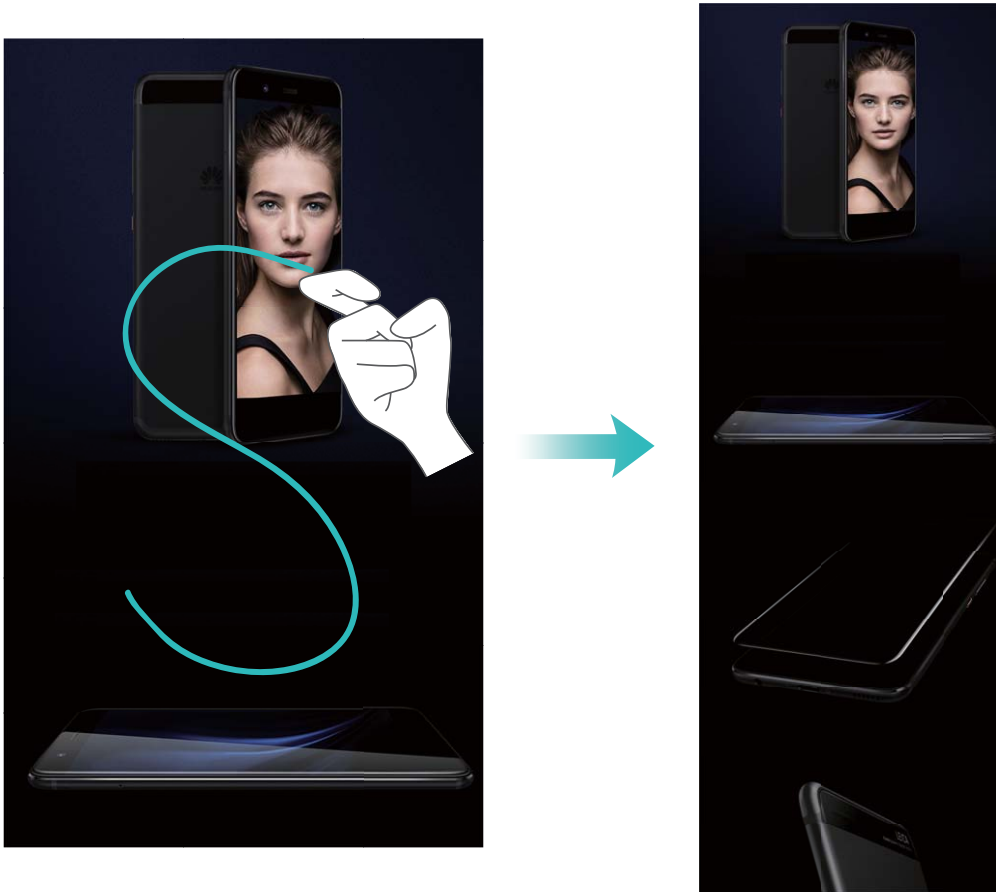
スクロールスクリーンショットによるページ全体のキャプチャ取得

長い記事やチャット履歴をキャプチャするのに何度もスクリーンショットを撮影するのは面倒なものです。端末のスクロールスクリーンショット機能を使用すると、ページの下までスクロールしたスクリーンショットを撮影できるため、1回のスクリーンショットで複数ページのすべての情報をキャプチャできます。

ショートカットを使用したスクロールスクリーンショットの撮影:ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開いてから  をタップし、スクロールスクリーンショットを撮影します。スクリーンショットの撮影から3秒以内に  をタップすると、画面が自動的に下までスクロールし、スクリーンショットの撮影を続けます。スクロール中にスクロール領域をタップすると、スクリーンショットの撮影が終了します。




指関節を使用したスクロールスクリーンショットの撮影:指関節で画面をタップして、画面に指関節をつけたまま「S」という文字を描きます。画面が自動的に下にスクロールして、スクリーンショットが撮影されます。スクロール中にスクロール領域をタップすると、スクリーンショットの撮影が終了します。




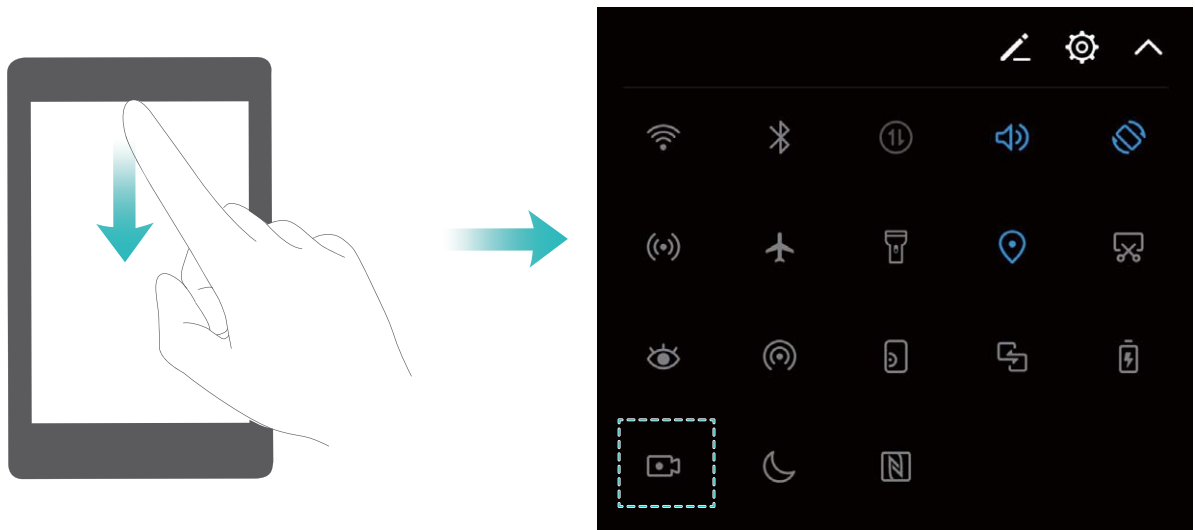
画面上のシーンの録画

画面の録画機能は、チュートリアルビデオを作成したり、ゲームの裏ワザを録画して友人と共有したりする場合に役に立ちます。

- **i** 発着信により、スクリーン録画は終了します。
- 端末で同時に録画機能を使用している場合は、音源 から システム音 または なし を選択できません。
- 音源 から マイク を選択している場合、端末では、画面のタップによるものを含め、音声も含めてすべての操作が録画されます。スクリーン録画は周囲に雑音のない静かな場所で行うことをお勧めします。


ショートカットによる録画の開始: ステータスバーを下にスワイプして通知パネルを開き、 をタップして画面の録画を開始します。必要に応じて 音源 から マイク、システム音、または なし を選択します。

録画を終了するには、画面の左上の  停止をタップします。



キーの組み合わせによる録画の開始: 電源ボタンと音量アップボタンを同時に押すことでも、スクリーン録画を行うことができます。必要に応じて音源からマイク、システム音、またはなしを選択します。録画を終了するには、画面の左上の ■ 停止をタップします。




指関節による録画の開始:2つの指関節で続けて2回画面をノックすることでも、スクリーン録画を行うことができます。必要に応じて **音源** から **マイク**、**システム音**、または **なし** を選択します。録画を終了するには、画面の左上の  **停止**をタップします。



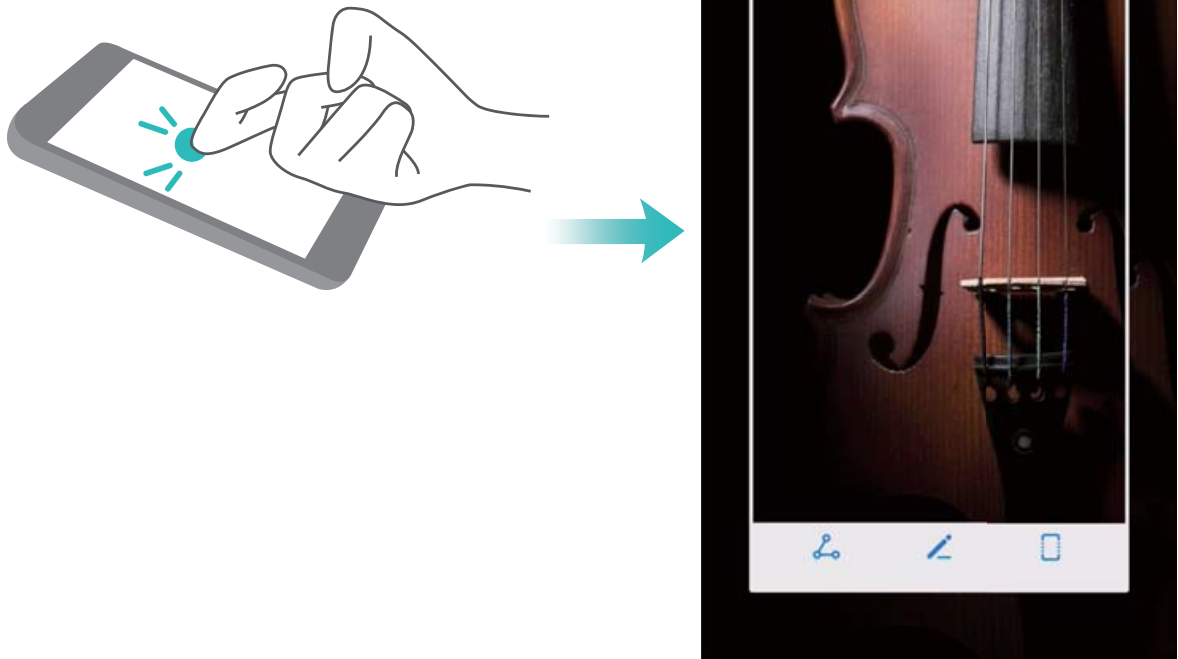
録画した画面は **ギャラリー** で確認できます。



画面全体のスクリーンショットの撮影

キーの組み合わせによるスクリーンショットの撮影:電源ボタンと音量ダウンボタンを同時に長押しすると、画面全体のスクリーンショットを撮影できます。

ショートカットスイッチによるスクリーンショットの撮影:ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開いてから  をタップすると、画面全体のスクリーンショットを撮影できます。

指関節によるスクリーンショットの撮影:指関節で続けて軽く2回画面をタップすると、画面全体のスクリーンショットを撮影できます。



スクリーンショットの撮影後に  または  をタップすると、スクリーンショットを編集または共有できます。デフォルトでは、スクリーンショットは **ギャラリー** に保存されます。


ホーム画面






ナビゲーションバー

履歴キーを使用したバックグラウンドアプリの管理

最近使用したアプリに簡単に切り替えたい場合、履歴キーを使用してみてください。履歴キーを使用すると、最近使用したアプリにすぐに切り替えることができます。このキーを使ってバックグラウンドアプリを閉じ、端末の処理速度を上げることもできます。

- ① 前面のナビゲーションボタンを搭載した端末の場合、デフォルトでは仮想ナビゲーションバーが無効になっています。仮想ナビゲーションバーを有効にする場合は、**設定 > システム > システムナビゲーション > 仮想ナビゲーションバー** に移動します。仮想ナビゲーションバーを有効にすると、前面のナビゲーションボタンが無効になります。前面のナビゲーションボタンを長押ししたり、スワイプしたりしても端末は反応しません。


 をタップします。最近使用したバックグラウンドアプリの表示、切り替え、終了、ロックができます。


- **最近使用したアプリの表示**: 最近使用したアプリが画面に表示され、上下にスワイプして切り替えることができます。
- **最近使用したアプリへの切り替え**: 画面を上下にスワイプして使用するアプリを選択し、アプリタブをタップして開きます。
- **アプリの終了**: アプリタブを左右にスワイプするか、アプリタブの右上にある  をタップすると、対応するアプリを終了できます。
- **すべてのアプリの終了**:  をタップするとすべてのアプリを終了できます。
- **アプリのロック**:
 - アプリを終了せずにバックグラウンドで実行させておきたい場合、アプリをロックすることができます。
 - アプリタブの右上にある  をタップしますと、アプリをロックすることができます。  をタップしてアプリをロックすると、終了できなくなります。
 - アプリがロックされている場合、アプリタブの右上にある  をタップしてロックを解除できます。

ナビゲーションバーの配置の設定

ナビゲーションバーを使用すると、簡単にホーム画面にアクセスしたり、前の画面に戻ったり、アプリを終了したり、最近使用したアプリを表示したりすることができます。

- ① 端末に前面のナビゲーションボタンがある場合、デフォルトでは仮想ナビゲーションバーが無効になっています。仮想ナビゲーションバーを有効にすると、前面のナビゲーションボタンが無効になります。前面のナビゲーションボタンをタップしたり、長押ししたり、スワイプしたりしても端末は反応しません。

ナビゲーションバーの配置を設定するには、 **設定** を開いて **システム > システムナビゲーション** に移動し、**仮想ナビゲーションバー** を選択します。次に、**設定** をタップし、必要なナビゲーションキーの組み合わせを選択します。

- i** **ナビゲーションバーの表示/非表示の切り替え:** 仮想ナビゲーションバー画面で、**設定** をタップしてナビゲーションバーを有効にします。次に、ナビゲーションバーの  をタップしてバーを非表示にします。ナビゲーションバーが非表示になったら、下から上に画面をスワイプしてナビゲーションバーをもう一度表示します。

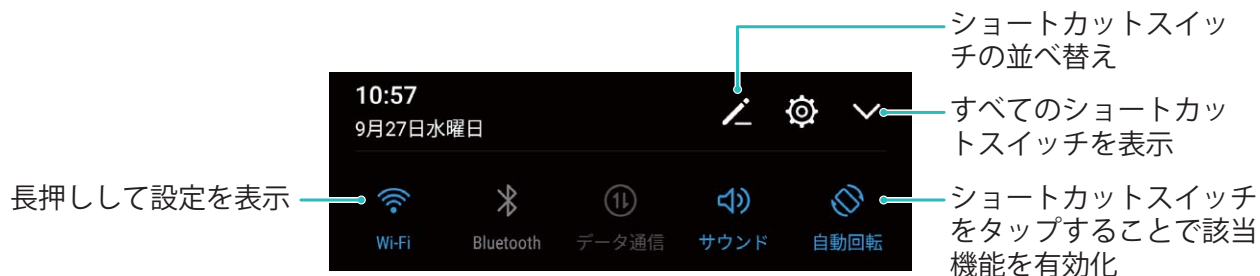


- ◀ **戻る:** タップすると、前の画面に戻るか、あるいはアプリが終了します。テキスト入力中にタップすると、画面のキーボードが閉じます。
- **ホーム:** タップすると、ホーム画面に戻ります。長押しすると、HiVoiceアイコンが表示されます。このアイコンを上から下にスワイプすると、HiVoiceが有効になります。
- **履歴:** タップすると、最近使用したアプリの一覧が表示されます。長押しすると、画面分割モードが有効になります。
- ⇩ **下方スワイプ通知キー:** タップすると、通知パネルが開きます。

素早い切り替え


ショートカットスイッチを使用してよく使う機能を素早く有効化

モバイルデータ通信またはWi-Fiを素早く有効/無効にしたい場合があります。ステータスバーを下から上にスワイプしてショートカットパネルを開き、該当のショートカットスイッチをタップすると、該当する機能を有効/無効にできます。スイッチアイコンを長押しすると、該当する機能の設定ページに移動できます。



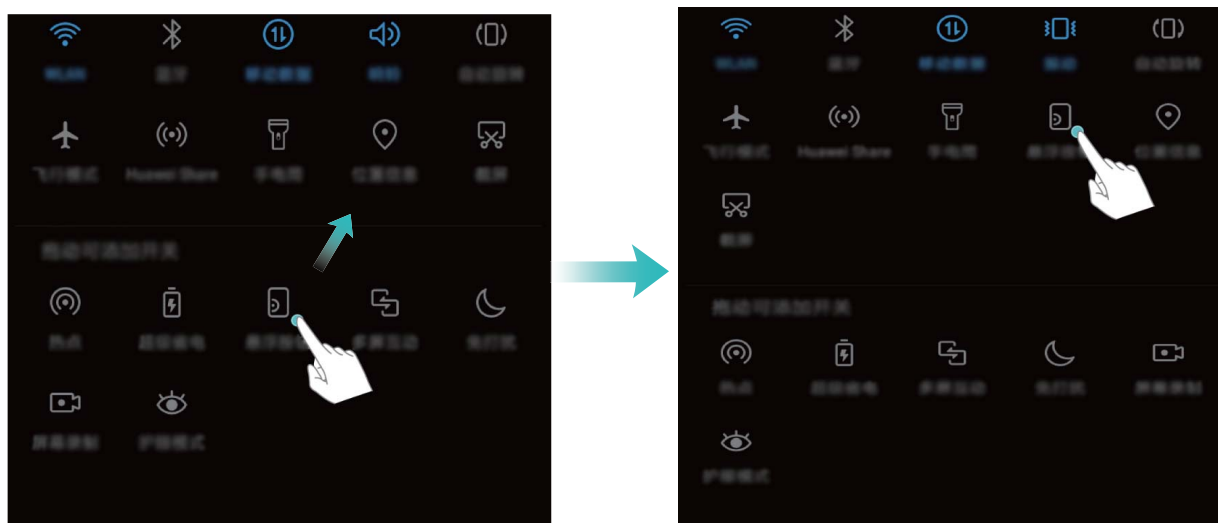
ショートカットスイッチの位置を好みに合わせて調整

ショートカットスイッチの位置を調整して、よく使用するものを上のほうに置くことができます。

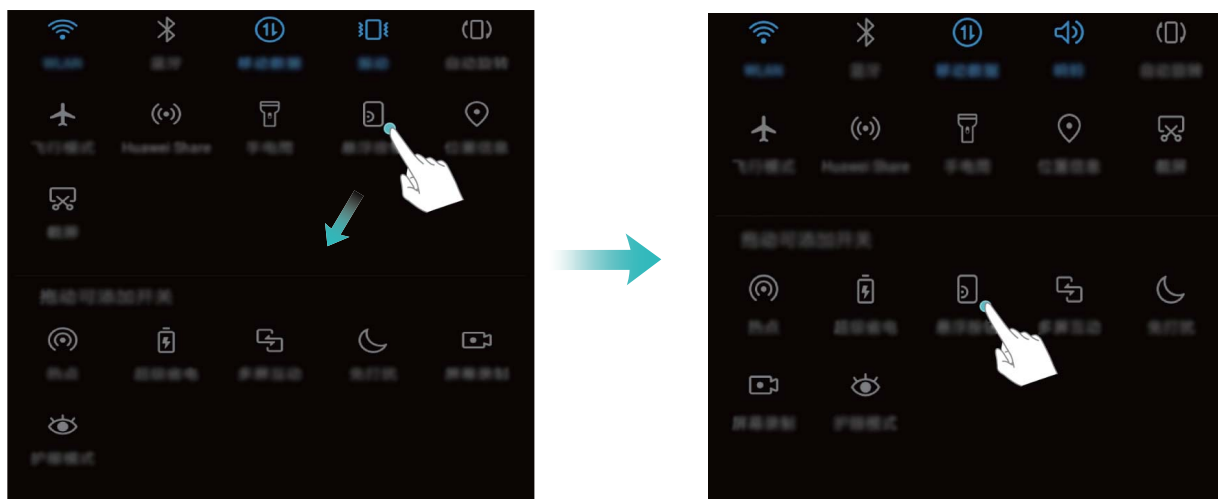
ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開いて  をタップします。ショートカットパネルから以下の操作を行うことができます。

ショートカットスイッチの並べ替え: ショートカットスイッチを長押ししてからアイコンを好みの位置にドラッグします。

ショートカットスイッチの追加: パネルの非表示領域から表示されている領域にショートカットスイッチをドラッグして、**戻る** をタップします。



ショートカットスイッチの削除: パネルの表示されている領域から非表示領域にショートカットスイッチをドラッグして、**戻る** をタップします。



通知パネルとステータスバー













通知アイコンとステータスアイコンについて

ステータスバー（端末画面最上部）のアイコンを見ると、ネットワーク接続、電池残量、端末がサイレントモードのときに受信した新しいメッセージなど、端末の全体的なステータスをすぐに確認できます。

i ネットワーク状態を示すアイコンは、地域やサービスプロバイダーによって異なる場合があります。

	電波強度		電波なし
4G+	4G+通信	3G	3G通信
4G	4G通信	H	HSPA通信
2G	2G通信	LTE	LTE通信
LTE+	LTE+通信		NFC有効
H+	HSPA+通信		機内モード有効
HD	VoLTE有効		Wi-Fiネットワーク接続
R	ローミング		GPSから位置情報を受信中
	Bluetooth有効		サイレントモード有効
	Wi-Fiネットワーク利用可		充電
	バイブモード有効		電池残量わずか
	アラーム有効		SIMカードなし
	満充電		ヘッドセット接続

通知アイコン:新しいメッセージがある場合、端末の通知やリマインダー、関連アイコンがステータスバーに表示されます。

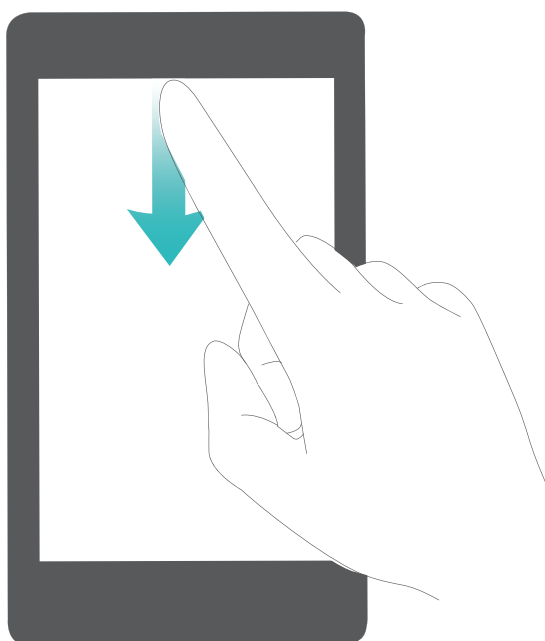
	不在着信		新規メール
	データのダウンロード中		新着ボイスメール
	今後の予定		データのアップロード中
	データの同期中		端末メモリ空き容量なし
	ログインまたは同期で問題が発生		同期失敗
	VPNへの接続		その他の通知

通知パネルを開いて重要な情報を確認


重要な通知は見落とさず確認したいものです。端末のステータスバーから、リアルタイムの通知情報と端末の動作状態を表示できます。

通知リマインダーがある場合、画面を点灯してステータスバーを下にスワイプすると、通知を表示できます。通知とステータスバーの設定にアクセスするには、以下の操作を実行します。

- **画面がロックされているときに通知パネル設定にアクセスする**:画面を点灯し、ロック解除後ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。ショートカットスイッチの一部のオン/オフを切り替えるか、通知の一部を表示することができます。メッセージの詳細や他の通知を表示するには、最初に画面のロックを解除します。




- **画面のロックが解除されているときに通知パネルにアクセスする**:ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。ショートカットスイッチのオン/オフを切り替えるか、通知をタップして詳細を表示できます。

通知とステータスバーに表示する通知の数を設定したり、通知を非表示にしたい場合があります。 **設定** をタップし、**アプリと通知** > **通知とステータスバー** > **通知方法** に移動します。次に、必要に応じて **件数** または **なし** を選択します。

アプリのわずらわしい通知の無効化


アプリの通知が多すぎると、わずらわしく感じる場合があります。アプリの通知を無効にすることで快適に使用できます。

 **設定** を開いて **アプリと通知** > **通知管理** に移動します。以下の操作を行うことができます。

- 1つのアプリでプッシュ通知を無効にする: **通知管理** 画面で、アプリを選択してタップし、**通知を許可** をオフにします。
- すべてのアプリでプッシュ通知を無効にする: **一括管理** をタップし、**すべて** を無効にします。

通知のカスタマイズ

デフォルトの通知リマインダーが気に入らないこともあるでしょう。通知リマインダーをカスタマイズして、通知を好みの方法で受け取ることができます。


 **設定** を開いて **アプリと通知** > **通知とステータスバー** に移動します。ここから、以下の操作を行うことができます。

- 通知による画面点灯の有効化: **通知で画面を点灯** を有効にします。端末 画面が消灯状態の場合、通知を受け取ると画面が点灯します。
- パルス通知ランプの設定: **LED通知** をオンに切り替えると、新しい通知を受け取るたびに通知ランプが点滅します。
- ステータスバーでの詳細情報の表示: 好みに応じて **通信事業者名を表示** または **通信速度を表示** を有効にできます。
- 通知方法の設定: **通知方法** をタップします。好みに応じて **アイコン**、**件数** または **なし** を選択できます。
- 電池残量表示モードの有効化: **電池残量表示位置** をタップします。好みに応じて **電池残量アイコン** の隣、**電池残量アイコン内** または **表示しない** を選択できます。

画面ロックとロック解除

ロック画面パスワードによるプライバシー保護

プライベートな写真、連絡先情報、バンキングアプリなど、端末には保護する必要がある情報が多数保存されています。ロック画面パスワードを設定すると、端末をロック解除するために常にパスワードが必要になります。ロック画面パスワードにより、端末を紛失してしまった場合や、不正なユーザーがアクセスした場合でも、個人情報を守ることができます。

ロック画面パスワードの設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **画面ロックとパスワード** に移動し、ロック画面パスワードのいずれかのタイプを設定します。

- **PINの設定**: PIN番号は、一連の数字です。PIN入力による端末のロック解除は、簡単でシンプルです。安全性を高めるには、長いランダムな数字の組み合わせをPINとして使用します。**画面のロック** > **PIN** に移動して、画面の指示に従ってPINを設定し、OK をタップします。
- **パターンの設定**: 事前に設定したパターンを画面に描くことで端末のロックを解除します。安全性を高めるには、重複する線を含むパターンを使用します。**画面のロック** > **パターン** に移動し、同じパターンを2回描きます。4つ以上の点を結ぶパターンにする必要があります。
- **パスワードの設定**: 数字、文字、特殊文字からなるパスワードは、PINやパターンよりも安全です。安全性を高めるには、数字、文字、特殊文字を含む8文字以上のパスワードを使用してください。パスワードを忘れて端末のロックを解除できないことがないように、パスワードを覚えておいてください。**画面のロック** > **パスワード** に移動して、画面の指示に従ってパスワードを設定し、OK をタップします。
- **スマートバンドによる端末のロック解除**: スマートバンドによるロック解除に対応している端末では、バンドを端末から80 cm以内に近づけると、画面が点灯します。画面をスワイプするとすぐに端末のロックが解除されます。**スマートロック解除** をタップし、画面の指示に従って設定を行います。
- **指紋による端末のロック解除**: 指紋によるロック解除では、端末を安全かつ簡単にロック解除できます。ロック画面パスワードの設定後に、ポップアップ表示されるダイアログボックスの **登録** をタップし、画面の指示に従って指紋を登録します。
- **セキュリティ上の理由から、ロック画面パスワードは無効にしないでください**: ロック画面パスワードにより、端末への不正なアクセスを防止できます。端末を安全に保護するため、画面ロック方法として **なし** は選択しないでください。
- **画面ロックパスワードを入力しない状態が3日間続くと、端末のロックを解除するためにパスワードを入力する必要があります**。

画面をロックして端末をすぐに保護する

一定時間端末を使用しないと、画面が消灯し、ロックされます。画面が点灯している間は端末を使用でき、画面のロックを解除する必要はありません。プライバシーを保護し、誤った入力を防止するため、端末を使用していないときには画面をロックしてください。

- **ロック画面パスワードを設定することで、プライバシーを保護できます**。端末をロックする方法を次に示します。

電源ボタンで画面を瞬時にロックする: いつでも電源ボタンを押せば画面がロックします。

ワンタップ画面ロックで画面をロックする: ホーム画面で2本の指をピンチインすると、編集画面が表示されます。**ウィジェット** > **画面ロック** をタップし、ホーム画面に **画面ロック** ウィジェットを追加します。これにより、電源ボタンの劣化を軽減できます。ホーム画面編集モードを終了したら、**画面ロック** ウィジェットをタップすると画面がすぐにロックされます。画面をこの方法でロックするには、まず、**画面ロック** ウィジェットがあるホーム画面ページに切り替えます。

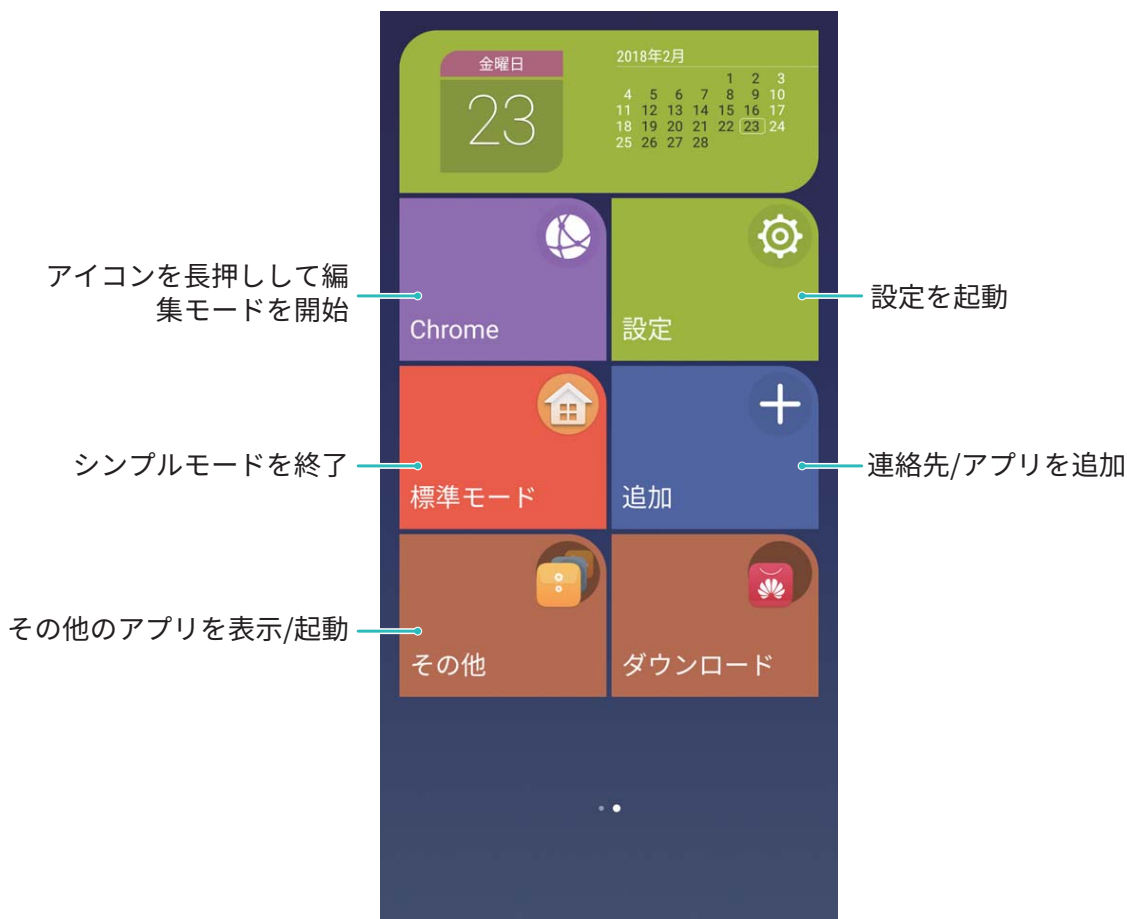
簡易モード

ホーム画面にアプリのアイコンや小さな文字が詰まっていると、見づらく感じることもあります。アイコンや文字が大きく表示され、レイアウトがわかりやすいシンプルモードを使えば、操作が簡単になります。

- **設定** を開いて **システム** > **簡易モード** に移動し、適用をタップします。

簡易モードでは、以下の操作を行うことができます。

- **ホーム画面のアイコンの編集**:アイコンのいずれかを長押ししてホーム画面編集モードにしてから、必要に応じてアプリのアイコンを追加または削除します。
- **簡易モードの終了**:簡易モードを終了するには、**標準モード** をタップします。




ホーム画面の管理

ホーム画面のアイコンの管理

アプリのアイコンが散らばってホーム画面が雑然とすることがよくあります。ホーム画面のアイコンを移動または削除することができます。また、アクセスしやすいようにアイコンをフォルダに整理することもできます。

ホーム画面のアイコンの移動:ホーム画面でアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンをホーム画面上の任意の位置までドラッグします。

アプリの削除:ホーム画面で、アンインストールするアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンを  までドラッグします。画面の指示に従ってアプリを削除します。

i システムを正常に動作させるために、プリインストールされているシステムアプリの一部はアンインストールできないようになっています。

フォルダの作成:ホーム画面でアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンを別のアイコンの上までドラッグします。2つのアイコンが新しいフォルダ内に格納されます。



フォルダの削除: フォルダを開いて **+** をタップし、すべてのアプリを選択解除してから **OK** をタップします。フォルダが自動的に削除されて、フォルダ内にあったすべてのアプリアイコンがホーム画面に移動します。

フォルダ名の変更: フォルダを開いてフォルダ名をタップし、新しい名前を入力します。

フォルダ内のアプリアイコンの追加または削除: フォルダを開いて **+** をタップし、必要に応じてアプリを選択または選択解除してから **OK** をタップします。選択したアプリアイコンは自動的にフォルダに追加され、選択解除したアプリはフォルダから削除されます。


i アプリのアイコンをフォルダから削除する別の方法として、フォルダ内の削除対象のアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンをホーム画面までドラッグすることでも削除できます。


ホーム画面の管理

ホーム画面にあふれるほどアイコンが増えてしまうことがあります。ホーム画面に新しいページを追加して、好きなようにカスタマイズすることができます。

ホーム画面上の何も無い領域を長押しすると、ホーム画面編集モードになります。以下の操作を実行できます。


- **新しい画面ページの追加:** 新しい画面ページを追加するには、画面の左右どちらかにある **+** をタップします。
- **空の画面ページの削除:** 画面ページを削除するには、その画面ページの最上部にある **×** をタップします。

 画面ページ上にアプリのアイコンまたはウィジェットがある場合、そのページを削除することはできません。



- **画面ページの並べ替え**: 移動する画面ページを長押しして、該当する場所にドラッグします。
- **デフォルトのホーム画面ページの設定**: ホーム画面の上部にある  をタップすると、その画面ページがデフォルトのホーム画面ページとして設定されます。

ホーム画面の壁紙の設定

デフォルトの壁紙を変えたいことがあります。お気に入りの写真をホーム画面の壁紙として設定し、ホーム画面をカスタマイズできます。

 **設定** を開き、**画面** > **壁紙** に移動して、以下の操作を実行できます。

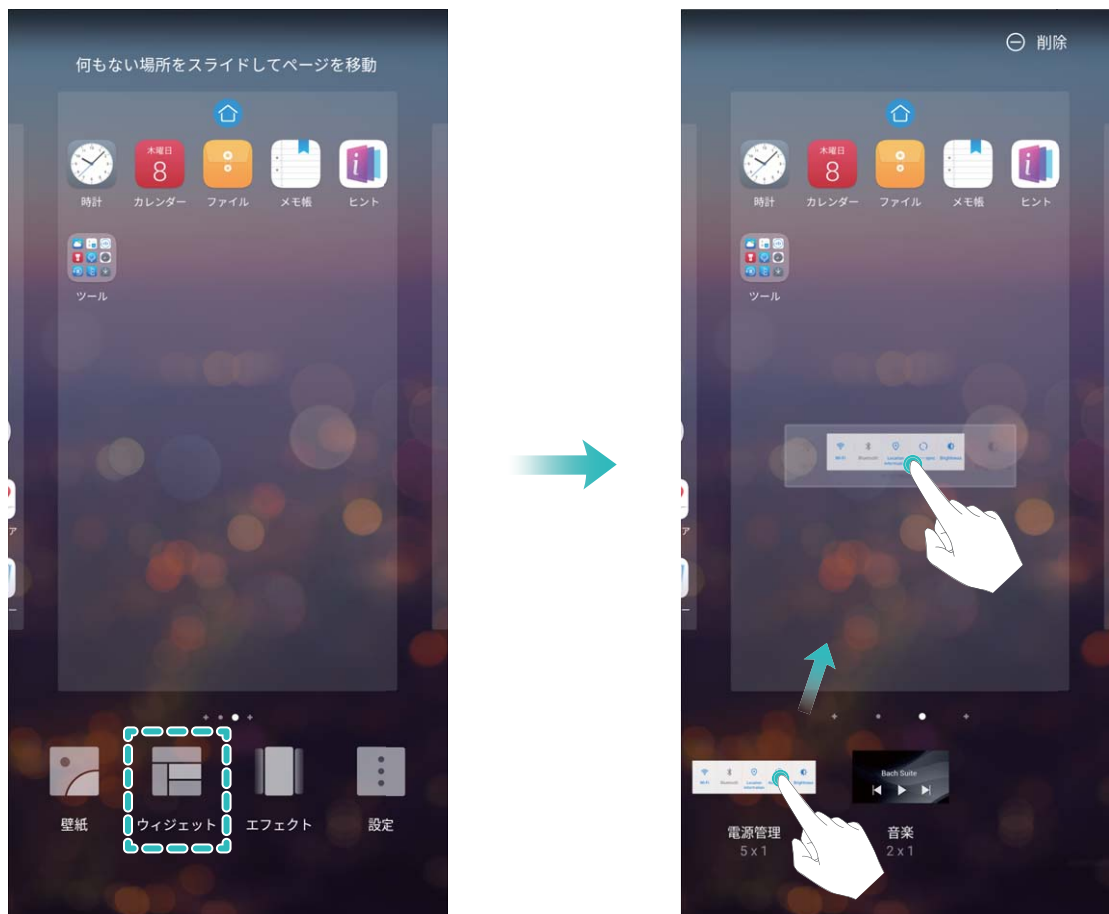
- **写真をホーム画面の壁紙として設定**: 壁紙に**設定** をタップします。詳細 または **ギャラリー** で、お気に入りの写真を選択してから、画面の指示に従って **ロック画面**、**ホーム画面**、または **両方** を選択します。
- **壁紙をランダムに切り替える**: ホーム画面の壁紙を**ランダムに変更** を有効にして、**間隔** および **表示するアルバム** を設定します。

ギャラリーで写真を壁紙として設定: 素敵な写真を壁紙として設定したいときがあります。  **ギャラリー** で、お気に入りの写真を開き、 > **登録** > **壁紙** に移動して、画面上の指示に従い、ホーム画面の壁紙として設定します。

ホーム画面のウィジェットの管理

ホーム画面でウィジェットを素早く管理したいと思ったことはありませんか？ホーム画面を使いやすく整理するために、ホーム画面上でウィジェットを追加、移動、削除することができます。

ウィジェットの追加: ホーム画面上の何も無い領域を長押しすると、ホーム画面編集モードになります。**ウィジェット** をタップし、ウィジェットを選択してホーム画面上の何も無い領域までドラッグします。



- ① ホーム画面上にウィジェットを配置するのに十分なスペースがあることを確認してください。スペースが足りない場合は、空の画面ページを追加するか、現在のホーム画面ページ上でウィジェットを配置できるスペースを確保してください。


ウィジェットの削除: ホーム画面上のウィジェットを長押しし、端末が振動したら、ウィジェットをホーム画面上部の **削除** までドラッグします。

ウィジェットの移動: ホーム画面上のウィジェットを長押しし、端末が振動したら、ウィジェットを画面の任意の位置までドラッグします。

アプリドロワーを使用したアプリの格納

ホーム画面上の1か所にアプリをまとめて格納して、すっきりとしたホーム画面にすることができます。ホーム画面でアプリドロワーを有効にすると、すべてのアプリをそこに格納して、ホーム画面のスペースを確保できます。

ⓘ **設定** を開き、**画面 > ホーム画面のスタイル** に移動し、**ドロワー** を選択します。標準のホーム画面に戻すには、**標準** を選択します。

- ① **アプリドロワー内のアプリのアイコンをホーム画面に追加する:** アプリドロワーを有効にした後、ホーム画面で  をタップして、アプリリストを開きます。アプリリストで、追加するアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したら、そのアイコンをホーム画面上の目的の位置にドラッグします。

連絡先

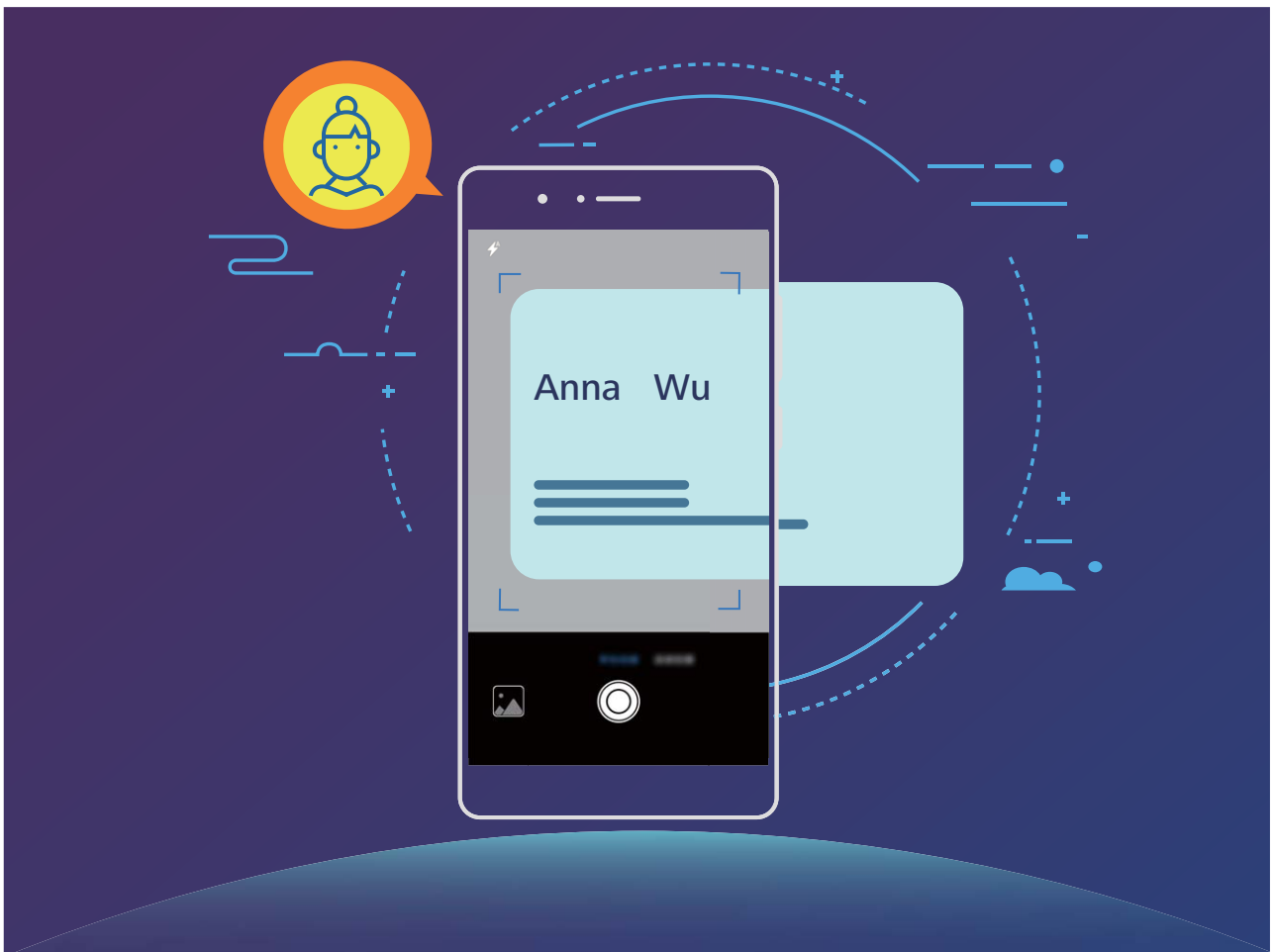
名刺の管理

名刺の管理:簡単に名刺を追加・共有する


紙の名刺の情報を連絡先に手動で入力するのは手間がかかります。また、端末の連絡先は友人と簡単に共有したいものです。名刺管理では、簡単に名刺を追加したり共有したりすることができます。

名刺管理では、以下の操作を実行できます。

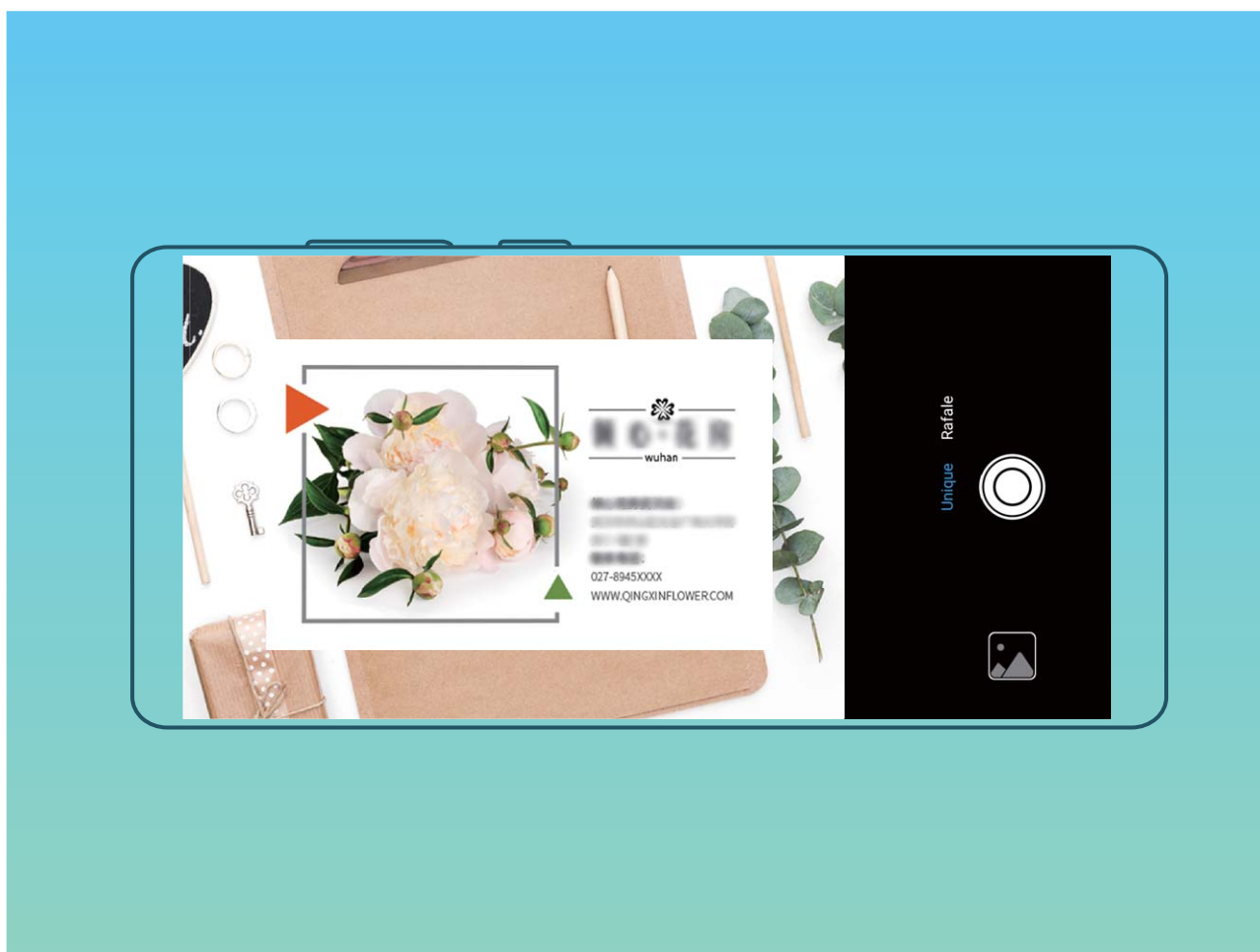
- **名刺を連絡先に追加**:複数の名刺を連絡先に素早く追加したいときがあります。紙の名刺をカメラの前に置くだけで、名前、電話番号、役職などの情報を連絡先に保存できます。
- **QRコードを読み取って連絡先を追加**:名刺のQRコードを読み取って情報を連絡先に簡単に保存できます。
- **自分の名刺の共有**:連絡先内で自分の名刺を作成し、QRコードを自動で生成できます。これにより、QRコードを使用して自分の名刺を共有することが可能になります。
- **連絡先の共有**:共有したい連絡先を選択して、連絡先詳細画面の上部でQRコードをタップすると、素早く共有できます。





名刺を読み取って連絡先に追加

 **連絡先** を開いて、**名刺読み取り** をタップすると、次の操作を実行できます。




- **1枚の名刺の読み取り**: 名刺を平らな場所に置き、名刺のテキストがファインダーではっきりと読み取れるようにカメラのフォーカスを合わせてから、  をタップします。

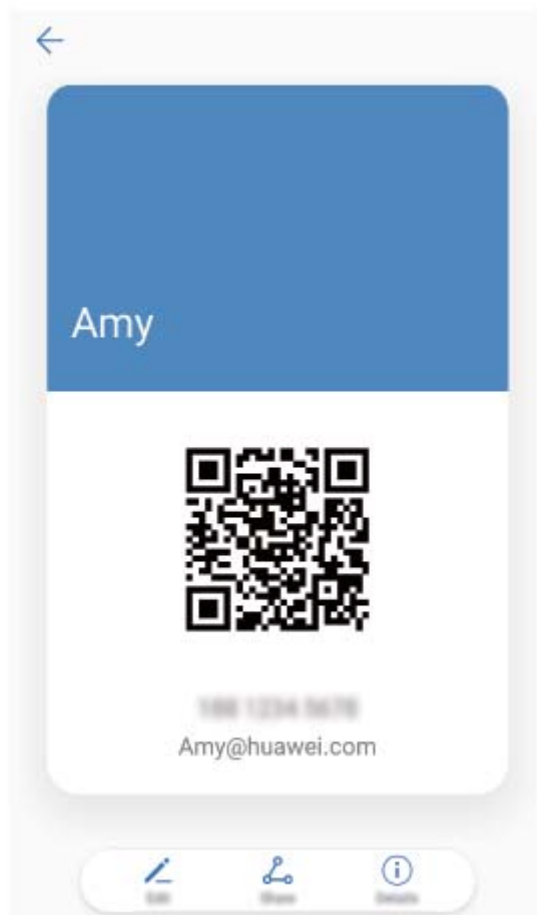



- **複数の名刺の読み取り**: **連写** モードに切り替え、画面上の指示に従って複数の名刺を撮影します。名刺の情報は自動的に連絡先情報に変換され、端末の **名刺** に保存されます。


 保存した名刺を表示するには、 **連絡先** を開いて、読み取った連絡先を選択し、**詳細** > **名刺を表示** に移動します。

電子名刺を使用した連絡先の共有


自分の名刺の共有:  **連絡先** を開き、**自分** をタップして自分のプロフィール写真を設定し、氏名、勤務先住所、電話番号などを入力します。次に  をタップすると、端末がQRコードの名刺を自動作成します。これにより、QRコードを使用して自分の名刺を直接共有することが可能になります。また、 をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有することもできます。







連絡先の共有:  **連絡先** を開いて、共有したい連絡先を選択してから右上隅のQRコードをタップし、QRコードを使用している連絡先を共有します。**共有** をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有処理を完了できます。

-  相手の端末がQRコード分析に対応している場合、直接、QRコードを撮影したり、読み取ったりして連絡先を追加できます。

連絡先の検索

 **連絡先** を開きます。連絡先リストでは、以下の方法で検索することができます。


-  できる限り正確な検索結果を取得するには、端末ですべての連絡先が表示されるようにしてください。連絡先リストの画面で  > **表示設定** に移動して、**すべての連絡先** をタップします。

- 横にあるインデックスをドラッグして、リストをスクロールします。
- 連絡先リストの上部にある検索バーに、連絡先の名前、頭文字、電話番号、またはメールアドレスを入力します。検索結果は、検索バーの下に表示されます。「John London」のように複数の検索キーワードを入力することもできます。すべてのキーワードに一致する連絡先が検出されます。
-  連絡先の検索時にエラーメッセージが表示された場合は、連絡先リストの画面で  > **連絡先を整理** に移動してから、**インデックスデータを構築** をタップします。

連絡先の管理

連絡先のインポートとエクスポート

機種変更した場合、既存の連絡先を新しい端末に移行する必要があります。

 **連絡先** を開いて \vdots > **インポート/エクスポート** に移動し、以下のいずれかの操作を行います。

- **連絡先のインポート**: ストレージからインポート、SIMからインポート、別の端末からインポート を選択して、画面の指示に従います。
- **連絡先のエクスポート**: ストレージにエクスポート または SIMにエクスポート、**連絡先の共有** を選択して、画面の指示に従います。デフォルトでは、**ストレージにエクスポート** を選択してエクスポートされた .vcf ファイルは、端末内部ストレージのルートディレクトリに保存されます。**ファイル** を開いて、エクスポートされたファイルを表示できます。

また、**バックアップ** 機能を使用して連絡先をインポートまたはエクスポートすることもできます。バックアップデータは、デフォルトで **ファイル > 本体 > 内部ストレージ** に保存されます。

連絡先の管理

連絡先アプリでは、さまざまな機能を使って連絡先を管理することができます。連絡先リストをシンプルにしたり、端末別またはSIMカード別の連絡先を表示したり、よく使う連絡先を簡単に見つけられるようにすることができます。

重複する連絡先の統合: 連絡先リストに重複する連絡先がある場合、**重複した連絡先の統合** 機能を使用することで、重複する連絡先を統合できます。連絡先リストで \vdots > **連絡先を整理** > **重複した連絡先の統合** に移動し、統合する連絡先を選択してから \checkmark をタップします。



アカウント別の連絡先を表示する: 端末またはSIMカードにある連絡先だけを表示するには、 \vdots > **表示設定** に移動して、連絡先を表示するアカウントを選択します。また、以下の操作を行うことができます。



- **簡易レイアウトの有効化**: 連絡先リストでプロフィールの写真、会社、役職を非表示にするには、連絡先リストの画面から \vdots > **表示設定** に移動して、**簡易表示** を有効にします。
- **連絡先のストレージ容量の確認**: 連絡先のストレージ容量を確認するには、連絡先リストから \vdots > **表示設定** に移動します。**アカウント** セクションに、端末またはSIMカードで使用可能なストレージの合計容量が表示されます。

連絡先グループの管理

数名の同僚にまとめてメッセージを送信したり、連絡先のグループを作ったりする必要がありますか？スマートグループを使用すると、会社、都市、最近連絡した時間に基づいて連絡先が自動的にグループ化されるため、Eメールやメッセージを一斉送信できるようになります。

連絡先グループの作成: グループリストで $+$ をタップして、グループ名(「家族」や「友人」など)を入力してから **OK** をタップします。画面の指示に従って連絡先を追加し、 \checkmark をタップします。


スマートグループ連絡先にメッセージを送信する: グループリストの **スマートグループ** セクションでグループを開き、 をタップしてメッセージを送信するか、 をタップしてEメールを送信します。



グループの編集: グループリストで、編集するグループを選択してから  をタップして連絡先を追加するか、 をタップして **メンバーを削除**、**グループの削除**、または **名前を変更** を選択します。


グループの削除: グループリストで、削除するグループを長押ししてから **削除** をタップします。

ブラックリストへの連絡先の追加

連絡先の番号をブラックリストに追加して、それらの連絡先から迷惑電話がかかってこないようにすることができます。



 **連絡先** を開いて、ブラックリストに追加する連絡先を長押ししてから **ブラックリストに追加** をタップします。端末により、ブラックリストに登録されている連絡先からの着信とメッセージが自動的にブロックされます。

ブラックリストの連絡先の表示:  **端末管理** を開いて **ブロック** >  に移動し、**電話番号のブラックリスト** をタップしてブラックリストを表示します。

ブラックリストから連絡先を削除する:  **連絡先** を開いて、ブラックリストから削除する連絡先を長押ししてから **ブラックリストから削除** をタップします。

通話／メッセージ履歴の消去

プライバシーを保護するために、消去機能を使用して連絡先ごとに通話／メッセージ履歴を消去できます。

 **連絡先** を開き、連絡先を選択して  > **履歴を消去** > **消去** に移動します。該当する連絡先のすべての通話／メッセージ履歴が消去されます。

サードパーティ製アプリの連絡先を統合

SNS の統合: たくさんの人とつながる


人脈を広げたいと思いませんか? SNSアカウントの情報をお手元の連絡先に同期させたいと思いませんか? SNSアカウント(LinkedInなど)にログインして、連絡先の情報(会社名、役職、メールアドレスなど)をローカル端末の連絡先に同期させることで、人脈が拡大します。

連絡先情報を自分の SNS アカウントに関連付ける

端末上の連絡先の職業、メールアドレス、役職を知りたい場合、サードパーティのSNSアプリ(LinkedInなど)を使用すると、連絡先に関する詳しい情報を見つけることができます。


LinkedInアカウントとの関連付け:  **連絡先** を開いて  > **設定** > **LinkedInアカウントを関連付け** に移動し、画面の指示に従ってLinkedInアカウントにログインします。ログイン後、ご利用の端末の連絡先情報が自動的に更新されます。すべてのLinkedIn連絡先情報を同期させるには、**連絡先** のLinkedIn設定画面から **LinkedIn連絡先の同期** > **すべてのLinkedInの連絡先** に移動して、**同期** を選択します。

LinkedInの連絡先情報を表示する: LinkedInの連絡先を1つ開いて、オンラインでLinkedInのプロフィールを表示します をタップします。

LinkedIn連絡先の関連付けを解除する:  > **設定** > **LinkedIn** に移動して、**関連付け解除** を選択します。

送信者の職歴の表示

新しい職場で仕事を始めたときには、新しい同僚の仕事について早く知る必要があります。LinkedInなどのSNSアカウントを自分のメールアカウントに関連付けることができます。その後、メール送信者の仕事情報がメールの詳細画面に表示されるようになります。





 **メール** 受信トレイから、受信したメールを1つ開きます。メールの詳細に移動し、送信者のプロフィール画像をタップして **LinkedInのプロフィールを表示** を選択します。


発信

基本的な通話機能

発信


入力画面で、電話番号の一部を入力するか、連絡先の名前の最初の文字を入力します。端末が該当する連絡先を自動的に検索します。



 **電話** を開きます。ダイヤル画面において、電話番号を入力するか、連絡先の名前の頭文字を入力することで、連絡先と通話履歴が自動的に検索されます。検索結果リスト内で、電話をかける連絡先をタップします。端末がデュアルSIMに対応している場合は、 または  をタップして発信します。連絡先のステータス(呼び出し中、転送が有効など)を、画面上で確認できます。電話を切るには、 をタップします。

電源ボタンを押して通話を終了する: 間違った電話番号にかけて、発信画面を閉じてしまったときに、素早く通話を取り消したいと思うことはありませんか? こうした場合のために、**電源ボタンで通話を終了**を設定することができます。電話画面で  > **設定** > **詳細** に移動し、**電源ボタンで通話を終了** を有効にすると、電源ボタンを押すだけで素早く通話を終了できるようになります。

緊急通報

緊急時には、画面がロックされている場合でも、端末の電源が入っていて圏内にいれば、緊急通報を行うことができます。





 緊急通報が利用できるかどうかは、現地の法規制やインターネットサービスプロバイダによって異なります。ネットワークの問題や、通信環境で障害が発生したりすると、緊急通報できない場合があります。緊急時の重要な通信は、端末だけに頼らないようにしてください。

 **電話** を開くか、ロック画面で **緊急通報** をタップして、自分の所在地の緊急番号を入力画面で入力し、 をタップします。電波状況が良好な場所で、端末がインターネットに接続されている場合は、端末側で自動的に現在地を取得して画面に表示します。

通話保留を有効にして重要な着信を受ける

通話中でも他の電話を受けられるようにしたいと思いませんか? 通話保留機能を使用すると、新しい着信に応答した後、2つの通話を切り替えることができます。



 **電話** を開いて  > **設定** > **その他の設定** に移動し、**割込通話** を有効にします。通話中に別の着信があったら、 をタップして応答し、最初の通話を保留中にします。通話を切り替えるには、 をタップするか、通話リストで保留中の通話をタップします。



着信転送による不在着信の回避

電話に出れない場合、着信を別の番号に転送できます。

i 一部の通信事業者では、この機能に対応していない場合があります。

電話 を開いて **⋮** > **設定** > **着信転送** に移動します。端末がデュアルSIMに対応している場合、**SIM 1** または **SIM 2** セクションで **着信転送** をタップし、転送方法を選択します。着信の転送先の番号を入力し、その番号を確認します。端末で着信転送が有効になっている場合、着信は事前に設定された番号に自動的に転送されます。

通話履歴の削除



不要になった通話履歴は削除することができます。

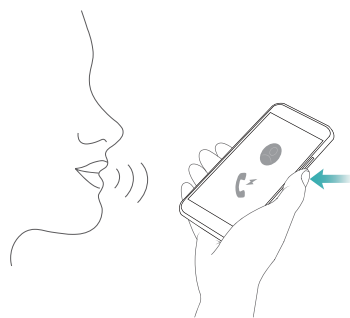
電話 を開き、**⋮** をタップしてダイヤルパッドを非表示にします。次のいずれかの操作を行うことができます。

- **1つの履歴の削除**: 該当するエントリを長押ししてから、**エントリの削除** をタップします。
- **複数の履歴の削除**: **🗑️** をタップし、削除するエントリをすべて選択するか **すべて選択** をタップした後、**🗑️** をタップします。

クイック発信: 画面消灯状態での発信


画面のロックを解除せずに発信したい場合があります。**クイック発信** を有効にすると、画面が消灯状態のときでもすぐに発信することができます。



 電話 を開いて  > **設定** > **音声操作** > **クイック発信** に移動し、**クイック発信** を有効にします。画面消灯中に音量ダウンボタンを約1秒間長押しします。音声聞こえたら、ボタンを離して連絡先の名前を言うと、すぐに発信できます。



ボイスメールの有効化

端末の電源が切れているときに重要な電話を取れないことが心配になりませんか？ボイスメールは発信者からのリアルタイムのメッセージを記録できるため、重要な電話を取り損ねることを心配する必要がなくなります。


-  ボイスメールは、通信事業者側で対応している必要があります。ボイスメールサービスが有効になっていることを確認してください。ご利用の通信事業者に連絡して、ボイスメール番号、サービスの詳細、料金に関する情報を入手してください。



ボイスメールの有効化:  電話 を開いて  > **設定** に移動し、**その他の設定** をタップします(デュアルSIM対応の端末の場合は、SIM 1 または SIM 2 セクションで **その他の設定** をタップします)。続いて **ボイスメール** > **ボイスメールの番号** に移動して、通信事業者から提供されたボイスメール番号を入力します。

ボイスメールメッセージの確認: 入力画面で 1 を長押ししてボイスメールを呼び出し、メッセージを聞きます。

国際ローミングを有効にして国際通話を行う




出張や休暇で海外にいるときは、端末でローミングが有効になっていれば、国番号をダイヤルせずに電話をかけることができます。

-  この機能の利用には、通信事業者側でこの機能に対応している必要があります。SIMカードに対してローミングまたは国際ローミングが有効になっていることを確認してください。詳細については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

 電話 または  **連絡先** を開いて電話をかけます。

迷惑電話のブロック: 煩わしい電話を安全にブロック

迷惑電話や電話詐欺にうんざりしていませんか？**ブロック** を使用してみてください。

ブロックルールの設定:  電話 を開いて  > **ブロック** に移動し、 をタップします。自分の必要に合わせてブロックルールを設定し、ブラックリストまたはホワイトリストを設定します。

VoLTE

VoLTE:通話とデータ通信を同時に実行

VoLTE(Voice over LTE)では、通話とデータ通信サービスの両方を同じ4Gネットワーク上で実現できるため、通話中でもインターネットを使用できます。また、VoLTEにより通話確立までの時間が短縮し、より高品質の音声およびビデオ通話を利用できます。

ご利用の端末のSIMカードスロットは両方とも4G、VoLTEに対応しているため、SIMを切り替える必要はありません。

- **デュアル4G**:ご利用の端末のSIMカードスロットは両方とも4Gに対応しています。
- **デュアルVoLTE**:ご利用の端末のSIMカードスロットは両方ともVoLTEに対応しているため、HD通話をしながらインターネットを使用できます。



i 一部の通信事業者では、この機能に対応していない場合があります。

VoLTE を有効にして HD 通話を楽しむ

i デュアルSIM対応端末は、両方のSIMカードスロットでの4G、VoLTEの有効化に対応しています。

設定 を開いて **無線とネットワーク** > **モバイルネットワーク** に移動します。SIM1またはSIM2(ご利用の通信事業者のネットワークで対応している場合)の設定エリアで、以下の操作を実行できます。




- **4Gの有効化**: 4G を有効にします。通信事業者によるカスタマイズ設定によっては、端末に **4G** スイッチがない場合があります。これは、4Gがすでに有効になっており、手動でオンにする必要がないことを示しています。
- **VoLTE通話の有効化**: **VoLTE通話** を有効にします。


メッセージ

基本的なメッセージ機能

メッセージの送信


SMSは、友達、家族、同僚と素早く簡単に連絡をとる手段です。文字だけでなく、絵文字を追加したり、写真や音声ファイルを挿入したりして、表現豊かなメッセージを作成することもできます。


メッセージの送信:  **メッセージ**を開きます。メッセージリスト画面で  をタップし、連絡先やグループを選択します。メッセージの内容を入力し、 をタップしてメッセージを送信します。


メッセージの下書きの保存:メッセージを下書きとして保存するには、 **戻るキー**をタップします。


メッセージの管理

メッセージアプリを使用すると、簡単にメッセージを確認・管理できます。


 **メッセージ**を開きます。メッセージスレッドのリストで、連絡先の名前または電話番号をタップし、会話のスレッドを表示します。

メッセージへの返信:テキストボックスにメッセージの内容を入力してから、 をタップします。

メッセージのアーカイブ:重要なメッセージを誤って削除してしまわないか心配なときがあります。メッセージを長押しし、 をタップするとメッセージをアーカイブすることができます。

メッセージの削除:大量のメッセージを管理するのは大変です。不要になったスレッドやメッセージを削除することで、メッセージリストをすっきりと整理できます。スレッドやメッセージを削除するには、スレッドやメッセージを長押しして編集画面に移動し、スレッドやメッセージを選択して  をタップします。削除したメッセージを復元することはできません。

メッセージの検索:特定のメッセージを素早く見つけたい場合、メッセージリスト画面の検索バーにキーワードを入力すると、該当するメッセージが検索バーの下に表示されます。


連絡先のブロック:連絡先からスパムメッセージを受信することがあります。メッセージを長押しし、 をタップすると該当する連絡先をブロックすることができます。



スパムメッセージのブロック

スパムメッセージを受信するのは煩わしいものです。メッセージブロックを有効にすることで、スパムメッセージに煩わされることがなくなります。

 **メッセージ**を開きます。

迷惑フィルタを使用すると、以下の操作を実行できます。

メッセージのブロック:メッセージを長押しして  をタップすると、その番号からのメッセージや着信をブロックできます。



メッセージのブロック解除:  をタップして、ブロック中の連絡先をタップします。電話番号の末尾にある  をタップすると、その番号のブロックを解除できます。


カメラ

基本的なカメラ機能


カメラの基本機能を使用する


カメラの基本機能を覚えて写真をキレイに撮りましょう。

基本撮影モード:  **カメラ** を開きます。ビューファインダーで、 をタップして写真を撮影します。また、音量ダウンボタンをカメラのシャッターボタンに設定することもできます。


撮影モードを選択する:  **カメラ** を開き、必要に応じてカメラモードを選択します。

ズームイン/ズームアウト:ピンチアウトするとズームイン、ピンチインするとズームアウトできます。カメラのズーム制限を超えてズームインすると、画質が低下します。2本の指で画面に触れてズームイン/ズームアウトすると、画面の横にズームバーが表示されます。このズームバーでズームイン/ズームアウトすることもできます。

カメラの露出を調整する:周囲の明るさに応じてカメラの露出が自動的に調整されます。露出を増やすと画像が明るくなり、露出を減らすと画像が暗くなります。ビューファインダーで露出を手動で調整するには、画面をタップし、 アイコンを上下にドラッグします。

フラッシュをオン/オフにする:フラッシュは、暗所での撮影で明るくしたいときに使用します。ビューファインダーで  をタップし、次のいずれかのフラッシュモードを選択します。


- オート:周囲の明るさに応じてフラッシュが自動的にオン/オフになります。
- OFF:フラッシュをオフにします。
- ON:フラッシュをオンにします。
- 常時ON:ビューファインダーになっている場合は、フラッシュが常にオンになります。



位置情報を有効にする:写真を撮影するときに位置情報を記録すると、位置情報に基づいて写真を検索できます。ビューファインダーで  をタップして設定メニューに移動し、**GPSタグ** を有効にします。

カメラでのビデオ録画

写真撮影の他に、カメラを使用してHDビデオを撮影できます。



ビデオの録画:  **カメラ** > **ビデオ** を開き、 をタップしてビデオ録画を開始します。

ビデオ録画中の写真撮影:ビデオの録画中に写真を撮影するには、 をタップします。

フラッシュをオンにする:暗所でビデオを録画するときにフラッシュをオンにするには、 をタップして  を選択します。

カメラ設定の調整


カメラ設定画面では、必要に応じて様々なカメラ設定と技術スペックを調整できます。


ビューファインダーをタップして撮影する:  **カメラ** を開き、 をタップしてカメラの **設定** を開いて、**タップして撮影** を有効にします。これにより、ビューファインダー内の被写体をタップすると、自動的にピントを合わせて写真が撮影されます。

笑顔を自動的に撮影する: **設定** で **スマイルキャプチャ** をオンにします。ビューファインダー内で笑顔が検出されると、自動的に写真が撮影されます。

焦点距離をロックする: **設定** で **シャッターボタンを長押し** をタップし、**焦点距離を固定** を選択します。これにより、シャッターボタンを長押ししてもオートフォーカスが適用されなくなります。

音量ボタンを使用して写真撮影、ピント合わせ、ズームイン/ズームアウトする: **設定** で **音量ボタンの機能** をタップし、必要に応じて **シャッター**、**ズーム**、**フォーカス** のいずれかのモードを選択します。

RAWファイルの保存: RAW形式の写真では、詳細な情報を記録して後処理を行うことができます。プロカメラモードで、 をタップして **設定** 画面に移動し、**RAW形式** を有効にします。これにより、撮影した写真が標準画像形式とRAW形式の両方で **ギャラリー** の専用フォルダに保存されます。

 RAW形式の写真は、標準形式の写真よりも保存サイズが大きくなります。ストレージ容量に十分な空きがあることを確認してください。

構図を決めるのに役立つ補助グリッドを使用する

写真が歪んで見えたり、被写体が中心から外れたりしてイライラすることがあります。カメラの補助グリッド機能を使用すると、最適な構図で写真を撮影できます。

補助グリッドを選択するには、 **カメラ** を開き、 をタップして **設定** 画面を開きます。**カメラグリッド** をタップしてグリッドタイプを選択します。

三分割法: **グリッド** または **ファイグリッド** を選択します。4本のグリッド線が交差する点が写真の焦点です。いずれかの焦点に被写体を合わせると、魅力的な構図になります。



黄金スパイラル: フィボナッチスパイラル(左) または フィボナッチスパイラル(右) を選択します。らせんの中心が写真の焦点になります。被写体をこの焦点に配置すると、写真が自然な流れに沿っているように見えます。




ポートレートモード

ポートレートモード概要




セルフィーでいつでもベストショットを撮りたい。そんなときには、ポートレートモードでさまざまなビューティー設定を行い、データベースを作成してカスタムビューティー設定を保存することができます。



- **ポートレートモード**: ポートレートモードを有効にすると、フレーム内のすべての人物に対してビューティー効果と3D照明効果(ライティングなし、ソフトライティング、パタフライライティング、スプリットライティング、ステージライティング、クラシックライティングなど)が自動的に適用されます。
- **パーフェクトセルフィー**: パーフェクトセルフィーを有効にすると、カスタムビューティープランが作成されます。ビューティーレベルが高いほど、効果が大きくなります。




i 夜間または暗所でインカメラを使用して写真を撮影する際、フラッシュを  に設定することで、場所が暗いことを端末が検出すると、自動的に光量補正が有効になり、画面が明るくなります。これにより、インカメラで撮影する写真の画質が向上します。

ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

セルフィーやグループ写真をもっと美しく魅力的にしたい。そんなときには、ポートレートモードのカスタムオプションを使用することで、美しく、思い出に残る写真を撮影することができます。

ポートレートモードを有効にしてさらに魅力的な写真を撮影する:  カメラ >  ポートレート >  に移動します。スライダーを左右にドラッグして、ビューティー設定を調整します。ビューティーレベル を上げ

ると、ビューティー効果がより鮮明になります。ビューファインダーの  アイコンをタップし、(ライティングなし、ソフトライティング、バタフライライティング、スプリットライティング、ステージライティング、クラシックライティング)を選択します。調整が終わったら、 をタップして写真を撮影します。

パーフェクトセルフイーモードを有効にしてビューティー設定をカスタマイズする:  カメラ > ポートレート >  に移動してカメラ設定画面を起動します。パーフェクトセルフイー をタップして有効にします。画面の指示に従って正面向き、左右横向き、さらに下向きで自分の写真を撮り、次にビューティー設定パラメータを設定します。パラメータの値を大きくするほど、よりスリムで鮮明なビューティー効果になります。設定を確認した後、 をタップすると、カスタマイズしたビューティー設定が保存されます。

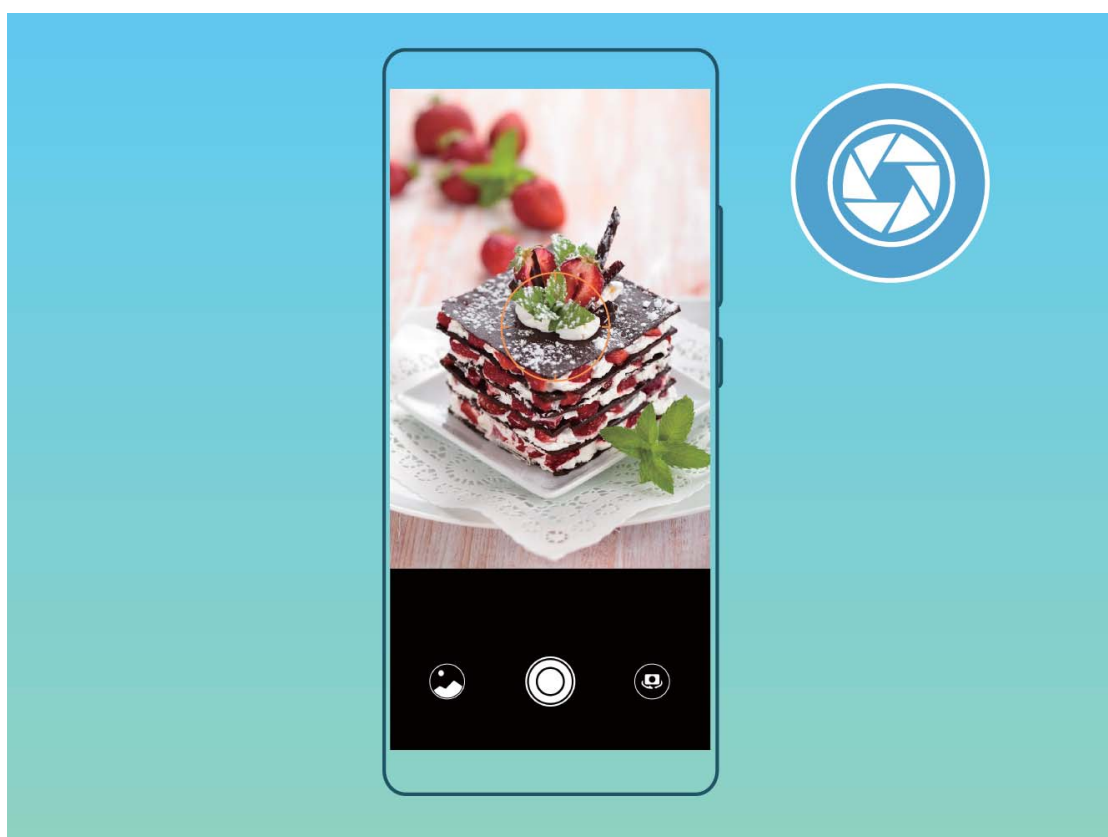
- **個人情報**を再入力する: カメラの設定画面で **パーフェクトセルフイー > 個人情報を編集** に移動し、画面の指示に従って正面向き、左右横向き、さらに下向きで自分の写真をもう一度撮ります。これにより、ビューティー設定パラメータが再設定されます。
- **ビューティー設定パラメータ**を調整する: カメラの設定画面で **パーフェクトセルフイー > ビューティーエフェクト**を設定に移動して、肌の瑞々しさや色合いなどのパラメータを調整します。

ワイドアパーチャ

ワイドアパーチャモード: 被写体の強調

たくさんの花の中でシャクヤクの花だけを目立たせたい、群衆の中で被写体だけを強調したい、暗い場所で明るさを上げたい。そんなときには、ワイドアパーチャモードを有効にすれば、背景をぼかしたり、被写体を強調したり、暗所でも鮮明な写真を撮影したりできます。

- **ほんの一瞬を切り取るクイックフォーカス:** ワイドアパーチャモードを使用すると、ピント合わせの遅れや手ぶれによるぼけを防ぎながら、移動中でも一瞬の出来事を素早くとらえることができます。
- **背景をぼかして被写体を強調:** 群衆の中で被写体を引き立たせるのは難しいものです。ワイドアパーチャモードを有効にして背景をぼかすと、人ごみの中でも簡単に被写体を際立たせることができます。
- **夜でも簡単に瞬間を撮影:** 夜や暗い場所では写真がぼけがちです。ワイドアパーチャモードを有効にして、レンズから取り込む光の量を増やし、写真の明るさをカスタマイズすると、暗い中でも鮮明な瞬間を撮影できます。



ワイドアパーチャモードを使用して被写体を強調する

ワイドアパーチャモードを使用すると、被写界深度が浅くなります。これにより、背景がぼけて被写体により強調されます。

ワイドアパーチャ写真を撮影する: **カメラ** を開きます。アウトカメラ撮影モードで、画面下部の **アパーチャ** をタップして、ワイドアパーチャモードを有効にします。画面を左にスワイプすると、このモードを終了して他の撮影モードに切り替わります。撮影時は画面をタップして焦点を設定してから をタップして撮影します。


- 仕上がりをよくするために、中心の被写体がカメラから2m以内にあることを確認してください。
- をタップし、スライダーを左右にドラッグして、アパーチャレベルを調整します。アパーチャの値が小さければ小さいほど、背景のボケ味が強くなります。

パノラマ

パノラマモードを使用したパノラマセルフィーの撮影

セルフィーに友人や風景をもっと入れたいと思うことがあります。パノラマを使用すると、広い画角でセルフィーを撮影できます。


- 1 **カメラ** を開き、 をタップしてインカメラに切り替えます。
- 2 **その他** > **パノラマ** に移動します。





- 3 端末をしっかりと持ち、 をタップして1枚目の写真を撮影します。
- 4 画面の指示に従って端末を一方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。もう1枚の写真が自動的に撮影されます。
- 5 画面の指示に従って端末を逆方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。最後の写真が自動的に撮影されます。
- 6 操作が完了すると、3枚の写真が自動的につなぎ合わされ、1枚のワイドアングル3Dセルフィーになります。

パノラマモードを使用したパノラマ写真の撮影

パノラマは普通の写真よりも画角が広いので、風景の全体を収めた写真を撮影できます。

パノラマ撮影では、カメラが視界内の被写体の写真を複数撮影し、これらの写真をつなぎ合わせて1枚の写真を作成します。

-  パノラマ写真を撮影するときには、被写体からある程度距離を置き、広く開放的な空間で撮影し、単色の背景はできるだけ避けてください。

- 1  **カメラ** > **その他** > **パノラマ** に移動します。
- 2 画面下部の  をタップし、撮影方向を設定します。
- 3 端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。端末をしっかりと持ち、矢印が中央の線と水平になるようにして、示されている方向に端末をゆっくりと動かします。
- 4 終了したら、 をタップします。写真が自動的につなぎ合わされ、1枚のパノラマ写真になります。



3D パノラマ

3D パノラマ:動きのある 3D 写真を撮影する

3Dパノラマを使用すると、臨場感のあるパノラマ写真になります。端末を傾げるか、写真をドラッグすると、3D効果が適用されます。




3Dパノラマは、端末に事前に設定されているカメラモードです。3Dパノラマを使用することで、被写体、人物、風景を動きのあるパノラマ写真に収めることができます。




3D パノラマを使用した 360 度撮影

3Dパノラマ機能を使用して、風景や人物を360度の視点で撮影してみましょう。

3Dパノラマ 機能には次の3種類の撮影モードがあります。

- **被写体の撮影:**  **カメラ** > **その他** > **3Dパノラマ** に移動します。  を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには  を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。



- 風景、人物や動物などの撮影:  カメラ > その他 > 3Dパノラマ に移動します。◎ を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには ◎ を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。3Dパノラマの作成後に、端末を傾げるか写真をドラッグすると、3D効果を確認できます。



プロモード

プロカメラモード:カメラで自分を表現

プロカメラモードでは、露出やシャッター速度などの様々な設定を調整でき、カメラを自分で操作できます。

プロカメラモードでは、様々なパラメータを調節して、プロが使うカメラのような写真やビデオを撮影できます。



プロカメラモードで風景写真を撮る

風景写真をもっと魅力的に、生き生きとしたものにしたいと思うことがあります。プロカメラモードを使用すると、個性的な風景写真を撮影できます。

カメラ > **プロ** を開きます に移動します。

被写体に合わせて測光モードを選択する:プロカメラモードで をタップします。シーンに合わせて適切な測光モードを選択します。

測光モード	シーン
マトリックス	広大な風景(海岸、山)
中央	中央の被写体が背景から離れている写真
スポット	際立たせたい被写体(花や木など)が写っている写真

撮影シーンに応じた明るさの調整:

- **ISO**:プロカメラモード画面で **ISO** をタップし、ISOスライダーを横にスライドして値を変更します。
 - ① 過剰なノイズを防ぐため、ISO 400以下の設定をお勧めします。日中の撮影では100 ~ 200に設定し、夜間撮影では400以上に設定します。
- **シャッター速度**:プロカメラモードで **S** をタップし、スライダーをドラッグして、使用する値をハイライト表示します。

i 動きのないシーン(山など)では、シャッター速度として1/80 ~ 1/125をお勧めします。動きのあるシーン(波など)では、三脚に端末を取り付け、遅いシャッター速度(1秒未満)を使用することをお勧めします。動いている被写体を撮影するときは三脚を使用するとよいでしょう。

- **露出補正**:プロカメラモードで **EV** をタップし、EVスライダーをドラッグして、使用する値をハイライト表示します。

ホワイトバランス:プロカメラモードで **AWB** をタップし、AWBスライダーをドラッグして、使用する値をハイライト表示します。

- i**
 - 直射日光が当たる場所で撮影する場合は、☀️ を選択します。光が弱い場所では、☁️ を選択します。
 - 色温度を変更するには、🌡️ をタップします。写真を暖色トーンやレトロな雰囲気にするには、K値を大きく設定します。寒色の光や静寂な雰囲気にするには、K値を小さく設定します。

撮影する被写体に基づいたAFの調整:プロカメラモードで **AF** をタップし、AFスライダーをドラッグして、使用する値をハイライト表示します。

AFモード	シーン
AF-Sモード	動きのないシーン(山など)
AF-Cモード	動きのあるシーン(波など)
MFモード	際立たせる被写体(花など)

端末を水平に保つ:プロモード画面で、⚙️ をタップして **水準器** を有効にします。この機能では、ビューファインダーに2つの補助線が表示されます。点線が実線と並んでいることを確認します。この場合には、端末が水平になっています。



RAWファイルの保存:プロカメラモードで、⚙️ をタップして、**RAW形式** を有効にします。写真がRAW形式とJPEG形式の両方で保存されます。

- i**
 - プロカメラモードでは、1つの設定を変更すると、他の設定も自動的に変更されることがあります。必要に応じてこうした設定を調整できます。
 - 上記の設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整するとよいでしょう。

プロカメラモードでポートレートを撮る

プロのようなポートレートを撮りたいと思うことはありませんか。プロモードを使用すると、カメラの設定を調整して、プロのようなポートレートを撮影できます。

 **カメラ** > **プロ** を開きます に移動します。

測光モードを選択する:ポートレートを撮影する場合は、 または  モードをお勧めします。被写体(顔など)がビューファインダーの中央になるようにします。

明るさの調整

- **ISO**: 人物を撮影する場合は、過剰なノイズを防ぐため、ISOを低く設定することをお勧めします。実際の撮影環境に基づいてISOを調整してください。

シーン	推奨ISO値
屋外	100 ~ 200
屋内	400前後
夜間	400 ~ 800

- **シャッター速度**: 暗所ではシャッター速度を遅くし、十分な明るさのある場所ではシャッター速度を速くします。動きのない被写体の場合はシャッター速度として1/80~1/125を使用し、動きのある被写体の場合は1/125以上のシャッター速度を使用します。

- **露出補正**: 被写体と背景が暗すぎる場合はEV値を大きくし、明るすぎる場合はEV値を小さくします。

ホワイトバランス: 撮影シーンに適したホワイトバランスモードを選択します。直射日光が当たる場所で撮影する場合は、☀️を選択します。光が弱い場所では、☁️を選択します。

フォーカス: 人物撮影では、マニュアルフォーカス(MF)モードを選択することをお勧めします。写真の中でピントを合わせて際立たせる部分(顔など)をタップしてから、撮影します。

- **i** プロカメラモードでは、1つの設定を変更すると、他の設定も自動的に変更されることがあります。必要に応じてこうした設定を調整できます。
- 上記の設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整するとよいでしょう。

モノクロ

ダブルレンズモノクロ: 世界を白と黒で描写

色彩が多すぎると、何を見せたいのかわかりづらくなる場合があります。モノクロモードを使用して色を取り除くことで、細かい部分が際立ち、リッチで繊細な表現が可能になります。

ダブルレンズモノクロを使用すると、次のような効果が得られます。

- **色の重なりを際立たせる光と影の複雑なコントラスト**: 光の変化にフォーカスし、光の方向や強さといった陰影の表現を操ることができます。
- **レトロな印象**: モノクロ写真は時間や場所の変化にかかわらずレトロな印象を与え、クラシックで時代を超越した雰囲気を出します。
- **ノスタルジックで繊細なイメージ**: 特にポートレートでの味わいが深まります。表情のディテールを強調し、被写体にミステリアスでメランコリックな雰囲気を与えます。



モノクロ写真の撮影

世界には色があふれています。しかし、色彩が多すぎると何を見せたいのかわかりづらくなることもあります。モノクロモードを使用して色を取り除くと、光と影が強調され、写真にムードで独特な雰囲気を加えることができます。

 **カメラ** > **その他** > **モノクロ** に移動してモノクロで写真を撮影します。



ライトペインティングモード

ライトペインティング: 光の軌跡を撮影する

ライトペインティングモードでは、遅いシャッター速度に自動的に設定し、露出時間を長くして光の軌跡を撮影します。このモードでは、幻想的な雰囲気の良い写真を撮影できます。

ライトペインティングモードには、さまざまな被写体と光の状態に対応した4種類のクリエイティブな撮影モードがあります。

- **テールライトレイル**: 夜間に車のライトの軌跡を撮影します。
- **グラフィティ**: 暗い場所で移動する光源の軌跡を撮影します。
- **スタートラック**: 夜空の星の軌跡をとらえた美しい写真を撮影します。
- **シルキーウォーター**: 流れる水の様子をシルクのように滑らかに撮影します。



テールライトレイルを使用して都会の夜景を撮影する

テールライトレイルでは、夜間の車のテールライトを芸術的に撮影できます。

- **i** ある程度距離を置いた位置で、被写体のやや上から撮影するとよいでしょう。画像が露出過多にならないよう、車のヘッドライトがカメラに直接向かないようにしてください。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

📷 **カメラ** > **その他** > **ライトペインティング** を開いて **📷** に移動します。端末をしっかりと持ち、**📷** をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、**🔴** をタップします。



ライトグラフィティを使用してライトパターンを作成する




ライトグラフィティでは、カメラの前で光源を動かして文字や図形を描くことができます。

- **i** 他の光が入らない場所で、被写体の影が見えないことを確認してください。ペンライトやサイリウムなど、適切な色の明るい光源を選択してください。
 - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- 📷** **カメラ** > **その他** > **ライトペインティング** > **グラフィティ** を開きます に移動します。端末をしっかりと持ち、**📷** をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、**🔴** をタップします。



シルキーウォーターを使用して川や滝を撮影する




シルキーウォーターでは、滝や川をシルクのように滑らかに撮影できます。

- i** ● 水量の多い小川や滝を選んでください。
 - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- 1**  **カメラ** > **その他** > **ライトペインティング** > **シルキーウォーター** を開きます **に** 移動します。
 - 2** 端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。
 - 3** 画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



スタートラックを使用して星をキレイに撮影する

スタートラックでは、夜空の星の動きを撮影できます。


- 障害物や人工の光がない場所で、空が澄み切った夜に撮影するとよいでしょう。
 - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- 1  カメラ > その他 > ライトペインティング > スタートラックを開きます に移動します。
 - 2 端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。
 - 3 画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



その他の撮影モード


カスタム撮影モード

事前に設定されている機能以外でカメラを使ってみたいと思うことがあります。必要に応じて、撮影モードをダウンロードしたり削除したりすることができます。

撮影モードをダウンロードする: を開いて  **カメラ** > **その他** > **ダウンロード** > **その他** に移動します。ダウンロードする撮影モードを選択して、**追加** をタップします。

撮影モードを更新する: 撮影モードを更新するには、**その他** 画面に移動します。利用可能な更新がある場合、撮影モードの横に赤い点が表示されます。画面の指示に従って更新できます。




撮影モードを削除する: **その他** > **編集** に移動し、 をタップして必要のない撮影モードを削除します。




 カメラの正常な動作を保証するために、事前に設定されている撮影モードは削除できません。



アニメーション写真の撮影


写真をもっと魅力的に、生き生きとしたものにしたいと思いませんか。アニメーション写真により、より臨場感のある写真を撮影できます。

アニメーション写真では、シャッターボタン押下前後の約1秒間のシーンをアニメーションとして撮影できます。この写真をギャラリーで閲覧すると、シャッターボタンを押した瞬間に撮影された静的な写真を見るだけでなく、動的な写真と音声を再生することもできます。

アニメーション写真の撮影:  カメラを開き、画面上部の  をタップした後、 をタップして撮影します。

アニメーション写真を表示する: 撮影したアニメーション写真は、JPG形式で **ギャラリー** に保存されます。 **ギャラリー** > **アルバム** > **カメラ** に移動します。 アイコンで写真をタップし、写真の上部の  をタップして、アニメーション効果を表示します。再生が終了すると、アニメーション写真は自動的に停止します。また、再生を停止するには、画面をタップします。

アニメーション写真を共有する:  **ギャラリー** > **アルバム** に移動し、共有するアニメーション写真をタップし、 をタップします。次に、共有方法を選択し、画面の指示に従って共有を完了します。


-  アニメーション写真は、Wi-Fi、Bluetooth、Huawei Shareなどの方法で直接共有できます。アニメーション写真の効果を再生するには、アニメーション写真の撮影に対応したHuawei端末を受信端末として使用する必要があります。アニメーション写真をサードパーティ製アプリまたは対応していない端末と共有する場合、アニメーション写真は静的な画像として表示されます。

ギャラリー

ハイライト

ハイライト:写真からあなた独自のビデオを作成

ハイライトでは、時間や場所の情報に基づいて短いフォトクリップを作成できます。ビデオクリップを編集して、友人と共有することもできます。

- **ハイライトでは、写真の時間と地理情報に基づいて自動的にビデオを作成します。写真を撮影する前に、カメラを開いて  をタップし、GPSタグが有効になっていることを確認します。**
- 端末がインターネットに接続されていることを確認してください、インターネットに接続しないとハイライトができません。
- ハイライトアルバムは、端末の充電中、画面が消灯されていて、電池残量が50%以上あるときに自動的に作成されます。ご利用の端末によるアルバム作成には時間がかかる場合があります。ギャラリー内の写真やビデオが7枚未満の場合、ハイライトアルバムは作成されません。

ハイライトを使用して以下のようなことが可能です。

- **テーマに基づいたアルバムの自動作成:**ハイライトでは、時間や場所(誕生日パーティや卒業式など)に基づいてフォトアルバムを自動で作成します。新しいアルバムが作成されると、プッシュ通知が端末に送信されます。この通知をタップすることでアルバムを閲覧できます。
- **過去のアルバムの閲覧通知:**アルバム作成から1年後または該当する写真が撮影された場所を再び訪れた際に過去のアルバムの閲覧通知が表示されます。
- **アルバムの編集:**アルバム名の変更、写真の追加/削除、バックグラウンドミュージックやアニメーション効果の編集が可能です。アルバムを編集して、そのビデオクリップを端末に保存したり、友人と共有できます。



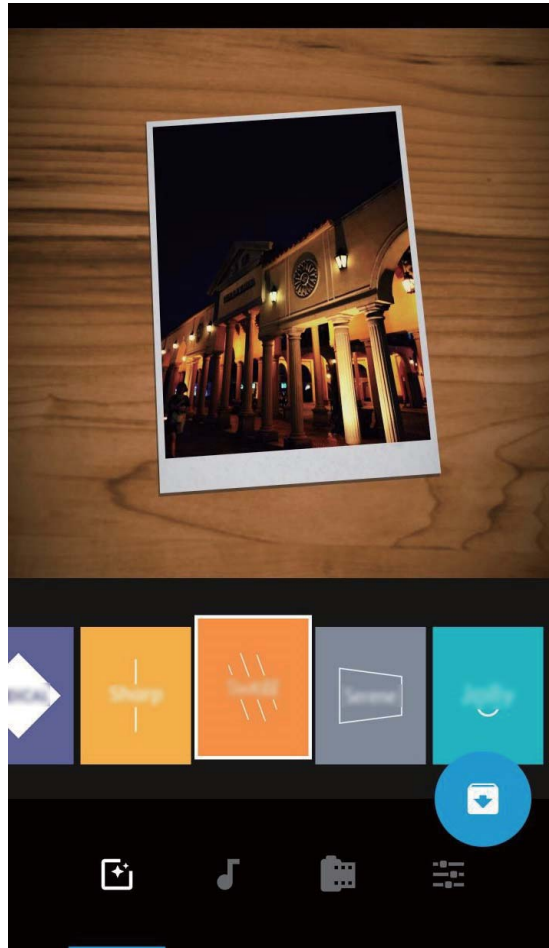
ハイライトアルバムのカスタマイズ

ハイライトアルバムの写真やビデオ、BGM、またはハイライトビデオのビデオテンプレートを変更したい場合は、アルバムの写真やビデオをカスタマイズしたり、作ったビデオをお気に入りのBGMやテンプレートでカスタマイズしたりして、ハイライトアルバムを編集することができます。

- **ハイライトアルバム**は、写真やビデオの撮影時間や撮影場所に従って作成されます。端末は、写真の撮影時間や撮影場所に従ってビデオを作成します。写真を撮影する前に、**カメラ**を開いて **設定** をタップし、**GPSタグ** が有効になっていることを確認します。
- 端末がインターネットに接続されていることを確認してください。
- 端末がスリープモードで充電中の場合、電池残量が50%以上のときは、自動的にハイライトアルバムを整理・作成します。分析が終わるまでは、少し時間がかかる場合があります。ギャラリーにある写真やビデオの数が少ない場合(写真が10枚未満)、ハイライトアルバムの自動作成は行われません。

ギャラリーを開き、**発見**で表示または編集したいハイライトアルバムをタップします。続けて、以下の操作を実行することができます。

- **ハイライトの再生または編集**: **再生** をタップします。再生中に画面の下にあるオプションバーを使用すると、ビデオのテンプレートやバックグラウンドミュージックを編集できます。



- **アルバムの写真やビデオの追加または削除**: 写真やビデオを追加するには、**+** をタップして追加したい写真やビデオを選択してから、**✓** をタップします。写真やビデオを削除するには、アルバムの写真やビデオを長押しし、**↑** をタップしてから、**移動** をタップします。
i アルバムに追加できるのはMP4形式のビデオのみです。
- **アルバムの写真やビデオの共有**: アルバムの写真やビデオを長押しし、**🔗** をタップして共有モードを選択してから、画面の指示に従って共有を完了します。
- **ハイライトアルバムの名前の変更**: **📄** をタップして新しい名前を入力します。
- **ハイライトアルバムの削除**: **🗑️** をタップして、**削除** をタップします。

写真の管理

カテゴリーで素早く写真を探す

ギャラリーから写真を素早く見つけたい。そんなときは、ギャラリー内の写真をスマートに整理することで、検索バーで写真を検索できます。

スマートな写真検索: スマートな写真検索機能では、ギャラリー検索バーにキーワード(食べ物や風景など)を入力することで、写真を検索できます。

写真認識を使用して写真をスマートに整理する



写真の整理に時間がかかったり、探している写真がなかなか見つからないことがあります。そんなときは、写真認識機能を使用すると、ギャラリー内でポートレート、場所、風景、食べ物などのカテゴリー別に写真が自動的に整理されるため、探しているものを素早く見つけることができます。


写真をスマートに整理する: ギャラリーでは、撮影した写真がポートレート、場所、風景、食べ物などのカテゴリー別に自動的に整理されるため、探しているものを素早く見つけることができます。


まとめた写真をカスタマイズする: ギャラリーに様々なポートレートアルバムを自動的にまとめた後、ユーザーはポートレートのアルバム名を手動で変更し、関係(「赤ちゃん」、「お母さん」など)を設定できます。設定が完了した後は、様々な写真アルバムを名前を表示できます。また、ギャラリー検索バーで名前と関係を検索することで、写真を探すこともできます。

グループ写真をアルバムにまとめる: ギャラリーでカテゴリーがインテリジェントに識別されると、作成したアルバムに名前を設定できます。ギャラリーでは、10個以上になったグループ写真をひとまとめにして、グループ写真アルバムを作成します。



ビデオの編集



ビデオをトリミングする:  ギャラリー を開き、編集するビデオを選択して  をタップすると、ビデオ編集画面になります。トリミング領域のスライダーをドラッグすると、残したい部分を選択できます。✓ をタップすると、ビデオのトリミングが終了します。

ビデオの解像度を調整する: スライダーをドラッグして残したい部分を選択するときに、 をタップするとトリミング後のビデオがプレビュー表示されます。さらに、編集画面左上のビデオ解像度表示部をタップして、ビデオ解像度を調整することもできます。

-  解像度が高いほどビデオが鮮明になりますが、必要なストレージ容量が多くなります。状況に応じて適切に選択してください。



スローモーションビデオの再生の調整













 ギャラリー を開き、録画済みのスローモーションビデオを選択して  をタップすると、再生を開始します。画面をタップし、編集領域のスライダーをドラッグして、スローモーションで再生する部分を選択します。

-  修正済みのスローモーションビデオを新しいビデオとして保存するには、編集画面の  をタップして **スローモーションファイルを保存** を選択します。

写真の編集


撮影した写真は、編集してさらに見映えをよくしたくなるものです。ギャラリーの編集機能を使用すると、トリミングや回転、様々な効果(落書き描画、ウォーターマークのカスタマイズ、フィルタなど)を適用して写真をさらに印象的にすることができます。


 ギャラリー に移動し、編集する写真を選択して  をタップすると、写真の編集画面になります。次の機能を使用して、写真を編集することができます。



- **写真の回転:**  をタップし、角度つまみをスライドさせて、写真の回転角度を自由に調整できます。また、回転 または  をタップすると、写真を90° 回転させたり、左右を逆にしたりできます。
- **写真のトリミング:**  をタップし、グリッドツールボックスまたはその端をドラッグして選択します。また、固定トリミング率を選択し、グリッドツールの端をドラッグして写真をトリミングすることもできます。
- **フィルタ効果の追加:**  をタップしてフィルタ効果を選択します。
- **色の保持:**  をタップし、画面の指示に従って、保持する色を選択します。色を保持するよう選択した領域が強調表示されます。
- **写真をぼかす:**  をタップして、ぼかしモードを選択し、スライダーをドラッグすると、ぼかしのレベルを調整できます。
- **写真効果の調整:**  をタップして、写真の明るさ、明暗差、彩度、その他のパラメータを調整できます。
- **ポートレート写真のビューティー効果:** ポートレート写真が自動検出されると、ビューティー機能が自動的に作動します。写真の編集画面で  をタップすると、スムージング、コンシーラー、細面、目元を洗練などの機能を適用して、さらに魅力的なポートレート写真にすることができます。
- **モザイク写真の作成:**  をタップして、モザイク効果とサイズを選択し、モザイク写真を作成できます。
- **写真に手書きで落書きする:**  をタップして、ブラシと色を選択し、写真に落書きを追加できます。
- **ウォーターマークの追加:**  をタップして、ウォーターマーク(時刻、場所、天気、ムードなど)を選択し、写真をカスタマイズできます。
- **タグの追加:**  をタップし、注釈スタイルとフォント書式を選択して、写真に情報を付け加えることができます。



写真やビデオの閲覧と共有


古い写真やビデオを閲覧すると、大切な記憶がよみがえります。写真やビデオは端末のギャラリーに保存されています。写真を撮影時刻や撮影場所別に表示したり、アルバムを選択して写真を表示したりできます。


写真を全画面で表示する:  **ギャラリー** を開いて写真をタップすると、写真が全画面モードで表示されます。画面をもう一度タップすると、メニューが非表示になります。写真を全画面モードで表示しているときには、次の操作を実行できます。

- **写真のズームインとズームアウト:** 画面に2本の指を置いてピンチインすると写真をズームアウトし、ピンチアウトするとズームインします。写真の解像度が画面の解像度よりも高い場合、2本の指を使って写真を拡大できます。画面から指を離れた後、写真は最大100%拡大され、拡大した写真は元の写真と同じように表示されます。
- **撮影パラメータの表示:** 特定の写真の撮影パラメータと特性を表示するには、 をタップし、詳細情報ウィンドウを上下にスワイプします。ISO(感度)、EV(露出補正)、解像度、その他の写真のパラメータが表示されます。


- **写真の名前の変更**:  > **名前を変更** に移動し、写真の新しい名前を入力します。
- **連絡先用の写真またはホーム画面の壁紙として写真を設定**:  > **登録** に移動し、写真を **壁紙** または **連絡先の写真** として設定します。

写真やビデオの共有:  **ギャラリー** を開き、ファイルを長押しして選択画面を表示し、共有するファイルを選択して  をタップします。共有方法を選択し、画面の指示に従って共有操作を完了します。


日時別の写真の表示: **写真** タブで、写真やビデオが撮影された日時を確認できます。  > **設定** に移動し、**時間と場所を表示** を有効にすると、写真を全画面モードで表示しながら、写真が撮影された日付を表示できます。**写真** タブでは、画面に2本の指を置いてピンチアウトまたはピンチインして、写真をズームインまたはズームアウトできるほか、写真やビデオを日付別または月別に表示できます。



場所別の写真の表示: **カメラ** 設定メニューで **GPSタグ** を有効にした状態で写真やビデオを撮影すると、写真やビデオを地図モードで表示できます。**写真** タブで  をタップすると、位置情報付きの写真やビデオが、地図上の対応する撮影場所に表示されます。また、画面に2本の指を置いてピンチアウトまたはピンチインすると、写真にズームインまたはズームアウトして、写真の詳細を表示できます。写真のサムネイルをタップすると、その場所で撮影されたすべての写真やビデオが表示されます。



アルバム別の写真の表示: **アルバム** タブでは写真やビデオをアルバム別に表示できます。一部の写真やビデオは、システムで指定されているデフォルトのアルバムに保存されます。たとえば、端末のカメラで録画したビデオは **ビデオ** アルバムに保存されます。スクリーンショットとスクリーン録画は **スクリーンショット** アルバムに保存されます。




スライドショーの再生: **写真** タブで  > **スライドショー** に移動すると、写真のスライドショーが自動的に再生されます。スライドショーを一時停止するには、画面をタップします。

アルバムの整理


新しいアルバムに写真やビデオを追加する: **アルバム** タブで  をタップし、アルバム名を入力して、OK をタップします。新しいアルバムに追加する写真／ビデオを選択してから、新しいアルバムに写真／ビデオを追加します。

写真やビデオの移動: 写真やビデオを別々のアルバムから同じアルバムに移動し、管理や閲覧を簡単にすることができます。移動元のアルバムを開き、 アイコンが表示されるまで写真／ビデオを長押ししてから、移動する写真／ビデオを選択します。 をタップし、移動先のアルバムを選択します。移動が完了すると、移動したファイルが元の場所から削除されます。




お気に入りに写真やビデオを追加: お気に入りの写真やビデオを別々に保存する場合は、写真やビデオをお気に入りに追加して、簡単に管理・閲覧することができます。お気に入りに写真やビデオを追加するには、写真／ビデオを開いてから、 をタップします。追加した写真やビデオは引き続き元の場所にあり、**自分のお気に入り** アルバムには、 記号が付いたコピーとして表示されます。



アルバムの並べ替え: 頻繁に使用するアルバムの順番を調整すると、アルバムを簡単に見つけたり、閲覧したりできます。すべてのアルバムに  記号が表示されるまでアルバムを長押ししてから、 を長押しして適切な位置にアルバムをドラッグします。完了したら、 をタップして終了します。

i カメラ、すべてのビデオ、自分のお気に入り、スクリーンショットなどのアルバムは調整できません。

アルバムを非表示にする: アルバムを非表示にしてプライバシーを確保します。アルバムを非表示のままにできます。アルバム タブで  > **アルバムを非表示** に移動し、非表示にするアルバムのスイッチをオンに切り替えます。

i カメラ、すべてのビデオ、自分のお気に入り、スクリーンショットなどのアルバムは非表示にできません。


写真やビデオの削除:  記号が表示されるまで写真またはアルバムを長押しし、削除するファイルを選択してから、 > **削除** に移動します。削除した写真やビデオは **最近削除したファイル** アルバムに保持され、アイテムがシステムから完全に削除されるまでの残り日数がタグで示されます。期限切れになる前に **最近削除したファイル** アルバムから写真やビデオを完全に削除するには、削除する写真／ビデオを選択してから、 > **削除** に移動します。

削除した写真やビデオの復元: **最近削除したファイル** アルバムで、 記号が表示されるまで写真／ビデオを長押しし、復元する写真／ビデオを選択してから、 をタップします。復元した写真やビデオは元の場所に戻されます。アルバムが削除された場合、該当するアルバムが自動的に再作成されま

端末管理


ワンタップ最適化の使用

端末の動作が遅くなってきたと感じることがありませんか。マルウェアや他のセキュリティの脅威に対する脆弱性が心配になることもあります。ワンタップ最適化を使用すると、端末の動作がよりスムーズになり、セキュリティの脅威からも保護されます。

 **端末管理** のアイコンをタップして、**最適化** をタップします。端末の動作が速くなり、セキュリティリスクの確認が行われ、消費電力が最適化され、不明な電話番号からの電話や迷惑電話が監視および撃退されます。

モバイルデータ通信量の管理

その月のデータ量を使い切り、追加料金を支払うという事態は避けたいものです。データ通信量の管理機能を利用すれば、データトラフィックを監視してデータの過度な利用を防ぐことができます。

 **端末管理** のアイコンをタップして **モバイルデータ通信** をタップし、データ使用状況の詳細を表示するか、**データセーバー** を有効にします。

- **通信量ランキング**: 各アプリのデータ使用状況を確認します。
- **ネットワーク通信を行うアプリ**: アプリごとにインターネットアクセス権限を設定します。
- **データセーバー**: データセーバー(アプリによるバックグラウンドでのモバイルデータ通信を防ぐ)を有効にし、データ通信量の制限を適用しないアプリを選択します。



消費電力の最適化

タイミング悪く電池残量がなくなった場合は、本当に困ります。省電力機能により、端末の待受時間を延長し、ゲームやその他の機能を長時間利用できるようになります。


 **端末管理** のアイコンをタップして、**電池残量** をタップすることで以下の操作を実行できます。

- **消費電力の詳細表示**: 消費電力の詳細を確認するには、画面右上の**電池消費量** をタップします。電池消費量の詳細画面では、**充電中** の下の青いマークが、端末が充電されたタイミングを示しています。マークの間のギャップは、端末が充電されなかった期間を示しています。この機能では、電力を消費しません。最も消費電力の大きいアプリやハードウェアを確認するには、**電池消費量** をタップします。
- **全体的な消費電力の確認と最適化**: **電池使用を最適化** をタップすると、消費電力の問題がチェックされ、パフォーマンスが自動的に最適化されます。

- **省電力モードまたはウルトラ省電力モードの有効化**: 省電力モード または ウルトラ省電力モード を有効にします。待受時間を延長するには、ご利用の端末の電池残量に応じて適切な省電力モードを選択してください。
- **画面解像度の調整による省電力化**: 画面の解像度 をタップして、スマート解像度 を有効にします。ご利用の端末では、自動的に画面の解像度を下げて消費電力を削減します。また、高い解像度が必要な場合には、画面の解像度を手動で設定して消費電力を削減できます。
- **ステータスバーに電池残量(%)を表示**: 電池残量表示位置 を有効にすると、ステータスバーに電池残量(%)が表示されます。
- **アプリの起動管理による省電力化**: アプリ起動 をタップすることで、アプリの自動起動、連動、バックグラウンドでの動作を手動または自動で管理できます。システムによって、自動的に消費電力を管理し、消費電力を削減します。
 - ① バックグラウンドで消費電力が大きいアプリが実行されている場合に通知されます。画面の指示に従ってアプリの設定を最適化してください。

ウイルススキャンの有効化

不適切な広告を開いたり、不正なリンクをタップすると、端末がトロイの木馬やマルウェアに感染し、気づかぬうちにインストールされて個人情報や盗まれる可能性があります。ウイルススキャンを実行すると、脅威を特定して除去し、端末を保護することができます。


 **端末管理** を開いて **ウイルススキャン** をタップすると、ご利用の端末が自動的にスキャンされ、セキュリティの脅威が取り除かれます。⚙️ をタップして次のオプションを実行することもできます。


- **クラウドウイルススキャン**: クラウドスキャン を有効にすると、端末でクラウドベースの動的なスキャンが標準スキャンに追加され、端末が新しい脅威から保護されます。
- **クイックスキャン**: クイックスキャン を選択します。定期保守時に、端末上の重要な位置情報やアプリがすばやくスキャンされます。
- **フルスキャン**: フルスキャン を選択します。ご利用の端末では、定期的に端末全体のスキャンが実行され、マルウェアや悪意のあるファイルが存在するかどうかチェックされます。この処理は時間がかかりますが、より広範なスキャンが実行されるため、端末を更に安全に保護できます。
- **ウイルスライブラリの更新**: 手動更新 を有効にしてウイルスデータベースを手動で更新します。または、自動更新 および Wi-Fi上でのみ更新 を有効にします。自動的にウイルスデータベースがWi-Fi経由で更新され、端末の脅威の除去機能が最新の状態に保たれます。
 - ① ウイルススキャンの通知はデフォルトで有効になっています。ウイルス対策スキャンを30日以上実行していない場合に、通知を受け取ります。

メール

メールアカウントの追加

端末に自分のメールアカウントを追加すると、いつでもメールを送受信でき便利です。メール設定時に特定の設定項目についてご不明な点がある場合は、メールアカウントの提供元にお問い合わせください。


個人用メールアカウントの追加:  を開き、メールサービスプロバイダを選択するか **その他** をタップして、メールアドレスとパスワードを入力した後、**サインイン** をタップして画面の指示に従ってアカウントを設定します。サーバーに自動的に接続され、サーバー設定の確認が行われます。



Exchangeアカウントの追加: Exchangeは、Microsoftが開発した企業向けの社内メールシステムです。会社のメールがExchangeサーバーを使用している場合、端末から自分の業務用メールアカウントにログインできます。  > **Exchange** に移動し、メールアドレス、ユーザー名、パスワードを入力して **サインイン** をタップした後、画面の指示に従ってアカウントを設定します。サーバーに自動的に接続され、サーバー設定の確認が行われます。


設定が完了すると、デフォルトでは **受信トレイ** 画面が自動的に開きます。

メールアカウントの管理



1つまたは複数のメールアカウントを追加できます。


 **メール** を開きます。以下の操作を行うことができます。


メールの確認: 受信トレイ画面で  をタップしてメールアカウントを選択すると、メールの一覧が表示されます。下にスワイプすると、メール一覧の表示が更新されます。各メールを開いて確認、返信、転送、削除などの操作が可能です。画面を左右にスワイプすると、前のメールまたは以下のメールが表示されます。複数のメールを削除するには、プロフィール画像をタップするか、1つのメールを長押しして、メールの管理画面に移動し、該当するメールを選択し、 をタップします。

メールの同期: 受信トレイ画面を下にスワイプすると、メール一覧の表示が更新されます。  > **設定** に移動し、アカウントをタップして、**メールを同期する** を有効にします。自動的に同期するには、**同期スケジュール** をタップし、同期時間を選択して設定を完了します。

メールの検索: メール一覧画面の検索バーをタップして、メールの件名や内容などのキーワードを入力します。



複数のメールアカウントの追加:  > **設定** >  に移動し、メールサービスプロバイダを選択して、ユーザー情報を入力します。



メールアカウントの切り替え: アカウント画面で  をタップし、アカウントのプロフィール画像をタップして切り替えます。


メールアカウントの設定: アカウント画面で  > **設定** に移動し、アカウントを選択して **アカウント名**、**優先アカウントにする**、または **アカウントを削除** を設定します。

VIP メール連絡先の管理

たくさんのメールの中に埋もれている重要な連絡先からのメールを見逃さないようにする方法があります。重要な連絡先をVIPリストに追加することができます。VIP連絡先からのメールは、自動的に端末のVIPメールボックスに入ります。



 **メール** を開き、 > **設定** > **VIP連絡先** に移動します。VIPリスト画面から、**追加** > **作成** または **連絡先から追加** に移動します。

VIP連絡先の追加または削除: VIPリスト画面で  または  をタップして、VIP連絡先を管理します。

VIP連絡先のメール通知の変更: メールホーム画面から、 > **設定** > **VIP通知** に移動します。

Exchange メール自動返信の設定

自動返信を有効にすると、メールに自動的に返信できます。

 **メール** を開いて  > **設定** に移動し、Exchangeアカウントを選択します。**自動返信** をタップして **自動返信** を有効にし、自動返信の時間とコンテンツを設定して、**完了** をタップします。

カレンダー

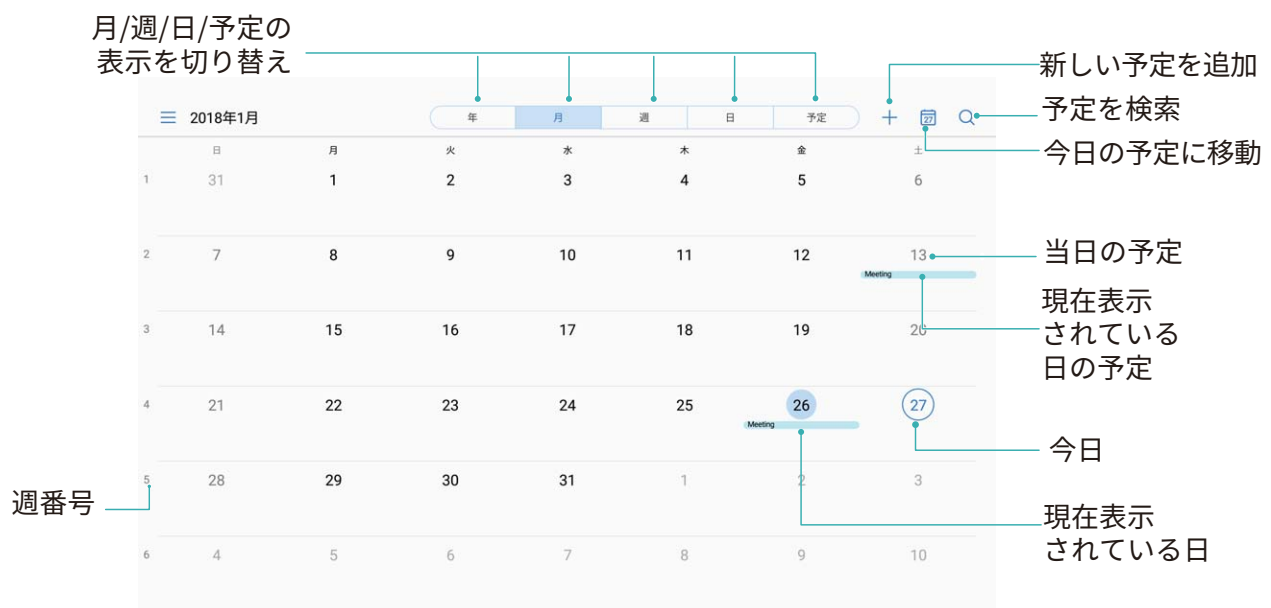
カレンダー:一元的な予定管理

カレンダーを使用すると、予定を管理でき、仕事も私生活ももっと快適にすることができます。

カレンダーには次の機能があります。

- **会議の通知**:仕事のメール(Exchangeアカウント)をカレンダーに追加して、会議の通知を確認したり、会議の開始前に 端末 から通知を受信できるようにします。
- **予定の共有**:複数の共有方法から選択できます。

カレンダーの操作






予定の作成: **31** カレンダーを開き、**+** をタップして、タイトル、場所、開始時間、終了時間などの予定情報を入力します。**詳細** > **通知** に移動し、予定の通知を追加してから、**✓** をタップします。

予定を検索: カレンダー ページで **🔍** をタップして、タイトルや場所などの予定のキーワードを入力します。

カレンダーの設定: カレンダー ページで **≡** > **設定** に移動してカレンダーの表示と通知をカスタマイズします。



To-Do をインポートしてタスクを整理する

会議の通知のインポート:  カレンダー を開いて  > アカウントの追加と編集 > アカウントを追加に移動し、画面の指示に従って仕事用のメール(Exchangeアカウント)をカレンダーに追加し、会議の通知を確認します。

予定の共有: カレンダーの予定やスケジュールの予定をタップしてから、 をタップして画面の指示に従い、複数の方法のいずれかを使用して予定を共有します。

世界の休日の表示

渡航先の国の休日情報を前もってダウンロードしておく、仕事などのスケジュールを立てやすくなります。




 カレンダー を開いて  > 設定 > 世界の休日 に移動し、渡航先の国に対応するスイッチをオンにします。その国の休日情報が自動的に端末にダウンロードされます。



時計

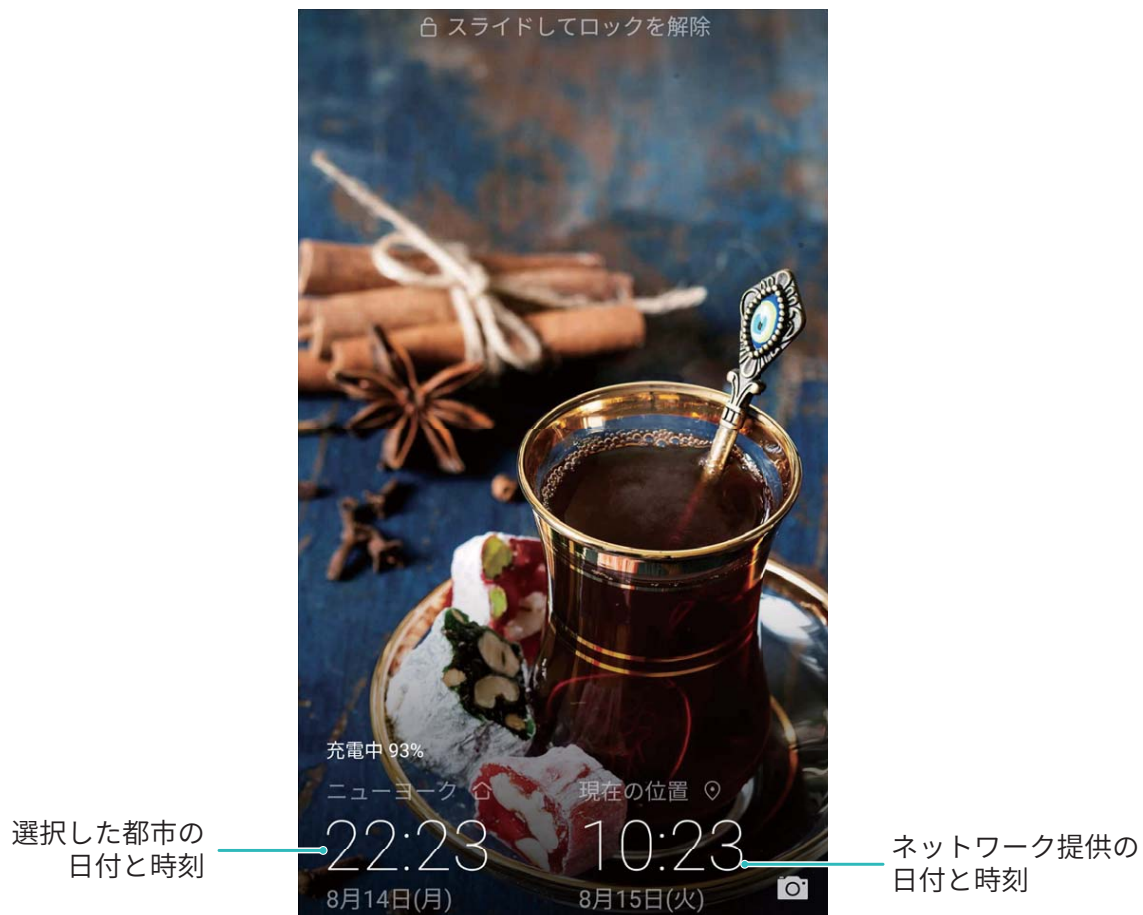
時計の使用

時計には多数の便利な機能や情報があります。時計はアラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーとして使用できます。



世界各地の時間の表示:  時計 に移動して **世界の時刻** タブにある  をタップし、都市の名前を入力するか、都市一覧から都市を選択します。  をタップして日時を設定します。

2つの地域の時間の表示:  時計 に移動してから **世界の時刻** タブの  > **日付と時刻** に移動します。 **デュアルクロック** を有効にし、**ホーム都市** をタップして都市一覧から住んでいる都市を選択します。






- 現在いる地域の時間がホーム都市と同じ場合、ロック画面には時間が1つだけ表示されます。



メモ帳

メモを管理してレコードを整理する



メモを管理して、レコードを整理します。



メモの共有:メモ帳 の一覧ページで、共有したいメモを開いてから、 をタップし、共有方法を選択して画面の指示に従います。


メモのお気に入りへの追加:メモ帳 の一覧ページで、メモを左にスワイプして  をタップします。または、お気に入りに追加したいメモを開いて、 をタップします。

メモの削除:メモ帳 の一覧ページで、メモを左にスワイプしてから  をタップします。または、メモをタップし、長押ししてオプションを表示し、削除したいメモを選択して、 をタップします。

メモの検索:メモ帳 の一覧ページにある検索バーをタップして、検索キーワードを入力します。または、ホーム画面で下にスワイプして検索バーにアクセスし、検索キーワードを入力します。

To-Doリストの生成:メモ帳 の編集ページで  をタップして、項目を入力してから、 をタップします。複数の項目を追加してTo-Doリストを生成します。

 項目をすべて入力した後、メモ帳 の編集ページに移動して、完了した項目の左側で  を選択します。

メモへのタグの追加:メモ帳 の編集ページで  をタップし、さまざまな色の付いたタグを使用して、メモをよりわかりやすく表示できるように内容を分類します。

ツール




天気予報のチェック

天気予報のチェック

ツール > 天気 に移動します。日付、天気アイコン、温度を含む明日の天気予報をタップすると、サードパーティの天気予報サイトに移動し、以後15日間の天気予報を確認できます。

音声レコーダーを使用した音声メモの作成

会議中に重要な内容をすべてメモしきれないことがあります。取材や講義でとったたくさんのメモを整理する必要に迫られることもあります。音声レコーダーを使用すると、音声ファイルに録音して後で簡単に再生することができます。

 **音声レコーダー**。  をタップして録音を開始します。録音中に、重要なポイントにタグを追加できます。  をタップして録音を終了し、音声ファイルを保存します。


録音後、以下の操作を行うことができます。

- **タグによる録音の再生:** 録音ファイル をタップしてから録音ファイルをタップすると、再生画面に切り替わります。再生画面を左にスワイプしてタグ画面に切り替えます。ここでタグを選択すると、該当するポイントから録音を再生できます。
- **録音ファイルの管理:** 録音ファイル をタップすると、録音ファイルの並べ替えや共有などのオプションにアクセスできます。

運転モード

MirrorLink: より安全かつ楽しい運転

MirrorLinkでは、端末を使用することなく、安全な操作と着信への応答が可能になります。MirrorLink対応アプリの各種コンテンツに車載ディスプレイからアクセスできるため、運転に集中することができます。また、MirrorLinkでは、端末をBluetooth車載キットとヘッドセットに同時に接続し、双方をシームレスに切り替えることができます。

 **車載ディスプレイからご利用の端末上のすべてのMirrorLink対応アプリにアクセスできます。車載ディスプレイ機器の操作方法については、各ディスプレイ機器の取扱説明書を参照してください。**

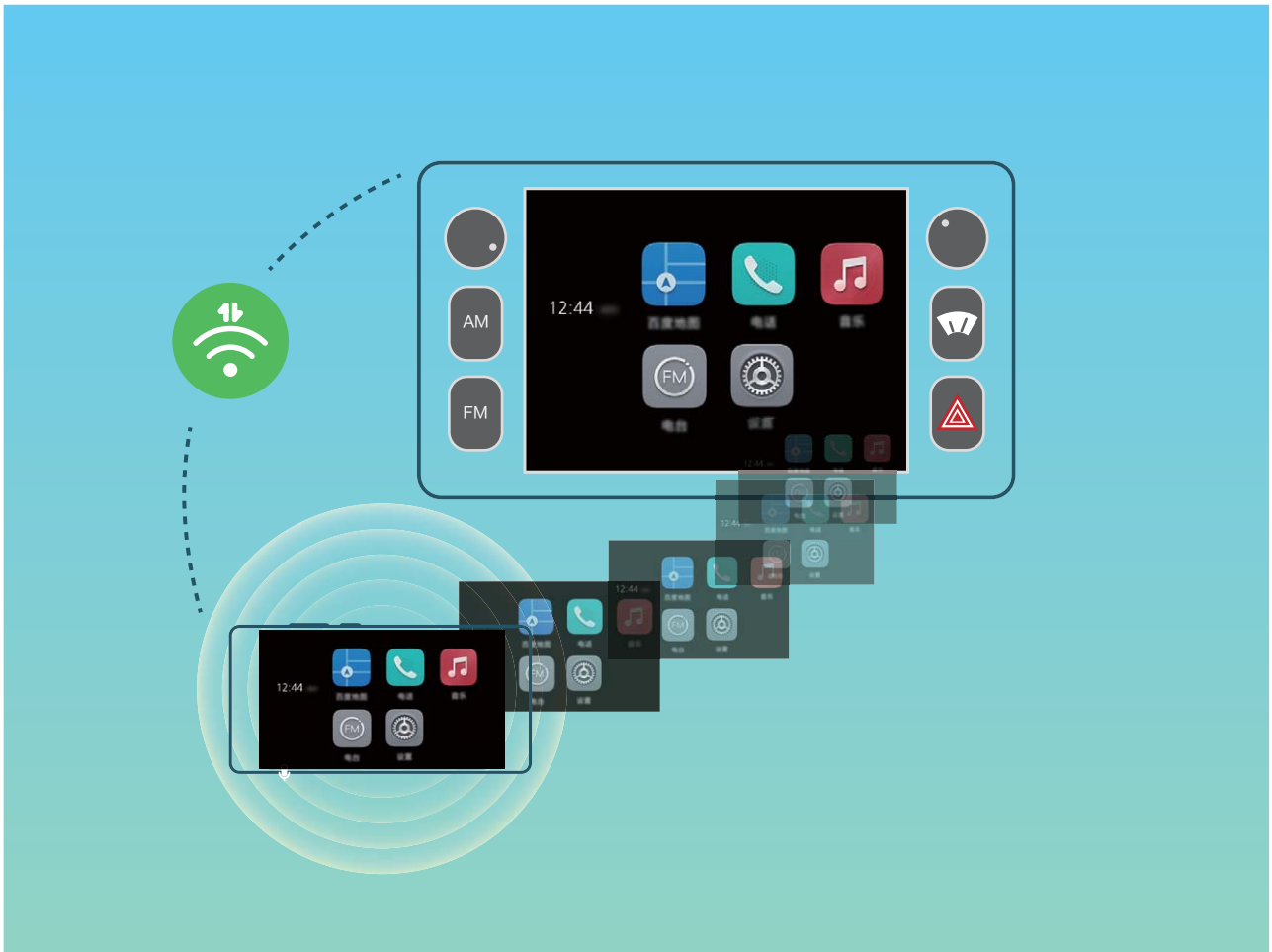
MirrorLinkについて

MirrorLinkは、ある端末から別の端末にコンテンツをミラーリングするための端末相互運用プロトコルです。たとえば、MirrorLink対応アプリから車載ディスプレイへのコンテンツのミラーリングが可能です。

MirrorLink対応のアプリでは、MirrorLinkプロトコルがあらかじめサポートされています。これらのアプリをご利用の端末上でインストールすることで、端末を車載機器に接続すると、車載ディスプレイから利用することができます。

端末内のアプリを車載ディスプレイにミラーリング

MirrorLinkでは、BluetoothまたはUSBケーブルを使用して端末を車載機器に接続できます。次に、MirrorLinkプロトコルを使用してMirrorLink対応アプリから車載ディスプレイにコンテンツをミラーリングできます。これは、端末内のMirrorLink対応アプリを車載機器から安全かつ直感的に使用できるため、運転に集中することができます(双方の接続が確立されている場合)。



端末を2台のBluetoothデバイスに接続


ご利用の端末をBluetooth車載キットとヘッドセットに同時に接続し、これらのデバイスを切り替えたり、発着信ができます。

端末を車載機器と接続してアプリを共有

MirrorLinkを使用して端末を車載機器に接続:

- 1 端末を初めて接続するときには、車載ディスプレイ機器でMirrorLink機能を有効にします。必要なMirrorLink証明書をダウンロードするために、ご利用の端末がインターネットに接続していることを確認してください。
- 2 Bluetoothを使用して端末を自動車に接続します。端末のBluetooth設定ページから **ヘルプ** > **自動車** に移動し、詳しい接続手順を確認します。
- 3 USBケーブルを使用して、端末を車載機器に接続します。**免責事項** ダイアログボックスが端末上に表示されたら、**同意する** をタップし、**利用規約** のダイアログボックスが表示されるまで待機してから、**同意する** をタップし、MirrorLinkを使用して再度車載機器に接続します。
 - i** 自動車への接続後に端末の画面に指示が表示されない場合は、ご使用の車載機器がMirrorLinkに対応していないか、または車載機器のファームウェアに問題がある可能性があります。車載機器のファームウェアを更新して、もう一度試してみてください。

4 初めて端末を車載機器と接続する場合、プロンプトが表示されるまで待ち、USBデータケーブルを取り外してから再度挿入し、手順3に進みます。これにより、ご利用の端末が車載機器に接続されます。

-  MirrorLink接続を確立したら、端末から音量を調整することはできませんが、車載機器から音量を調整できます。ご利用の端末の画面が自動的に消灯されますが、ロックはされません。

端末と自動車の接続解除: MirrorLink接続を終了するには、端末と車載機器との接続に利用しているUSBケーブルを抜きます。接続を終了すると、ご利用の端末の画面が点灯し、音量が再度調整できるようになります。

HUAWEI ID とマルチユーザー

マルチユーザー: 端末別のユーザーアカウントを作成

端末を別のユーザーに貸すときに、自分のプライベートファイルや情報にはアクセスされたくないものです。複数のユーザーを追加すると、ご利用の端末を他のユーザーに貸した場合でも情報のプライバシーを保護できます。自分の設定やファイルに影響はありません。端末へのログインに、仕事用とプライベート用など2つのユーザーアカウントを使用して、ワンタップで簡単に切り替えることもできます。


次の3つのユーザータイプを作成できます。


- **所有者**: 端末の所有者。自分の端末を使用する場合、所有者としてログインします。所有者は、ユーザーやゲストの追加や削除、ユーザーに対する通話権限やSMS送信権限の付与など、すべての処理を実行できます。
- **ユーザー**: 家族や友人はユーザーとして追加します。ユーザーはほとんどの処理を実行できますが、端末の初期化や通知の鳴動制限モードの有効化など、所有者に影響を与える処理は実行できません。
- **ゲスト**: 知り合いはゲストとして追加します。ゲストは限定的な処理しか実行できません。


複数のユーザーの設定と使用


仕事用とプライベート用に使い分けるために、端末に複数のユーザーアカウントがあると便利です。ご利用の端末に複数のユーザーを追加して、ワンタップで切り替えることができます。

ユーザーまたはゲストの追加


 最大3人のユーザーと1人のゲストを追加できます。

ユーザーの追加:  **設定** をタップし、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。ユーザーを追加をタップし、ユーザーの名前を入力し、追加をタップします。追加後、新しいユーザーに切り替えて、画面の指示に従いアカウント設定を行います。

ユーザーの追加:  **設定** をタップし、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。ゲストを追加 > 追加 をタップしてゲストを作成します。



ユーザーアカウント名およびプロフィール画像の設定: ユーザーを追加した後、ユーザーアカウント名とプロフィール画像を設定できます。これを行うには、該当するユーザーに切り替えて  をタップします。画面の指示に従ってユーザー名およびプロフィール画像を変更します。


通話、メッセージの送信、通話履歴共有の許可: 別のユーザーモードに切り替えた後でも基本的な通話機能を使用できます。追加した新しいユーザーは、通話、メッセージの送信、および端末所有者との通話履歴の共有ができます。ゲストユーザーは、通話および端末所有者との通話履歴の共有ができません。

これを行うには、所有者のアカウントでログインし、 **設定** をタップした後、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。必要なユーザーを選択し、**通話、メッセージ、通信履歴の共有を許可** をタップします。

ユーザーまたはゲストの削除



ユーザーを削除するには、次のいずれかの方法を選択します。


- 所有者アカウントでログインし、 **設定** をタップした後、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。目的のユーザーを選択し、**ユーザーを削除** > **削除** をタップします。
- 所有者アカウントでログインし、ステータスバーを下にスワイプして、 > **詳細設定** に移動します。目的のユーザーを選択し、**ユーザーを削除** > **削除** をタップします。

ゲストを削除するには、 **設定** をタップします。**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動し、**ゲスト** > **ゲストを削除** > **削除** をタップします。

所有者アカウント、ユーザー、ゲストモードの切り替え

所有者アカウント、ユーザー、ゲストモードを切り替えるには、次のいずれかの方法を選択します。

- ステータスバーを下にスワイプし、 をタップします。次に、目的のユーザーのプロフィール画像をタップします。
-  **設定** をタップし、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。次に、目的のユーザーのユーザー名またはプロフィール画像をタップします。

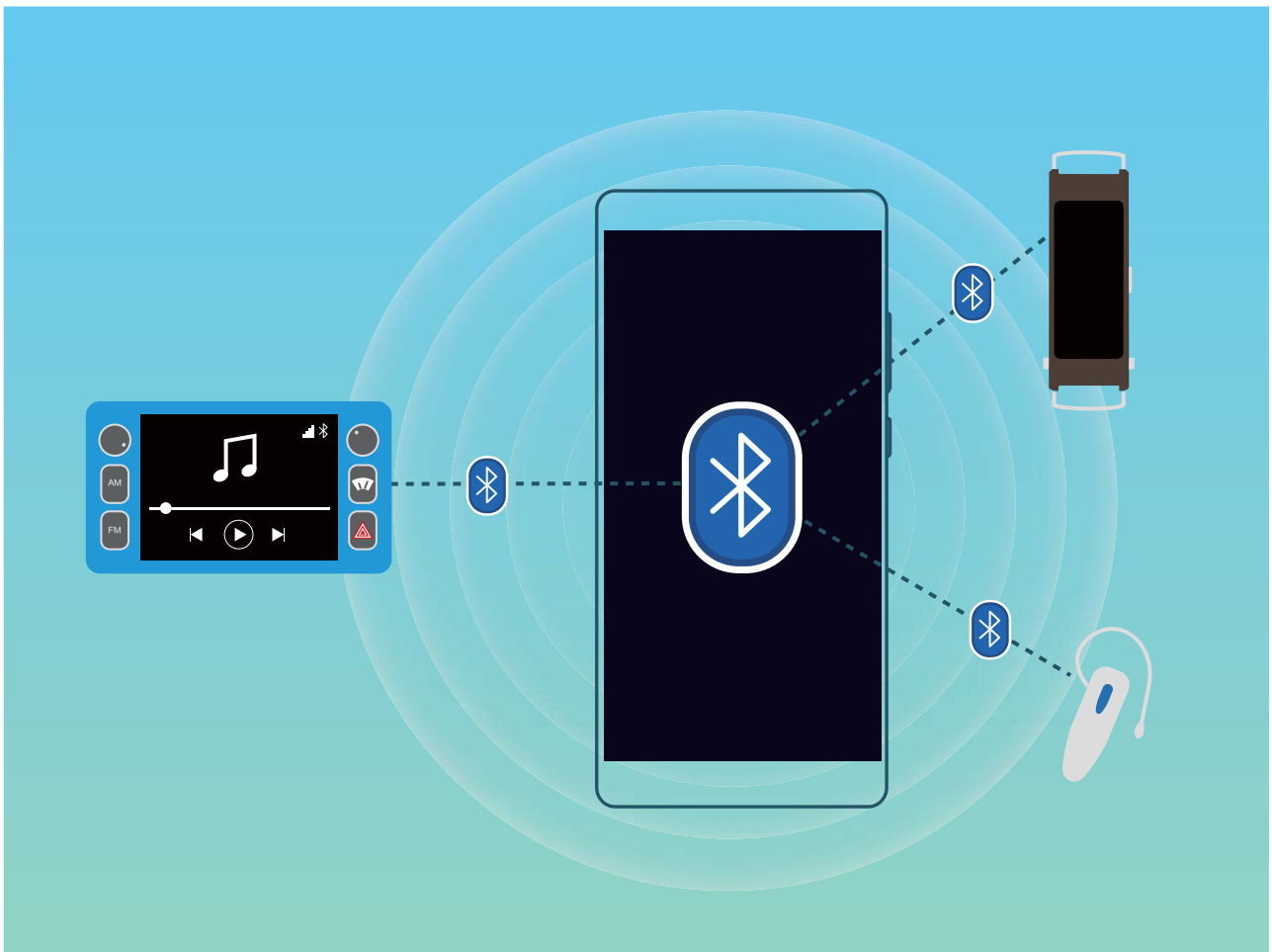
 別のユーザーから所有者に戻すときに、画面ロック解除用のパスワードの入力が求められます。

デバイス接続

Bluetooth

端末を Bluetooth 機器に接続する



Bluetoothを使用することで、端末をBluetoothヘッドセットや車内Bluetooth機器に接続して、運転中にナビを利用したり、音楽を聴いたりできます。また、端末をBluetoothウェアラブル端末に接続して、活動量データを記録/管理することもできます。Bluetooth機器を端末に接続しても、消費電力が大幅に増加することはありません。




Huaweiの端末が使用するBluetoothプロトコルとその機能:

HFP、HSP	発信
A2DP	音楽の再生
AVRCP	音楽再生のコントロール
OPP	ファイル転送
PBAP	連絡先の同期
MAP	テキストメッセージ(SMS)の同期


HID	Bluetoothキーボードとマウスの操作
PAN	テザリング
BLE	BLE (Bluetooth Low Energy) 機器への接続

Bluetoothを有効または無効にする: ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効または無効にします。  を長押しすると、Bluetooth設定画面が表示されます。

Bluetooth機器のペアリング: Bluetooth機器の設定画面で **Bluetooth** を有効にします。Bluetooth機器が他の端末から検出可能な設定になっていることを確認します。 **使用可能なデバイス** で、ペアリングする機器をタップし、画面の指示に従ってペアリングを完了します。


Bluetooth機器のペアリング解除: Bluetooth機器の設定画面で **Bluetooth** を有効にします。ペアリングされている機器の名前の横にある  をタップし、 **ペアリング解除** をタップします。


Bluetooth機器の名前の変更: Bluetooth設定画面で **Bluetooth** を有効にします。 **端末名** をタップして機器の新しい名前を入力し、 **保存** をタップします。


Bluetoothヘルプの表示: Bluetooth設定画面で  をタップすると、車載システム、ヘッドフォン、スピーカー、ウェアラブル端末、端末、タブレット、コンピュータとのBluetooth接続の方法が表示されます。


Bluetooth によるデータの共有

Bluetooth経由で端末を別の端末に接続することで、データの共有、連絡先のインポートとエクスポート、インターネットテザリングの設定が可能になります。

Bluetoothによるファイルの送信:  **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、 **その他 > 共有 > Bluetooth** に移動します。画面の指示に従ってBluetoothを有効にします。該当する端末が検出されたら (Bluetoothが有効で、その端末が他の端末から検出可能である必要があります)、端末の名前をタップすると接続が確立され、ファイルの送信が開始します。

Bluetooth経由でのファイルの受信: ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効にします。ファイル転送通知で **受信** をタップすると、ファイルの受信が開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Bluetooth** フォルダに保存されます。

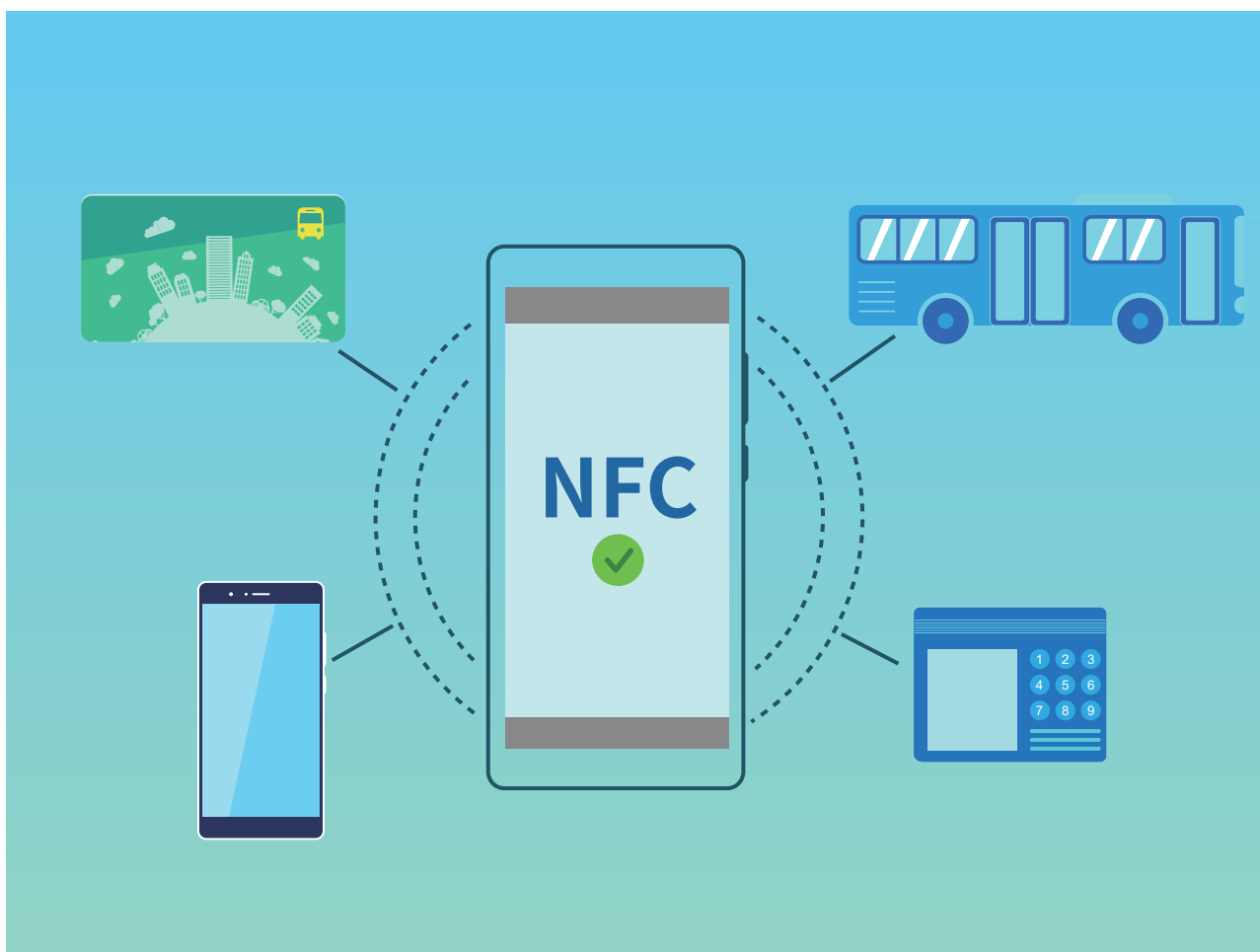
Bluetooth経由での連絡先のインポート/エクスポート:  **連絡先** を開き、  **> インポート/エクスポート** に移動して以下の操作を実行します。

- **連絡先のインポート:** **別のデバイスからインポート** をタップして、 **Bluetooth対応** を選択します。画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。該当する端末の連絡先がこの端末に自動的にインポートされます。
- **連絡先のエクスポート:** **連絡先の共有** をタップし、共有する連絡先を選択して  をタップし、 **Bluetooth** を選択します。画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。選択した連絡先が、この端末から該当する端末に自動的にエクスポートされます。

NFC

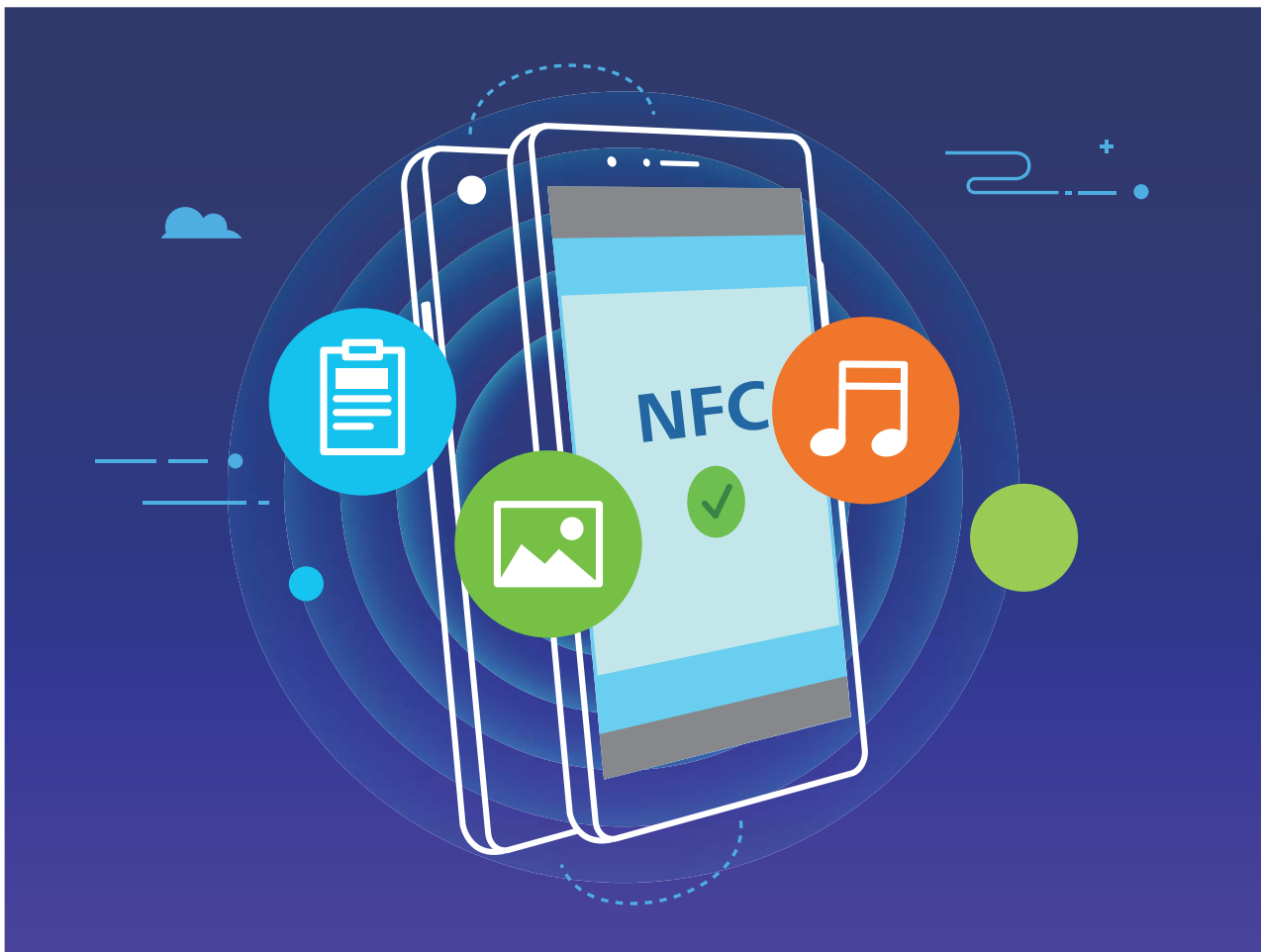
NFC: 近距離でのデータ転送


NFC(Near Field Communication)は、近距離無線通信を実現するテクノロジーです。NFCのポイントツーポイントモードでは、2台の端末間の間隔が10cm未満の場合に、リアルタイムでデータを転送できます。この方法では、写真、ネットワーク、アプリを簡単に共有できます。NFCの読み取り/書き込みモードでは、NFCタグに含まれる製品情報を確認できます。NFCカードエミュレーションモードでは、端末を銀行カードとして簡単かつ素早く決済が可能となります。




NFC を使用してデータを素早く共有

NFCでは、2台の端末間でペアリングを行わずにデータを素早く共有できます。両方の端末のNFC検出エリアを互いに近づけるだけで、NFCが有効になった端末間で、ファイルやデータを素早く転送できます。



NFCを使用したデータ送信:  **設定** を開き、**デバイス接続** をタップして、**NFC** と**Huawei Beam**を有効にします。送信するファイルを選択して、**共有** > **Huawei Beam** をタップします。端末のロックを解除して画面を表示したままにしてください。両方の端末のNFC検出エリアを互いに近づけます。接続が確立されると、送信側端末で音声が鳴り、共有画面が最小化されます。送信側の端末の画面をタップすると、ファイル送信を開始します。

NFC経由でのファイルの受信:  **設定** を開いて、**デバイス接続** をタップして、**NFC** および**Huawei Beam**を有効にします。端末のロックを解除して画面を表示したままにしてください。両方の端末のNFC検出エリアを互いに近づけます。接続が確立されると、送信側の端末で音声が鳴ります。メッセージが表示された後、ファイル転送が完了するまで待ちます。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Beam**フォルダに保存されます。

NFC を使用して端末間の接続を素早く確立する

2台の端末のNFC検出エリアを互いに近づけることで、端末間でBluetooth接続またはWi-Fi接続を素早く確立できます。また、この方法でWi-Fi Direct接続を確立したり、端末の検索やペアリング、接続情報の入力といった操作なしでWi-Fiアクセスポイントを共有したりできます。



たとえば、Bluetooth端末をペアリングするときは、両方の端末でNFC、Huawei Beam、Bluetoothを有効にします。両方の端末でBluetoothペアリング画面を表示し、端末のNFC検出エリアを互いに近づけます。送信側の端末で音声が届き、送信画面が縮小表示されたら、画面の指示に従って送信側の端末の画面をタップし、Bluetooth接続を確立します。

- ① NFC画面に **読み込み／書き込みとP2P** スイッチが表示されている場合は、これも必ずオンにしてください。機能は通信事業者によって異なる場合があります。

デスクトップモード

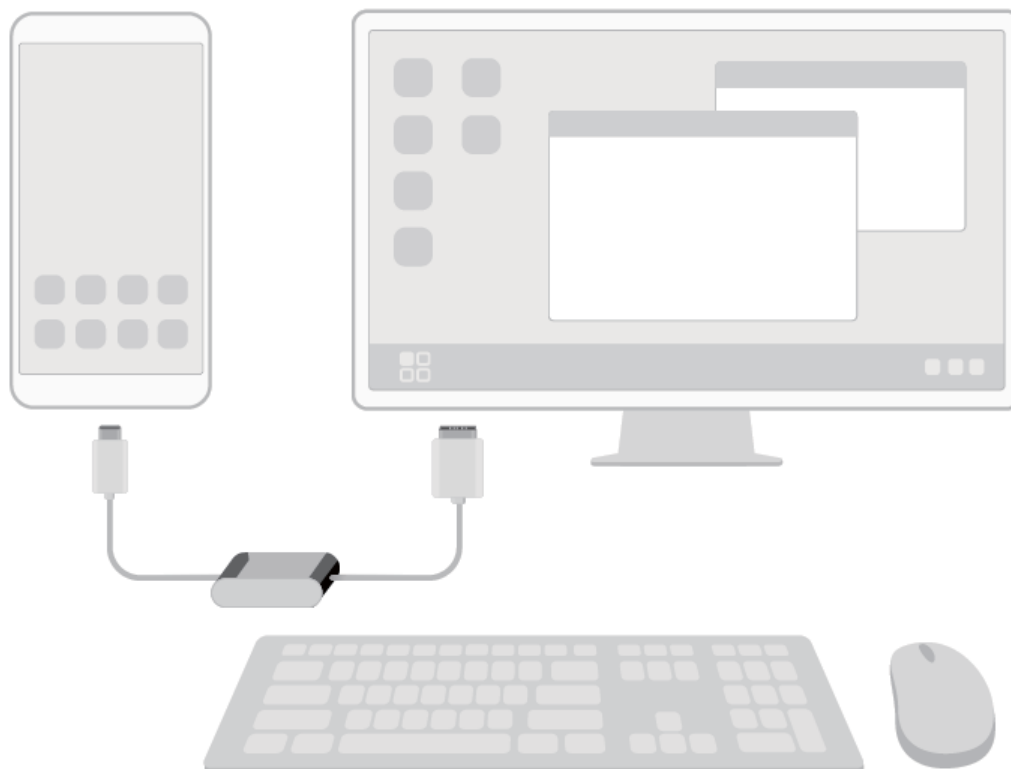
端末を外部ディスプレイに接続して PC のように操作

端末を外部ディスプレイに接続すると、PCのように操作することができます。これにより、会社と自宅間でノートPCを持ち運ぶ必要がなくなります。アダプタ(USB Type-CからHDMIアダプタケーブルなど)を使用するだけで、端末をPCモニターやプロジェクタなどのディスプレイ装置に接続できます。これにより、デスクトップのようなさまざまな機能がモバイル端末で便利に使用できるようになります。

端末を外部ディスプレイに接続しているときには、以下の機能を使用できます。

- **プライバシー保護**: 通知、着信、チャットメッセージは、端末の通知パネルでは赤いドットとして表示されますが、外部ディスプレイには表示されません。
- **デュアルディスプレイ**: 仕事関連のコンテンツを外部ディスプレイに表示しながら、端末で友人とチャットできます。

- **デスクトップのような操作性**: Androidアプリをデスクトップのように利用できます。複数のウィンドウを開いたり、ファイルの管理や端末の検索、デスクトップの壁紙の変更などが可能です。また、マウスやキーボードなどの周辺機器を接続することもできます。

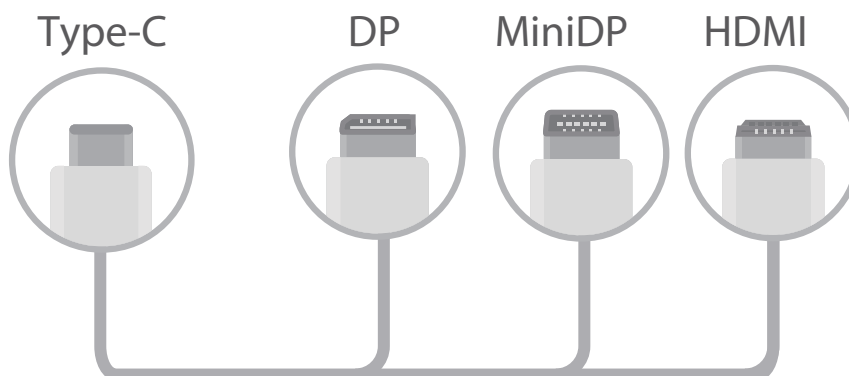


端末を外部ディスプレイに接続する

ドングル型のアダプタを使用して端末を外部ディスプレイに接続したり、ドック型のアダプタを使用して端末をディスプレイ、キーボード、マウスに同時接続できます。

- **ドングル型のアダプタ**: USB Type-C - HDMI変換アダプタを使用できます。外部ディスプレイにHDMIポートがある場合は、USB Type-C - HDMI変換アダプタを使用して端末を外部ディスプレイに接続します。
- **ドック型のアダプタ**: USB Type-C - HDMI/USB/USB変換アダプタを使用できます。外部ディスプレイにHDMIポートがあっても、マウスとキーボードも端末に接続したい場合には、USB Type-C - HDMI/USB/USB変換アダプタを使用してください。

また、USB Type-C - DisplayPort/HDMIケーブルを使用して、端末を外部ディスプレイに直接接続することもできます。



! アダプタを多数のデバイスに接続すると、正しく機能しないことがあります。

- i** ● 完全な互換性を実現するには、ご利用の端末向けのアダプタを日本市場からご購入ください。
- アダプタを介して端末が外部ディスプレイに接続されている間、アダプタを充電器につないで端末を充電することができます。充電器がHuaweiの充電仕様に適合している必要があります。出力が5V/2Aよりも小さい充電器を使用しないでください。
- Bluetoothを使用してマウスやキーボードを端末に接続することもできます。
- デスクトップ画面の表示サイズが外部ディスプレイに適合しない場合は、ディスプレイ装置の設定メニューを使用して、映像調整モードを「自動」に変更します。必要に応じてディスプレイ装置のユーザーマニュアルを参照してください。

端末を外部ディスプレイに接続した後、以下の2つの投影モードを使用できます。

- **端末**: 端末と外部ディスプレイに同じ内容が表示されます。
- **デスクトップ**: 端末と外部ディスプレイで異なる内容が表示されます。たとえば、業務用アプリを外部ディスプレイに表示し、メッセージアプリを端末に表示できます。

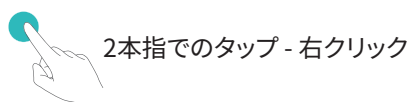
端末のステータスバーを下にドラッグするか、外部ディスプレイの通知センターを開いて、**端末とデスクトップ** を切り替えてください。

端末をタッチパッドとして使用する

端末を外部ディスプレイに接続したときにキーボードやマウスが手元がない場合は、簡単な手順で端末を仮想キーボード/ポインティングデバイスにすることができます。

ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルの **タッチパッド** をタップします。以下の方法で、この機能を使用できます。

- タッチジェスチャーを使用してマウスコマンドをエミュレートする



2本指でのタップ - 右クリック



1本指でのタップ - 左クリック



2本指でのスワイプ - ページの閲覧

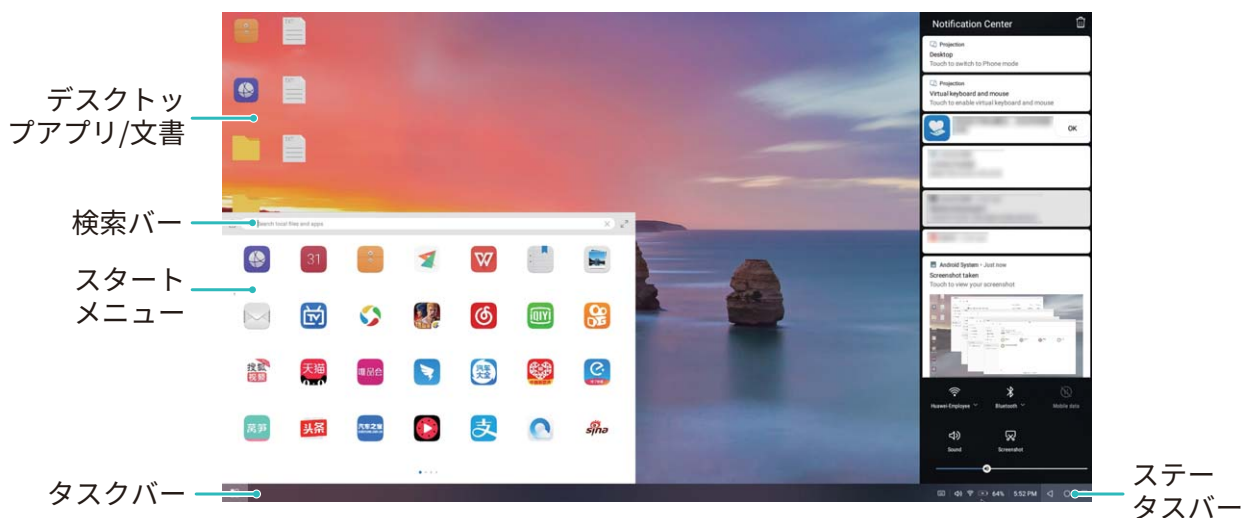


ダブルタップ - テキストを選択

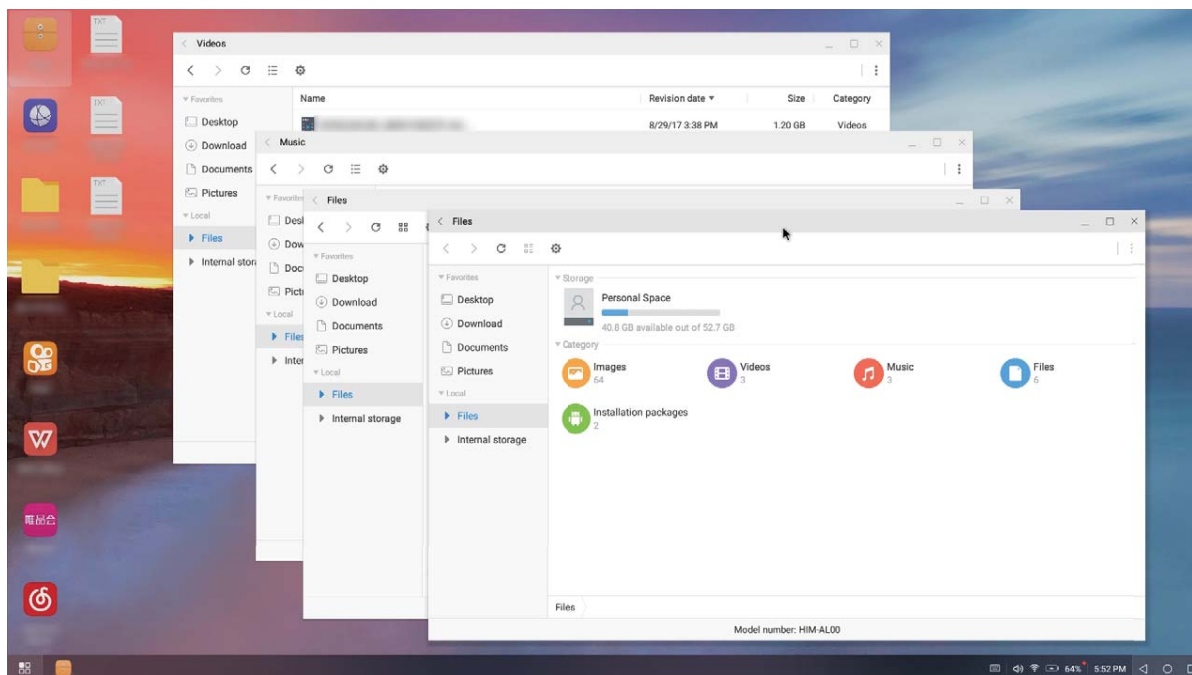
- 外部キーボードが接続されていないときに仮想キーボードを使って文字を入力する
 - 外部キーボードが接続されている場合は、仮想キーボードを使用できません。

端末の画面を外部ディスプレイに表示

デスクトップレイアウト: デスクトップレイアウトで端末の内容を表示できます。ステータスバーの電波状況アイコンをタップすると通知センターが開きます。時刻をタップするとカレンダーが開きます。または画面上のナビゲーションアイコンをナビゲーションバーと同じように使用できます。



マルチウィンドウ: 重要な作業をしているときには、マルチウィンドウを開いてドキュメントを相互に参照すると、作業効率が上がります。



ファイル管理: ファイルを手軽に管理できます。デスクトップにファイルを保存したり、新規ファイルやフォルダを作成したり、ファイル名を変更したり、ファイルを削除したりできます。

クイック検索: ファイルをすぐに見つけることができます。スタートメニューの検索バーから、ドキュメント、マルチメディアファイル、スタートメニューアプリを検索できます。

デスクトップの壁紙の変更: デスクトップ上でマウスを右クリックして、デスクトップの壁紙を変更できます。

アプリショートカットの作成: スタートメニューでアプリを長押ししてデスクトップまでドラッグすると、便利なショートカットが作成されます。

マルチスクリーン表示

マルチスクリーン: 端末のコンテンツを大画面で共有

端末とテレビ/ストリーミングボックスを同じWi-Fiネットワークに接続することで、マルチスクリーン共有を使用できます。写真をテレビに映し出して、友人や家族と楽しい思い出を共有できます。




プロトコルタイプ	接続手順	接続方法	画像共有方法
Miracast プロトコル	端末の画面に表示されている内容を、Miracast対応の別の機器(テレビ、プロジェクターなどの表示機器)にミラーリングします。	Wi-Fi経由で直接接続し、外部機器で画面共有機能(Miracastなど)をオンにします。	端末に表示される内容はすべて、外部機器の画面に共有されます。曲やビデオを再生すると、端末では画像だけが表示され、音声は再生されません。

マルチスクリーン: 画面をミラーリング

ディスプレイ機器の選択: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。📺 をタップしてマルチスクリーンを開きます。ディスプレイ機器が検出されたら、アイコン(📶)で示されている対応する接続方式のいずれかを選択します。ディスプレイ機器がこれらの接続方式に対応していない場合は、Androidセットトップボックスを購入して、ディスプレイ機器に接続できます。

📶: Miracastに対応しています。ディスプレイ機器に画面をミラーリングできます。

ディスプレイ機器に画面をミラーリングする: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。📺 をタップしてマルチスクリーンを開きます。使用するディスプレイ機器をリストから選択します。必要に応じて、ディスプレイ機器でMiracast機能を有効にします。手順については、ディスプレイ機器のマニュアルを参照してください。

画面のミラーリングを終了するには、 > **切断** をタップします。

USB デバイスの接続

端末とコンピュータ間でのデータ転送

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続し、データを転送します。

USB接続モードの選択

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続すると、常用の接続方法を選択できます。端末とコンピュータ間で写真やファイルを転送したり、コンピュータへのUSB接続によって端末を充電したりできます。

ステータスバーを下にスワイプして通知パネルを開いた後、USB使用モードをタップし、コンピュータへの端末の接続方法を選択します。

- **写真を転送**: 端末とコンピュータ間で写真を転送します。
- **ファイルを転送**: 端末とコンピュータ間でファイルを転送します。
- **充電のみ**: USBケーブルだけで端末を充電します。
- **給電**: USBタイプCケーブルで端末と別の端末を接続し、別の端末に給電します。
- **MIDI入力**: 端末をMIDI入力端末として使用し、コンピュータで音楽を再生します。

USBポートを使用したデータの転送

端末と端末をUSBケーブルで接続し、データを転送したり、その他のタスクを行うことができます。

- **ファイルの転送**: MTP(Media Transfer Protocol)は、メディアファイルを転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間でファイルを転送できます。MTPを使用する前に、コンピュータにWindows Media Player(11以降)をインストールしてください。
ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **ファイルを転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末の名前が付いたドライブを開き、端末に保存されているファイルを閲覧します。Windows Media Playerを使用して端末のマルチメディアコンテンツを閲覧することもできます。
- **画像の転送**: PTP(Picture Transfer Protocol)は、画像を転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間での画像の転送が簡単になります。
ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **写真を転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末の型番に基づく名前が付いたドライブを開き、端末に保存されている画像を閲覧します。
- **端末へのMIDIデータの転送**: MIDI(Musical Instrument Digital Interface)は、作曲家や電子楽器メーカーを対象とした業界標準のオーディオ規格です。
ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **MIDI入力** を設定します。これにより、この端末と別の端末の間でMIDIデータを転送できます。

端末とUSB 機器間でのデータ転送

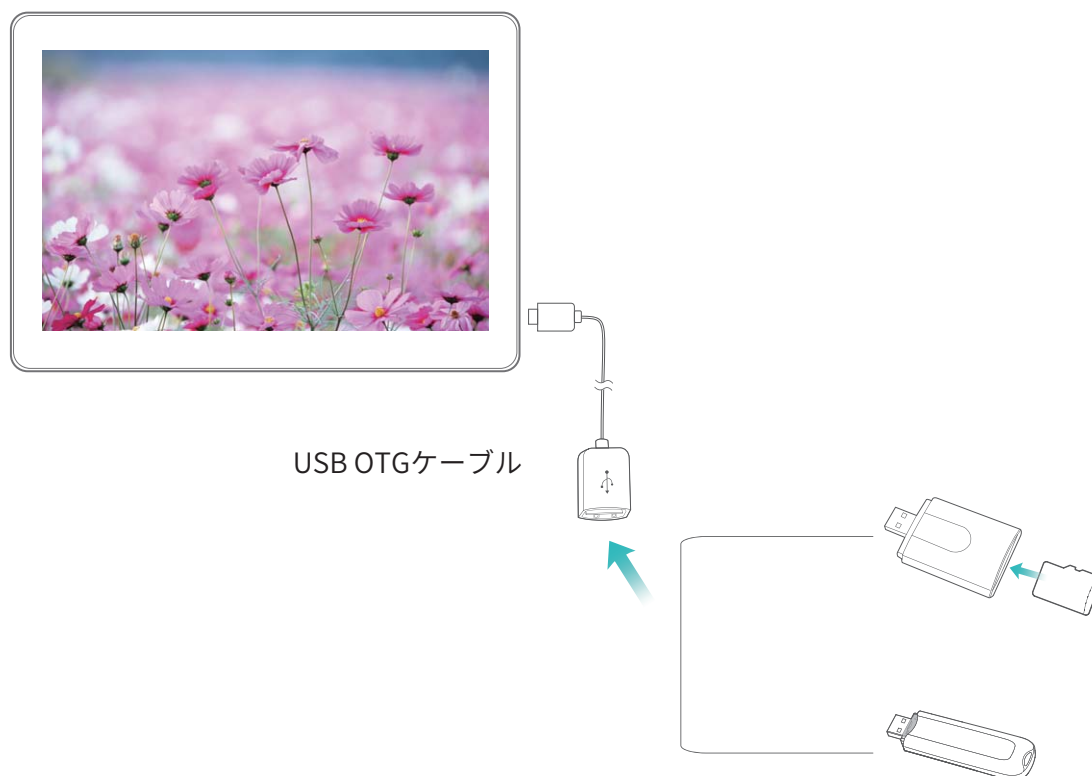
USB OTG(USB On-The-Go)では、コンピュータを使用せずに、端末とその他の機器(端末、タブレット、カメラ、プリンタなど)の間でデータを直接転送できます。また、USB OTGケーブルで端末をUSBストレージデバイスに直接接続し、ファイルを転送できます。

端末とUSBストレージデバイスとの間のデータ転送

OTGケーブルを使用することで、端末からUSBストレージデバイス(USBドライブ、カードリーダーなど)に直接アクセスできます。

- この機能は、USB OTGに対応した端末でのみ利用できます。
- 端末にUSB Type-Cポートが内蔵されている場合は、Huawei認定のMicro USB-USB Type-Cアダプタ、またはUSB Type-Cコネクタ付きUSB OTGケーブルを購入する必要があります。

1 USBドライブと端末をUSB OTGケーブルで接続します。



- 2 ファイル > 本体 > USBドライブ に移動し、USBドライブにアクセスして、コピーするデータを選択し、宛先フォルダにコピーします。
- 3 転送が完了したら、設定 > ストレージ > USBドライブ > 取り出し に移動します。
- 4 2台の機器から、USB OTGケーブルとUSBケーブルを抜きます。

Huawei Share

Huawei Share: すぐれたファイル共有方法

端末と他のモバイル端末間、または端末とコンピュータ間で素早くアプリを共有したり、写真やファイルを転送したいことはありませんか。Huawei Shareを使用すると、素早くアプリを共有し、端末、タブレット、コンピュータ間でファイルを無線で転送できます。

Huawei Shareは、以下の端末間のデータ転送に対応しています。

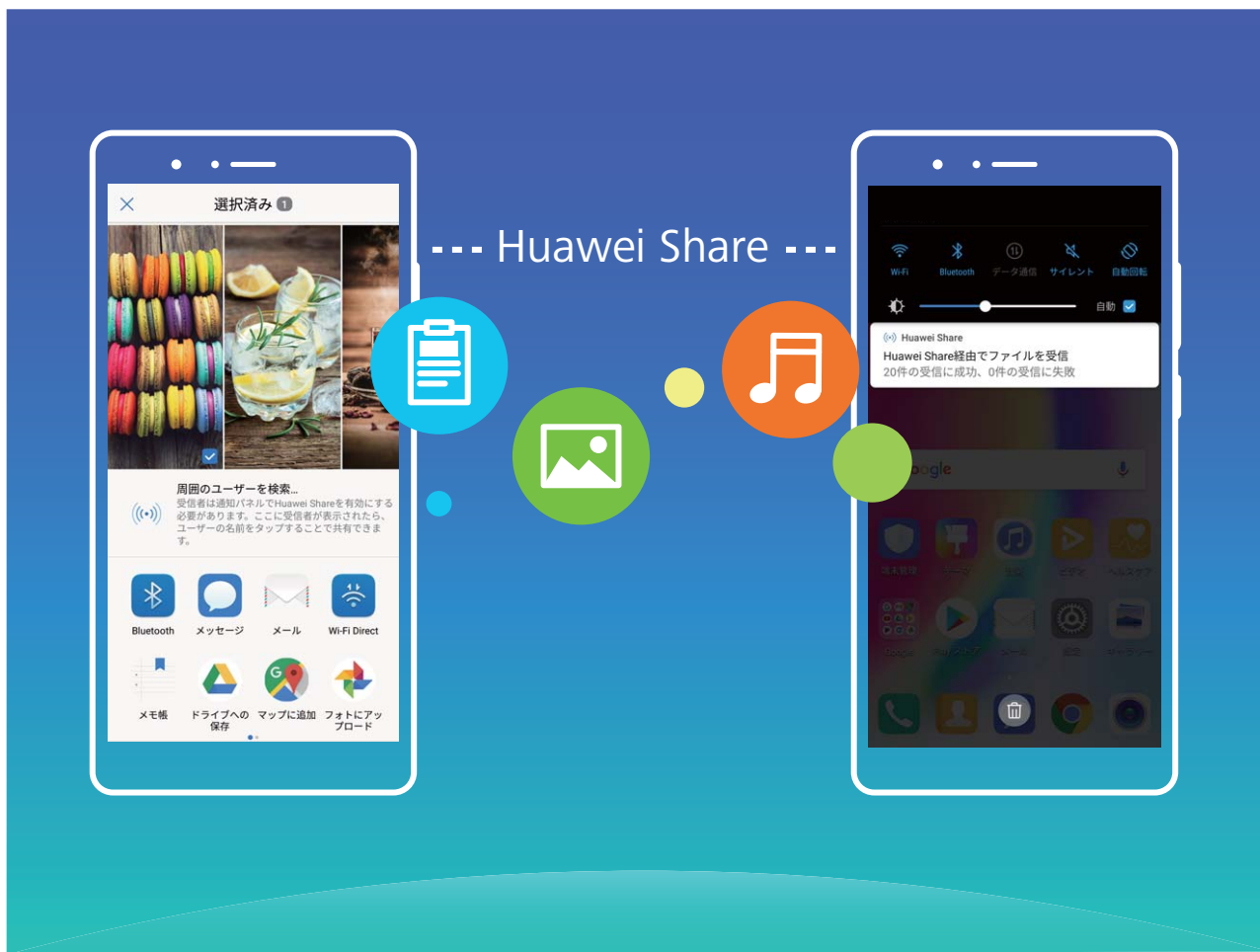
- モバイル端末とタブレット: Huawei Shareを使用すると、端末上のアプリや写真、ファイルを、他のスマートフォンやタブレットと共有できます。共有するアプリや写真、ファイルを長押しし、共有オプションからHuawei Shareを選択すると、大量のデータ通信量を消費せずに簡単に共有できます。
- 端末とコンピュータ(PCまたはMac): Huawei Shareを使用すると、端末上のアプリや写真、ファイルをコンピュータと共有することができ、コンピュータを使用して端末上の写真を編集することもできます。Huawei Shareでは、USBケーブルを使わずに端末とコンピュータ間でデータ転送ができます。
 - ① ただし、端末とコンピュータの両方が、同じネットワーク(Wi-Fiネットワークなど)に接続している必要があります。




Huawei Share を使用して Huawei 端末間でファイルを素早く共有する

Huawei Shareを使用すると、Huawei端末間で写真やビデオ、その他のファイルを素早く転送できます。Huawei Shareでは、近くにあるHuawei端末をBluetoothで検出し、モバイルデータ通信を使用せずに、Wi-Fiでファイルを素早く転送できます。

- ① Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが両方とも自動的に有効になります。



Huawei Shareを使用したファイルの送信: 他のHuawei端末に送信したいファイルを選択し、共有 をタップします。近くにある端末のリストからファイル送信先の端末を選択し、ファイルを送信します。


Huawei Shareを使用したファイルの受信: ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開き、 をタップしてHuawei Shareを有効にします。ファイル転送通知が表示されたら、受信 をタップします。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Huawei Share** フォルダに保存されます。

 2台のHuawei端末が同じHUAWEI IDを使用してログインしている場合、確認は必要ありません。


Huawei Share を使用して端末とコンピュータ間でファイルを転送する

Huawei Shareを使用すると、端末からコンピュータ(Windows/Mac)に写真やファイルを簡単に転送することができます。USBケーブルは必要ありません。

端末上のファイルをWindowsコンピュータと共有する

-  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** をタップして **Huawei Share** を有効にします。コンピュータ上に表示される名前 を記録しておきます。
- PCでネットワークフォルダを開き、コンピュータ上に表示される名前 をダブルクリックします。
- パスワードを入力します。パスワードは **デバイス接続** > **Huawei Share** > **コンピュータでの確認** で確認できます。
- アルバムまたは内部ストレージを表示します。

端末上のファイルをMacコンピュータと共有する

-  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** をタップして **Huawei Share** を有効にします。コンピュータ上に表示される名前 を記録しておきます。

- 2 MacからFinderを開き、記録しておいたコンピュータ上に表示される名前をダブルクリックします。
- 3 新しいユーザーの登録を選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。パスワードは **デバイス接続** > **Huawei Share** > **コンピュータでの確認** で確認できます。
- 4 アルバムまたは内部ストレージを表示します。

セキュリティとプライバシー

指紋

指紋認証: 素早い操作とセキュリティの向上

指紋認証を使用すると、ご利用の端末のロックを素早く解除できるだけでなく、個人情報のセキュリティも向上します。

指紋を使用すると、以下の操作を実行できます。


- **ワンタップでの画面ロック解除**: PINコードやパターンでの画面ロック解除は面倒なものです。指紋を使用すると、ワンタッチで画面のロックを素早くセキュアに解除できます。
- **プライベートファイルへのアクセス**: Safeボックスやロックしたアプリのパスワードを忘れて、知らない人に知られたりすると大変です。Safeボックスやロックしたアプリに指紋でのアクセスを設定すると、ファイルやアプリの安全性を確保し、自分だけがアクセスできるようになります。



指紋の登録

ご利用の端末に指紋を登録すると、パスワードの代わりに指紋で画面のロックを解除したり、Safeボックスやロックしたアプリにアクセスしたりすることができます。


- ⚠️ 指紋によるロック解除は、ロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ使用できます。端末を再起動した後や指紋が認識されていない場合、画面のロック解除パスワードを使用して端末のロックを解除する必要があります。
- 指紋を登録する前に、指が汚れていたり、濡れていたりしていないことを確認してください。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** に移動して、**パターン**、**PIN**、または **パスワード** を選択してから、画面の指示に従ってロック解除パスワードを設定します。
- 3 ロック解除パスワードを設定した後、**新しい指紋** をタップして指紋を登録します。
- 4 指先を指紋センサーの上に置きます。端末が振動するまで、センサーを軽く押します。指先の他の部分を使用して、この手順を繰り返します。
- 5 登録完了後、**OK** をタップします。

画面のロックを解除するには、指紋センサーの上に指先を置きます。


指紋の追加または変更

端末には最大5つの指紋を登録できます。指紋を削除したり、名前を変更したりすることもできます。


- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** に移動します。
- 3 画面のロック解除パスワードを入力して、画面の指示に従って指紋の設定画面を開きます。
- 4 **指紋リスト** セクションでは、以下の操作を実行できます。
 - **新しい指紋の登録**: **新しい指紋** をタップして新しい指紋を登録します。
 - **指紋の名前の変更または削除**: 登録済みの指紋をタップして、名前を変更または削除します。
 - **指紋の識別**: **指紋認識** をタップして、登録した指紋を確認または選択します。

指紋を使用してプライベート情報に素早くアクセス

Safeボックスのプライベート情報やロックしたアプリにアクセスするたびにパスワードを入力するのは面倒なものです。指紋を使用すると、プライベート情報へのアクセスが簡単になります。この方法は、便利で安全です。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** に移動します。
- 3 画面のロック解除パスワードを入力して、画面の指示に従って指紋の設定画面を開きます。**Safeボックスへのアクセス**、**アプリのロック設定とアクセス制御** を有効にしてから、画面の指示に従ってパスワードを入力します。

これで以下の操作を行うことができます。

- **指紋によるSafeボックスへのアクセス**:  **ファイル** を開いて **Safeボックス** をタップすると、指紋を使用してSafeボックスにアクセスできます。
- **アプリロックでロックされたアプリへの指紋によるアクセス**: 指紋を使用して、ホーム画面のロックされたアプリを開くことができます。


位置情報の保護


位置情報サービス: 端末の位置情報の決定


位置情報サービスは、端末の位置情報を利用したアプリ(天気、地図、旅行、ショッピングアプリなど)に関する情報を収集・提供します。端末のおおよその位置は、GPS測位(GPSが有効になっていて、サービスが使用可能な場合)、モバイルネットワークによる測位、Wi-Fi測位(可能な場合)によって決定されます。GPS測位が無効になっている場合、アプリは他の方法で位置情報を収集します。

位置情報サービスの有効化/無効化

位置情報に対する権限をアプリに許可すると、アプリは常に端末の位置情報を取得できるようになります。悪意のあるアプリが端末の位置情報を取得すると、損害を被ったり不正が行われたりする危険にさらされます。位置情報サービスは、必要に応じて有効/無効にすることができます。プライバシーを保護し、セキュリティを確保するために、アプリに許可されている権限を定期的に監視・管理してください。

位置情報サービスの有効化/無効化:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** に移動し、**現在地にアクセス** を有効または無効にします。位置情報サービスを有効にする際には、適切な測位モードを設定することもできます。位置情報サービスを無効にすると、プリインストールされているソフトウェア(端末探索など)を除き、端末のすべてのアプリとサービスが位置情報を収集・使用できなくなります。これらのアプリを使用しようとする、システムから位置情報サービスを有効にするよう求められます。

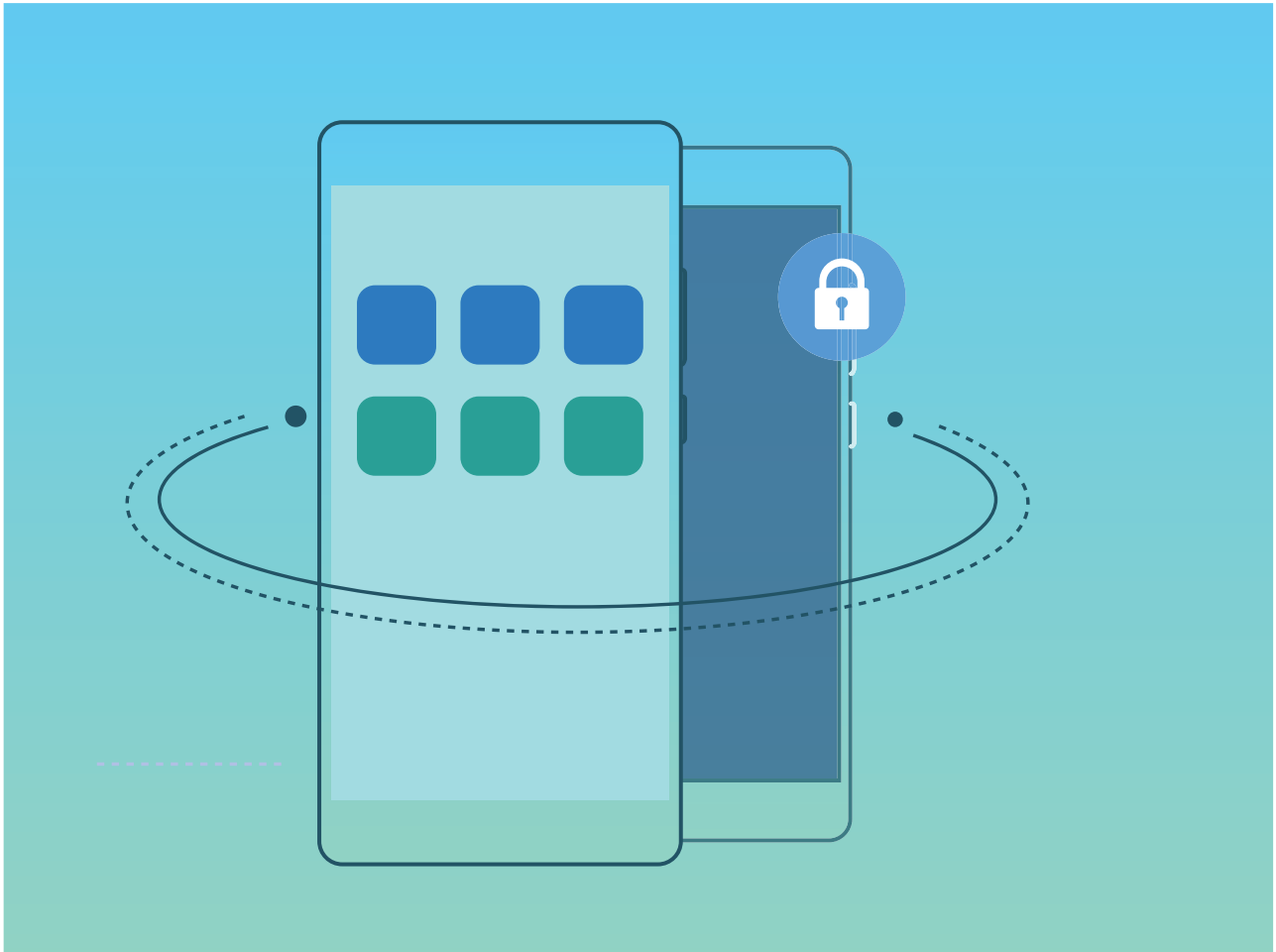
- **Wi-Fiとモバイルネットワークを利用:** 通信事業者基地局または近くのWi-Fiルーターからの位置情報を使用して、端末の位置を計算します。位置情報の精度は、基地局またはWi-Fiネットワークから収集した位置情報に大きく依存します。通常の精度は、100mの誤差から数kmの誤差にまで及びます。ネットワーク測位は精度が低いものの、屋内測位も可能であり、消費電力も少なくなります。
- **GPSのみ利用:** 端末が検出した衛星のGPS測位情報だけを使用して端末の位置を判断します。ネットワーク接続は必要ありません。衛星のGPS測位は精度が高いものの、消費電力が高くなります。精度は数十m以内の誤差です。ただし、屋内測位に関しては正確ではない場合があります。
- **GPS、Wi-Fi、モバイルネットワークを利用:** GPS測位とネットワーク測位の双方の利点を組み合わせ、正確な屋内および屋外の測位を行います。
-  ● 機能は通信事業者によって異なる場合があります。
 - Huaweiは、個人情報をもとに収集するためではなく、ユーザーに必要な機能とサービスを提供する目的でのみ位置情報データを使用します。

屋内測位の支援機能の設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** > **スキャン設定** に移動し、Wi-FiおよびBluetoothのスキャンを有効または無効にします。Wi-FiネットワークとBluetooth端末のスキャンによって、屋内測位の精度が向上します。

PrivateSpace

PrivateSpace: 個人情報の保護

PrivateSpaceは、端末に独立したスペースを作成し、個人情報を保存できる機能です。PrivateSpaceに保存されているファイルとアプリにはMainSpaceからアクセスできません。



PrivateSpaceには次の機能があります。


- **PrivateSpaceを非表示にする**: PrivateSpaceのすべてのデータを他のユーザーから見えなくしたい場合があります。MainSpaceでPrivateSpaceを非表示にしてPrivateSpaceを保護することができます。
- **MainSpaceとPrivateSpaceを素早く切り替える**: ロック画面では、指紋やパスワードを使用して素早くMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。MainSpaceとPrivateSpaceを切り替えるときは、Wi-FiネットワークとBluetoothデバイスは接続されたままになります。
- **MainSpaceとPrivateSpaceの間でファイルおよび連絡先を送信する**: MainSpaceとPrivateSpaceの間で写真やビデオなどのファイルの送信や連絡先の移動を簡単に実行できます。
- **PrivateSpaceのパスワードをリセットする**: PrivateSpaceのパスワードを忘れた場合は、MainSpaceのパスワードを入力し、セキュリティ質問に回答してリセットできます。
- **PrivateSpaceのデータをバックアップする**: PrivateSpaceでSpace Cloneメニューを使用すると、PrivateSpaceを別の端末にコピーできます。

- ① パスワードや指紋を使用してロック画面からPrivateSpaceに直接切り替える場合、PrivateSpaceのパスワードは別のコンテンツを含むMainSpaceのパスワードと同じ種類である必要があります。同じ種類でない場合、ロック画面からPrivateSpaceにアクセスできません。

PrivateSpaceの有効化


端末で写真などを見せているときに、個人情報友人や同僚に見られることが心配になる場合がありますか。PrivateSpaceを使用すると、指紋やパスワードでしかアクセスできない、端末内の保護されたスペースに個人情報を格納することができます。

- ① 最大3人のユーザーを、端末とPrivateSpaceのユーザーに追加できませんか。設定 > ユーザーとアカウント > ユーザー > ユーザーを追加に3人のユーザーをすでに追加している場合、PrivateSpaceにユーザーを追加することはできません。

PrivateSpaceの有効化: 初めてPrivateSpaceを使用する場合は、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **有効** に移動し、画面の指示に従ってPrivateSpaceを作成します。




- ① 1ユーザーにつき、1つのPrivateSpaceのみ作成できます。

MainSpaceとPrivateSpaceを素早く切り替える: ロック画面では、指紋やパスワードを使用して素早くMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。端末の再起動後、まず自分のパスワードを使ってMainSpaceにログインする必要があります。これにより、ロック画面からMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。

PrivateSpaceへの移動: 指紋やパスワードを使用して、ロック画面から直接PrivateSpaceに入ることができます。MainSpaceで  **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **ログイン** からPrivateSpaceに移動することもできます。


PrivateSpaceの終了: PrivateSpaceを終了すると、PrivateSpaceが使用するすべてのシステムメモリが解放されます。必要に応じていつでもPrivateSpaceに切り替えることができます。PrivateSpaceを終了するには、 **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **PrivateSpaceを終了** に移動します。

PrivateSpaceの削除: PrivateSpaceを削除すると、PrivateSpace内に格納されているすべてのアプリとデータが完全に削除され、このデータを復元できなくなります。PrivateSpaceは以下の方法で削除できます。

- MainSpaceから  **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** に移動し、 をタップします。
- PrivateSpaceから  **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **PrivateSpaceを削除** に移動します。


PrivateSpaceを非表示にする

PrivateSpaceのすべての履歴を他の人から見えなくしたい場合、MainSpaceで、PrivateSpaceメニューを隠して、PrivateSpaceの存在を隠しておくことができます。

PrivateSpaceに入り、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** から **PrivateSpace** を隠す を有効にします。PrivateSpaceメニューを非表示にすると、ロック画面で自分の指紋やパスワードを使うことでしかPrivateSpaceを利用できなくなります。

PrivateSpace と MainSpace の間でのファイル転送





プライベートの写真、音楽、ビデオを自分のPrivateSpaceに、またはPrivateSpaceからMainSpaceに素早く転送することができます。

- 1 PrivateSpaceに入り、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** に移動します。
- 2 MainSpaceからPrivateSpace または PrivateSpaceからMainSpace をタップします。
- 3 画面の指示に従ってファイルを選択し、移動したい場所に転送します。
 -  ご利用の端末またはmicroSDカードに保存されているファイルは、MainSpaceからPrivateSpaceに転送できますが、PrivateSpaceからMainSpaceに転送できるのは端末本体に保存されているファイルだけです。これは、microSDカードがPrivateSpaceでブロックされているためです。クラウドに保存されているファイルは、PrivateSpaceとMainSpaceの間で転送することはできません。一部の端末では、microSDカードがサポートされていません。

デフォルトでは、転送された画像ファイルは **ギャラリー** > **Shared images** に、ビデオファイルは **ギャラリー** > **Shared videos** に、オーディオファイルは **ファイル** > **音楽** に保存されます。


新しい端末への PrivateSpace データの移行

PrivateSpaceをコピーすることで、個人的なファイルを別の端末にすばやく移行できます。


-  ● データを移行する前に、新しい端末に十分な空き容量が残っているか確認してください。
 - 別の端末に移行できるデータは、連絡先、メッセージ、着信履歴、写真、音声ファイル、ビデオ、ドキュメントです。
- 1 新しい端末のPrivateSpaceに入り、 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **Space Clone** > **この端末は新しい端末です** に移動してQRコードを生成します。
 - 2 古い端末のPrivateSpaceに入り、 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **Space Clone** > **この端末は古い端末です** に移動します。画面上の指示に従って新しい端末に表示されているQRコードをスキャンします。または、古い端末を新しい端末のWi-Fiアクセスポイントに手動で接続します。接続を確立したら、該当するデータを選択し、古い端末から新しい端末にデータを移行します。
-  ● 移行処理中はいつでもファイルの移行を取り消すことができ、接続を再確立すると、処理が続きから実行されます。



PrivateSpace のパスワードのリセット



セキュリティ質問を設定して、PrivateSpaceパスワードを忘れたときにセキュリティ質問に回答し、PrivateSpaceのパスワードをすばやくリセットすることができます。

セキュリティ質問機能の有効化: PrivateSpaceに入り、 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** に移動します。**パスワード保護** をタップし、画面上の指示に従ってMainSpaceおよびPrivateSpaceのパスワードを入力します。セキュリティ質問の設定画面に入ります。

セキュリティ質問の設定: セキュリティ質問をタップし、事前に設定されたセキュリティ質問のいずれかを選択するか、自分で独自に質問を作成します。セキュリティ質問の回答を入力し、完了をタップしてセキュリティ質問機能を有効にします。


 セキュリティ質問機能を有効にした後に、セキュリティ質問とその回答を変更することもできます。


PrivateSpaceのパスワードの変更: MainSpaceに入り、 **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** へ移動します。  > **パスワードのリセット** をタップします。画面上の指示に従ってMainSpaceのパスワードとセキュリティ質問の回答を入力し、PrivateSpaceのパスワードを設定します。


 • PrivateSpaceが非表示で、PrivateSpaceのリセット画面に入ることができない場合は、MainSpaceに入り、 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **その他** > **すべての設定を表示** に移動して **OK** をタップし、PrivateSpaceを表示します。

アプリロックを使用して重要なアプリをロック

アプリロック機能では、メッセージ、facebook、その他の重要なアプリに対してパスワードを設定することができます。端末を再起動または端末の画面ロックを解除し、アプリを最初に開く場合にアプリロック解除用のパスワードの入力が求められます。アプリロックによって、プライベート情報をより強固に保護し、端末上の重要なアプリへの不正なアクセスを防止できます。

アプリロックの有効化:  **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **アプリのロック** に移動し、画面上の説明に従ってパスワードを設定し、保護するアプリに対してアプリロックを有効にします。ロックされたアプリを初めて開く場合、画面上の説明に従ってパスワードと秘密の質問への回答を入力します。

 端末のロック解除用の指紋を設定し、初めてアプリロックパスワードを設定する場合、画面上の説明に従って指紋を関連付けることでより簡単にアプリのロックを解除できます。

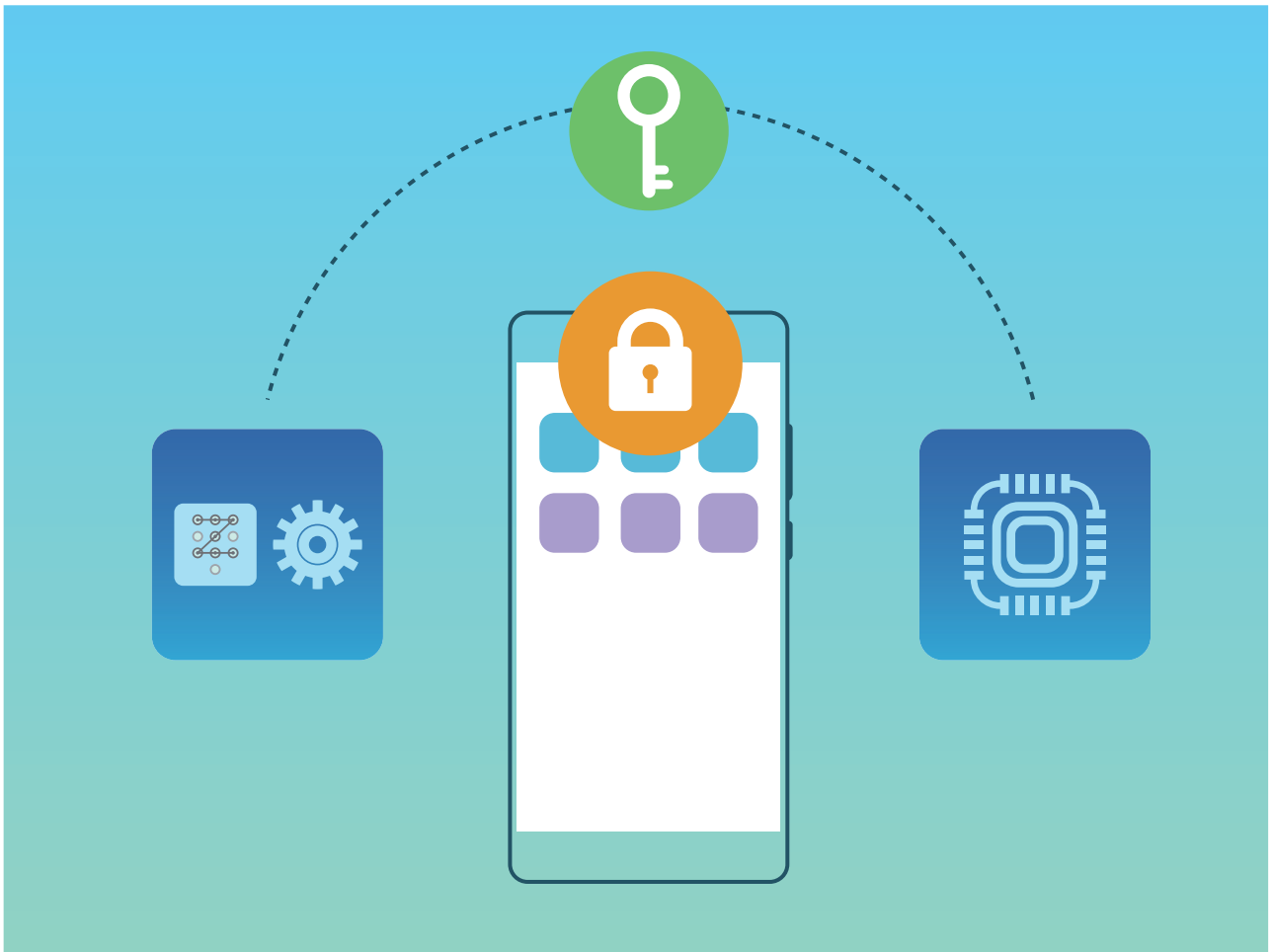
アプリロックパスワードの変更: アプリロック画面で  をタップし、**パスワードを変更** または **パスワード保護を変更** をタップすることでアプリロックパスワードを変更できます。

高度なデータ保護: プライバシーの保護

端末を紛失したり、端末の盗難に遭った場合、写真、銀行の口座情報、他のプライベートデータが流出する可能性があります。Huaweiの端末は、セキュリティチップに加えて、信頼できるルートキーやロック画面のパスワードの組合せによる保護機能を備えています。データがmicroSDカードに格納されているか、内部ストレージに格納されているかに関係なく、高いレベルの保護が提供されます。

より強力な暗号化および予防手段: Huaweiの端末では、データが端末から切り離されたときに、データの復号化に使用できないハードウェアキーを使用しています。信頼できるルートキーに基づいて、暗号化されたコンポーネントがメモリ制御チップに組み込まれ、ハードウェアのデータ保護機能を強化しています。これは、プライベートデータを保護するためのロック画面のパスワードと連動して機能します。

PrivateSpace、マルチユーザー、暗号化されたmicroSDファイル、他の機能を使用して写真、個人情報、他の個人データを暗号化する場合、データを復号化する唯一の方法は、信頼できるルートキー、ロック画面のパスワード、セキュリティチップを同時に解除することです。一部の端末では、microSDカードがサポートされていません。



バックアップと復元

データのバックアップ: データの消失を防ぐ

端末上の重要な個人データが誤って削除または消失することを心配したことはありませんか？そのような場合に備え、データを定期的にバックアップしてデータの消失を防ぐことができます。

端末のデータをバックアップするには以下の4つの方法があります。

- **microSDカード**: 端末でmicroSDカードがサポートされている場合、データをmicroSDカードにいつでもバックアップできます。これは、データの消失を回避するために便利な方法となります。
- **端末の内部ストレージ**: 端末の内部ストレージには、より小さいファイルをバックアップできます。
- **USBストレージデバイス**: 端末の内部ストレージの空き容量が不足している場合、USB OTGケーブルを使用して端末をUSBストレージデバイスに接続してデータをバックアップできます。
- **コンピュータへのバックアップ**: データの消失を防ぎ、端末の内部ストレージの空き容量を確保するために、端末の重要なデータ、写真、大容量のファイルをコンピュータにバックアップできます。

バックアップ方法の選択

端末のデータをバックアップしておくことで、端末を紛失したり破損した場合や、交換が必要な場合、また、初期化する場合に、作成したバックアップを使用してデータを復元できます。データは安全かつ完全に保存、復元され、処理中はプライバシーが保護されます。

データをバックアップする前に、Huaweiの各種バックアップ方法を理解し、最適なものを選択することをお勧めします。

以下のバックアップ方法を利用できます。

- **HiSuite** を使用したコンピュータへのデータのバックアップ
- **内部ストレージへのデータのバックアップ**
- **USBストレージデバイスへのデータのバックアップ**

内部ストレージとUSBへのバックアップ


画像、音声、ビデオ、ドキュメントなどのデータを内部ストレージまたはUSBストレージデバイスのどちらかにバックアップするか選択できます。

- **内部ストレージ**: サイズが小さいファイルは端末の内部ストレージにバックアップできます。
- **USBストレージデバイス**: 端末の内部ストレージの空き容量が少なくなっている場合は、USB OTGケーブルを使用してUSBストレージデバイスに接続して、データをバックアップします。

Huawei Backup

Huawei Backupには次の機能があります。

- Huawei端末上の連絡先、SMSメッセージ、着信履歴、システム設定、時計、ブラウザのブックマーク、カレンダー、天気、写真、ビデオ、録音、その他のアプリデータなどすべてのデータをバックアップできます。
- バックアップ暗号化処理により、データのセキュリティが確保されます。

- 複数のバックアップ方法に対応しており、データは、Huawei Cloud、端末の内部ストレージ、USBストレージデバイス、または HiSuite を使用してコンピュータにバックアップできます。
-  Huawei Backupは、Android 4.0以上を搭載したHuawei端末で利用可能です。

データのバックアップ: HiSuite を使用したデータのバックアップ



HiSuite のバックアップ機能を使用して、端末上の連絡先、SMSメッセージ、画像、その他の重要なファイルなど、端末の重要な情報をすべてバックアップし、外部のコンピュータに保存できます。コンピュータから元の端末にデータを簡単に復元したり、他のHuawei端末にデータを復元したりすることができます。

HiSuite では以下の機能を利用できます。

- コンピュータにすべてのデータをバックアップできます。
- データに必要な空き容量は、コンピュータの空き容量によって異なります。
- 暗号化されたバックアップにも対応しています(デフォルトでは暗号化されていません)。

端末の内部ストレージへのデータのバックアップ


端末のデータを内部ストレージにバックアップすることでデータの消失を回避することができます。内部ストレージには、連絡先、SMSメッセージ、着信履歴、カレンダーなど、比較的小さいファイルのみバックアップすることをお勧めします。

- 1  **バックアップ** を開き、**バックアップ** を選択します。
 - 2 データバックアップ先の **内部ストレージ** を選択し、**次へ** をタップします。次に、右上にある **全て選択** をタップしてすべてのデータをバックアップするか、バックアップ対象の個々のデータファイルを選択します。選択後、バックアップに必要な容量が自動的に計算されます。
 - 3 バックアップするデータを選択し、**バックアップ** をタップします。
 - 4 **パスワードの設定** 画面で、画面の指示に従ってデータセキュリティ用のパスワードを設定します。**スキップ** を選択してパスワードの設定をスキップすると、Wi-Fiおよび財務アプリのデータはバックアップされません。
-  Huawei Backup フォルダ内のバックアップファイルは **ファイル > 本体 > 内部ストレージ** から確認できます。



USB ストレージデバイスへのデータのバックアップ

端末の空き容量がない場合や、重要なデータを外部ストレージデバイスにバックアップしたい場合、USB OTGケーブルを使用して端末をUSBストレージデバイスに接続してデータをバックアップできます。端末と互換性のあるUSBストレージデバイスには、USBフラッシュドライブ、カードリーダー、microSDカードが挿入されている端末などがあります。

- 1  **バックアップ** を開いて、**バックアップ** を選択します。
- 2 データバックアップ先の **USBストレージ** を選択し、**次へ** をタップします。
- 3 バックアップするデータを選択し、**バックアップ** をタップします。次に、右上にある **全て選択** をタップしてすべてのデータをバックアップするか、バックアップ対象の個々のデータファイルを選択します。選択後、バックアップに必要な容量が自動的に計算されます。
- 4 **パスワードの設定** 画面で、画面の指示に従ってデータセキュリティ用のパスワードを設定します。**スキップ** を選択してパスワードの設定をスキップすると、Wi-Fiおよび財務アプリのデータはバックアップされません。


 Huawei¥Backup フォルダ内のバックアップファイルは **ファイル** > **本体** から確認できます。




端末のリセット

キャッシュや未処理ファイルが長期間にわたって蓄積すると、端末の処理速度が遅くなることがあります。そんなときは、端末をリセットすることで、キャッシュされたファイルをすべて消去し、端末の元の構成/設定に戻すことができます。

ネットワーク設定のリセット: Wi-Fi、モバイルデータネットワーク、Bluetoothの設定（アクセスポイント接続やBluetoothペアリング情報を含む）を元に戻すことができます。端末の他の設定は変更されず、データやファイルも削除されません。

最初に  **設定** を開き、**システム > リセット > ネットワーク設定のリセット** に移動して **ネットワーク設定のリセット** をタップし、画面の指示に従って設定をリセットします。

すべての設定を元に戻す: 端末の初期ネットワーク設定と指紋およびロック画面のパスワードを元に戻すことができます。端末探索やHUAWEI IDの設定はリセットされず、データやファイルも削除されません。

最初に  **設定** を開き、**システム > リセット > 全ての設定をリセット** に移動して **全ての設定をリセット** をタップし、画面の指示に従って設定をリセットします。これにより全ての設定がリセットされます。ただし、データまたは文書は削除されません。以下の設定がリセットされます。

- すべてのネットワーク設定
- 指紋
- 顔データ


- ロック画面のパスワード

初期化する: アカウント設定、システム設定、アプリデータ、インストールされているアプリ、曲、ドキュメント、画像など、端末のメモリとストレージに保存されているすべてのデータを削除し、端末を初期化することができます。端末を初期化する前にデータをバックアップしてください。

システム > リセット > データの初期化 に移動し、画面の指示に従って初期化します。

バックアップデータの復元



バックアップを正確に行うことで、端末の内部ストレージまたはUSBストレージデバイスからバックアップデータを復元することができます。

- 1  **バックアップ** を開き、**復元** を選択します。
- 2 復元するバックアップデータが保存されている場所を選択し、**次へ** をタップします。
 - a コンピュータからのデータの復元: 端末がコンピュータに接続されていることを確認し、HiSuiteを使用してデータを端末に復元します。
 - b 内部ストレージからのデータの復元: この方法は、バックアップデータが端末の内部ストレージに保存されている場合に使用します。
 - c USBストレージデバイスからのデータの復元: 端末がUSBストレージデバイスに接続されていることを確認します。
- 3 復元するデータを選択して、**復元** をタップします。**全て選択** をタップしてすべてのデータを復元するか、個々のデータファイルを選択して復元できます。



端末のバックアップデータの検索

端末のデータを内部ストレージまたはUSBストレージデバイスにバックアップした場合は、バックアップファイルを **バックアップ管理** で表示したり削除したりすることができます。

- 1 最初に、 **バックアップ** を開きます。
- 2 次に、画面の上にある  アイコンをタップしてから、**バックアップ管理** をタップします。
- 3 バックアップストレージメディアを選択し、**次へ** をタップしてバックアップファイルの場所を特定します。
- 4 ストレージメディアに保存されているバックアップデータまたはすべてのファイルを削除するには、**削除** をタップします。また、メディアファイルを **マルチメディアバックアップ** から削除する必要があります。



Wi-Fi とネットワーク




Wi-Fi

Wi-Fi+: スマートな接続アシスタント

Wi-Fi+はWi-Fiネットワークにインテリジェントに接続し、モバイルデータ通信量を節約します。端末は、既知のWi-Fiネットワークまたは無料Wi-Fiネットワークを検出すると、自動的にWi-Fiをオンにしてそのネットワークに接続します。また、端末はエリア内で最適なインターネット接続をするために、最適なネットワークを自動的に選択します。



Wi-Fi+を有効にすると、端末で次の操作が実行できます。

- **最適なネットワークを自動的に選択して接続する:** 端末は、現在地の電波の強さに基づいて、以前に接続したことがあるWi-Fiネットワーク、無料ネットワーク、またはご利用のモバイルデータ通信ネットワークから自動的に選択して接続します。
-  ステータスバーのアイコンを見ると、モバイルデータ通信またはWi-Fiのどちらを使用しているかを確認できます。
-  アイコンは、ご利用の端末がWi-Fiでインターネットに接続されていることを示します。
- アンテナの左下の  アイコンは、ご利用の端末がモバイルデータ通信でインターネットに接続されていることを示します。


- **Wi-Fiの自動オン/オフ:** 以前に接続したことがあるWi-Fiネットワークに基づいて、特定の場所でWi-Fiが自動的にオン/オフになります。これにより、端末が新しいネットワークを検索する必要がなくなります。
- **利用可能なネットワークの品質の評価:** 現在利用可能なネットワークアクセスポイントを評価し、インターネットに接続できないネットワークに端末が自動接続することを防ぎます。

Wi-Fi への接続


Wi-Fiネットワークに接続すると、モバイルデータ通信量を節約できます。

- ① **個人のデータや金融情報へ許可なくアクセスされることを防止するため、公衆Wi-Fiネットワークに接続するときには常に注意してください。**



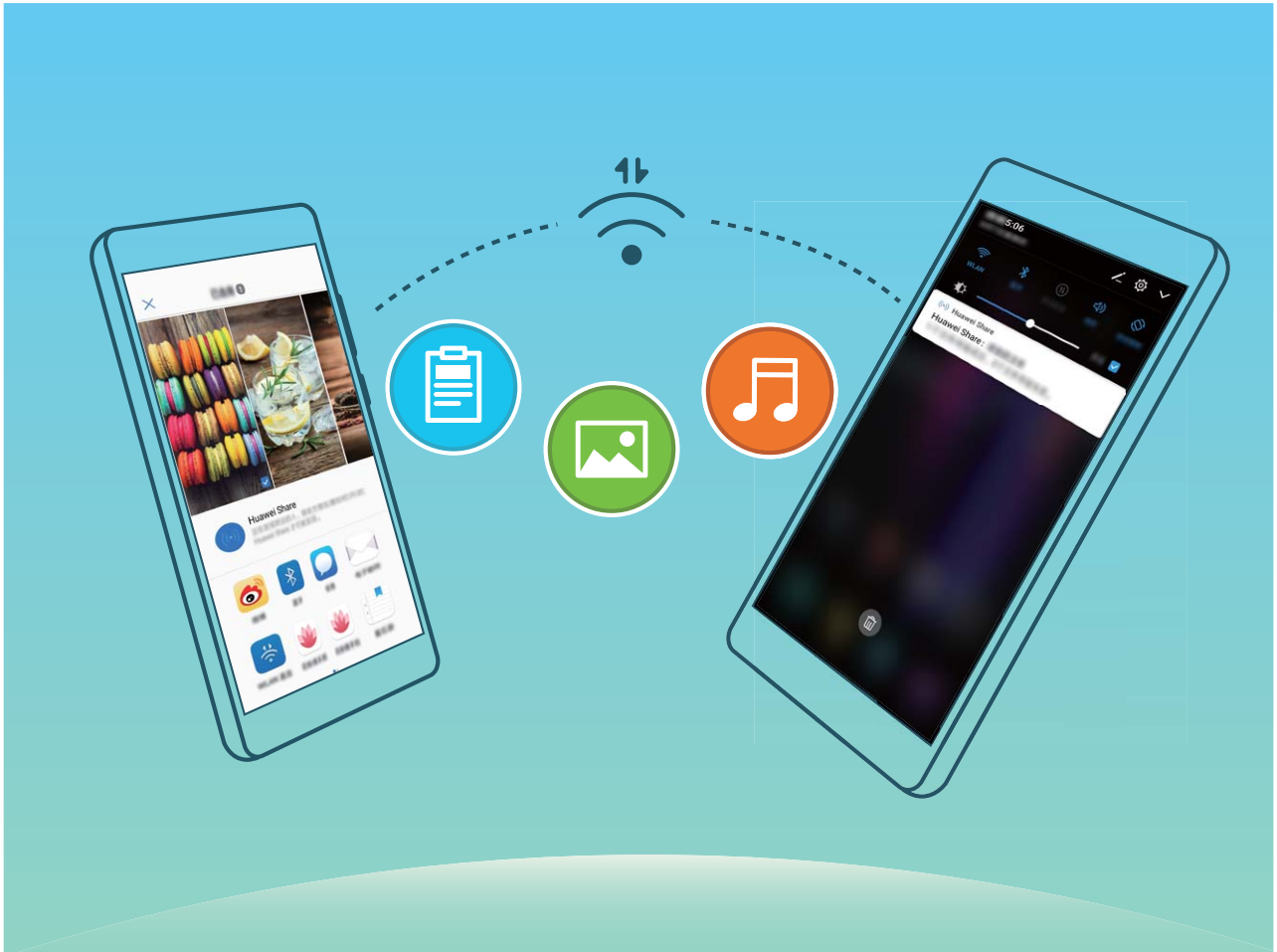
Wi-Fiへの接続:  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動し、**Wi-Fi** を有効にします。接続先のネットワークを選択します。ネットワーク設定によっては、パスワードを入力する必要があります。必要な場合には、画面の指示に従って認証を行ってください。


- **Wi-Fiアクセスポイントの更新:** **スキャン** をタップし、利用可能な無線ネットワークを再検索します。
- **Wi-Fiアクセスポイントを手動で追加する:** メニューの一番下までスクロールし、**ネットワークの追加…** をタップし、画面の指示に従ってネットワークのSSIDとパスワードを入力します。


WPS経由でWi-Fiネットワークに接続する: Wi-Fi画面で  > **詳細なWi-Fi設定** > **WPS接続** に移動します。ルーターのWPSボタンを押し、接続を確立します。WPS経由でWPS対応ルーターに接続すると、パスワードを入力しなくても、すぐにネットワークに接続できます。

Wi-Fi Direct によるデータ転送


Wi-Fi Directでは、Androidでデータを迅速に転送できます。Wi-Fi DirectはBluetoothよりも高速であり、端末をペアリングする必要がありません。短い距離でサイズの大きいファイルを転送するのに適しています。



Wi-Fi Directでのファイルの送信:  **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、**その他** > **共有** > **Wi-Fi Direct** に移動します。送信先の端末が検出されたら、その名前をタップします。接続が確立され、ファイル転送が始まります。

Wi-Fi Directでのファイルの受信: Wi-Fi を有効にします。Wi-Fi設定画面で  をタップし、検出を有効にします。ファイル着信通知を受信したら、**受信** をタップして転送を開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **Wi-Fi Direct フォルダ** 内の **ファイル** に保存されます。

Wi-Fi のオン/オフ


 **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **Wi-Fi** > **Wi-Fi+** に移動して、**Wi-Fi+** の有効化または無効化を選択します。

- ① Wi-Fi+を有効にすると、端末は利用できる最適なネットワークに自動的に接続します。
- エリア内のWi-Fi+信号の強度によっては、Wi-Fi+はモバイルデータネットワークに自動的に切り替わる場合があります。モバイルデータ通信を使用してビデオなどのサイズの大きいファイルをダウンロードまたは表示すると、追加料金が発生することがあります。高額なデータ通信料金を防ぐには、適切なデータプランに加入してください。
- Wi-Fi+を有効にした後は、手動でWi-Fiを無効にした場合でも、以前に接続したことのある有効なWi-Fiネットワークが検出されると、端末はWi-Fiネットワークに自動的に切り替わる場合があります。


インターネット接続

端末から簡単にWi-Fiネットワークに接続できます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

- 1 ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。
- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

モバイルデータ通信経由での接続


- ① モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。
 - 2  をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。
- ② インターネット接続が必要ない場合、モバイルデータ通信を無効にして消費電力とデータ通信量を節約してください。

アプリと通知

ツインアプリ:1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン

LINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思ったことはありませんか？ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

 ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。

 **設定** を開きます。**アプリと通知** > **ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しすることで素早くツインアプリ機能を無効にできます。

ストレージ

ストレージクリーナー

メモリのクリーンアップによるパフォーマンス向上

メモリのクリーンアップを使用すると、キャッシュ、大容量ファイルや不要なファイル、未使用のアプリファイル等をすばやく削除して、システムパフォーマンスを向上させ、端末を最高の状態に保つことができます。


システムのパフォーマンスが低下したり、ストレージの空き容量が少なくなると、端末管理アプリからクリーンアップの通知が表示されます。画面の指示に従って、端末のメモリをクリーンアップし、ストレージの空き容量を確保することができます。

クリーンアップ: 端末の使用に影響を与えずに、不要なファイルとシステムキャッシュをスキャンしてメモリと内部ストレージの空き容量をすばやく確保できます。

ディープクリーンアップ: 大容量のファイル、ビデオ、画像、アプリの残存ファイル、音楽ファイル、不要なインストールパッケージ、未使用ファイル、サイズが大きいファイルなどをスキャンし、そのスキャン結果に基づいてクリーンアップが推奨されます。これにより、重要なファイルを誤って削除することなく、ストレージの空き容量を確保できます。

ストレージクリーナーの有効化

ストレージの空き容量が少なくなると、端末は時間の経過とともに動作が遅くなる場合があります。メモリのクリーンアップを使用してストレージの空き容量を確保し、システム性能を向上させ、端末のスムーズな動作を維持できます。

 **端末管理** を開き、**クリーンアップ** をタップし、スキャンの結果に基づいてメモリとキャッシュをクリーンアップして、端末の性能を向上させます。クリーンアップ後もストレージの空き容量が少ない場合、スキャンの結果とクリーンアップの推奨事項に基づいて、ディープクリーンアップを実行し、より多くのストレージの空き容量を確保することができます。

スマートアシスタント

ナビゲーションバーとナビゲーションメニュー


ナビゲーションメニュー:ワンタップで端末を管理

アプリを閉じたりホーム画面に戻ったりするには、端末の下部にあるナビゲーションバーを使用する必要があります。しかし、これに加えて、ナビゲーションメニューを使って同じ操作を行うことができるようになり、端末がさらに使いやすくなりました。

事前に設定したジェスチャーを使って前の画面やホーム画面に戻ったり、アプリを切り替えたりできます。

ナビゲーションメニュー:どこからでも端末の機能にアクセス

端末でナビゲーションメニュー機能を有効にすると、ナビゲーションボタンを使用せずに、端末を片手で快適に操作できるようになります。


 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー に移動して、ナビゲーションメニュー を有効にします。● が画面に表示されます。その後、任意の位置までドラッグします。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る**: ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム**: ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **バックグラウンドアプリの表示**: ナビゲーションメニューを長押ししてから、左右にスワイプすると、バックグラウンドで実行されているアプリが表示されます。

システム

入力方法の変更




好みに応じて、端末の入力方法を変更できます。

 **設定** を開きます。システム > 言語と文字入力 > デフォルトのキーボード > 入力方法の設定 に移動して、該当する入力方法を有効にします。言語と文字入力 に戻って デフォルトのキーボード をタップし、入力方法を選択します。

ユーザー補助


TalkBack による画面テキストの読み上げ

TalkBackでは、画面上でタップ、選択、または有効にした内容が読み上げられます。視覚障害を持つユーザーが端末を操作できるようにする便利なツールです。

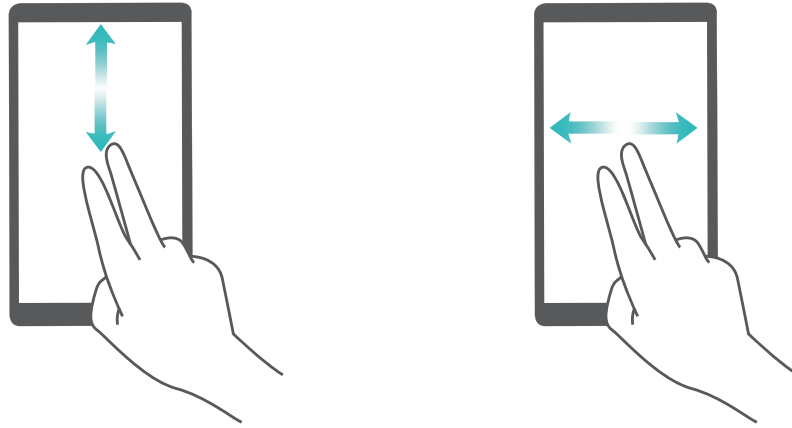
- 1  **設定** を開き、スマートアシスト > ユーザー補助 > TalkBack に移動し、TalkBack設定画面を開きます。
- 2 TalkBack を有効にして OK をタップします。TalkBackを初めて有効にすると、端末でチュートリアルが起動します。チュートリアルをもう一度再生する必要がある場合は、 をタップしてTalkBack設定画面を開き、チュートリアルを起動します。
- 3  をタップし、**タッチガイド** を有効にします。**タッチガイド** が有効になると、端末でタップした内容が読み上げられます。

TalkBack ジェスチャー

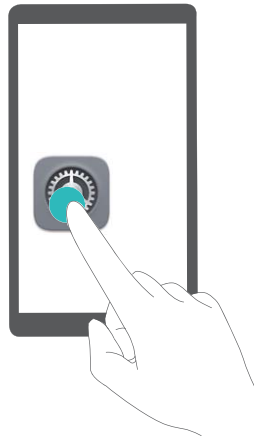
TalkBackでは、端末の操作に特別なジェスチャーを使用します。TalkBackが有効な場合、端末を操作するにはジェスチャーが必要です。

 TalkBackを誤って有効にした場合にTalkBackを無効にするには電源ボタンを長押しし、端末が振動したら2本の指で画面に触れて、3秒以上そのままにすると無効になります。

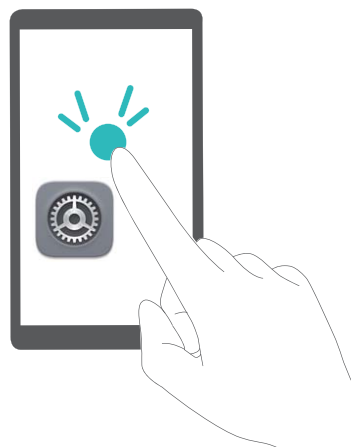
画面を操作する: 2本の指で上下にスワイプすると、メニューリストがスクロールします。左右にスワイプすると、画面間で移動できます。



アイテムを選択する:1本の指でアイテムをタップして、選択します(アイテムは開きません)。端末で選択したアイテムの内容が読み上げられます。




アイテムを開く:1本の指で画面をダブルタップして、前の手順で選択した内容を確定します。



たとえば、**設定**を開くには、**設定** アイコンを1本の指で1回タップしてから、画面上の任意の場所を2回タップします。


TalkBack でのテキスト読み上げの出力


テキスト読み上げ機能では、端末の画面に表示されているテキストが読み上げられます。また、TalkBackサービスでこの機能を使用すると、視覚障害を持つユーザーが端末を操作できるようになります。

 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **ユーザー補助** に移動し、**テキストの読み上げ** を有効にします。使用するエンジンと音声速度を設定して、この機能を有効にします。

色補正を有効にする

色補正設定では、端末で色覚異常の影響を補正できます。


 色補正を有効にすると、色覚が正常なユーザーには一部の色がわかりづらくなることがあります。

 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **色補正** に移動し、**色補正** を有効にします。**補正モード** をタップし、必要な色補正モードを選択します。

一般設定


システム言語の変更

端末のシステム言語の変更は、簡単に行うことができます。

 **設定** を開いて **システム** > **言語と文字入力** > **言語** に移動し、システム言語を選択します。言語リストから言語が見つからない場合、**言語を追加** をタップして言語を追加します。

システムの時刻と日付の設定

海外への旅行時やSIMカードの変更時は、端末には現地のモバイルネットワークから提供された時刻と日付が自動的に表示されます。手動で時刻と日付を調整したり、時刻形式を変更したり、ロック画面にデュアルクロックを設定したりすることもできます。

 **設定** を開いて **システム** > **日付と時刻** に移動します。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **時刻と日付の変更**: **日付と時刻の自動設定** を有効にすると、端末の時刻と日付をモバイルネットワークと同期できます。**日付と時刻の自動設定** を無効にすると、時刻と日付を手動で設定できます。
- **タイムゾーンの変更**: **タイムゾーンを自動設定** を有効にすると、端末のタイムゾーンをモバイルネットワークと同期できます。**タイムゾーンを自動設定** を無効にすると、タイムゾーンを手動で設定できます。
- **時刻形式の変更**: **24時間表示** を有効にすると、時刻形式を24時間に設定できます。**24時間表示** を無効にすると、時刻形式を12時間に設定できます。
- **ロック画面でのデュアルクロック設定**: 海外にいる場合、端末には現地のモバイルネットワークから提供された現地の時刻と日付が自動的に表示されます。**デュアルクロック** を有効にして **ホーム都市** を設定すると、ロック画面にデュアルクロックを表示できます。一方には現地の時刻、もう一方には自国の時刻が表示されます。






端末でのドキュメントや写真の印刷

端末をWi-Fi経由でプリンターに接続すると、ドキュメントや写真を簡単に印刷できます。

- Mopriaでは、端末からMopria認証プリンターに直接印刷できます。プリンターは端末にWi-Fi経由で接続します。
- ご利用のプリンターがMopria認証プリンターではない場合、プリンターメーカーからご利用のモデル用のプラグインを取得してください。


1 端末とプリンターを同じWi-Fiネットワークに接続します。

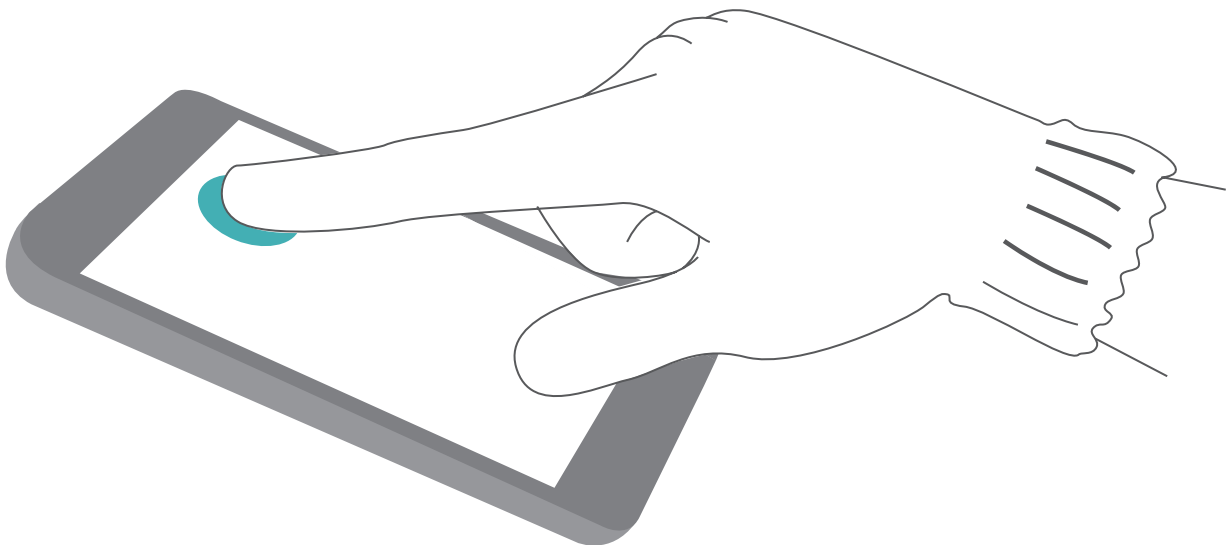
- **プリンターのアクセスポイントへの接続:** プリンターに無線アクセスポイントがある場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってアクセスポイントを有効にし、パスワードを設定します。端末で **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてプリンターのアクセスポイントを選択し、画面の指示に従って接続を確立します。
- **Wi-Fi Directでの接続:** プリンターがWi-Fi Directに対応している場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってこの機能を有効にします。端末で **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にして をタップし、検出されたデバイスのリストから使用するプリンターを選択します。
- **ルーターへの接続:** プリンターのWi-Fiを有効にして宅内のルーターに接続します。端末で **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてルーターを選択し、画面の指示に従って設定を完了します。

- 2  **設定** を開きます。**デバイス接続** > **印刷** > **デフォルト印刷サービス** に移動して **デフォルト印刷サービス** が有効になっていることを確認します。検索結果からプリンターを選択するか、**その他** > **プリンターの追加** をタップして画面の指示に従い手動でプリンターを追加します。
- 3 これで端末から直接印刷できます。
 - **画像の印刷**: **ギャラリー** に移動します。印刷したい画像を開き、**その他** > **印刷またはPDF出力** に移動して、画面の指示に従い画像をプリンターに送信します。
 - **Webページの印刷**: 印刷したいWebページをブラウザで開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
 - **ドキュメントの印刷**: オフィスアプリ等で印刷したいドキュメントを開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
 - **メモの印刷**:  **メモ帳** を開きます。印刷したいメモを開き、 > **印刷** に移動して、画面の指示に従いメモをプリンターに送信します。

グローブモードの有効化


グローブモードを使用すると、冬に手袋を着けているときでも簡単に端末を使用できます。

- 2  **設定** > **スマートアシスト** に移動して **グローブモード** を有効にします。



電源 ON/OFF の時間帯指定

電源の自動ON/OFF機能を使用して、設定した時間に端末の電源をONまたはOFFにすることができます。

- 2  **設定** を開いて **スマートアシスト** > **電源ON/OFFタイマー** に移動し、**電源OFFタイマー** と **電源ONタイマー** を有効にして、電源をON/OFFにする時間と繰り返し設定を設定します。指定した時間に端末の電源が自動的にONまたはOFFになります。

電源ON/OFFの時間帯指定を無効にするには、**電源OFFタイマー** と **電源ONタイマー** を無効にします。



安全なフライトと電池節約のための機内モードの有効化

機内モードを有効にすると、電池の消費も抑えることができます。


 機内では、乗務員の指示に従って端末の電源を切るか、機内モードにしてください。

機内モードを有効にすると、端末は自動的に通話、モバイルデータ通信サービス、Bluetooth、Wi-Fiを無効にします。ただし、BluetoothとWi-Fiは機内モードでも手動で有効にできます。

ショートカットスイッチを使用した機内モードの有効化／無効化：ステータスバーを下にスワイプします。


通知パネルから  をタップし、ショートカットパネルを開いて  をタップします。

設定メニューからの機内モードの有効化／無効化： **設定** を開いて **無線とネットワーク** をタップし、**機内モード** を有効／無効にします。



機内モードを有効にすると、 アイコンがステータスバーに表示されます。

アカウント管理によるアカウントの管理と更新

複数のメールアカウントやアプリ通知、記録を複数の端末やコンピュータと同期したい場合があります。端末を使用すると、他の端末やコンピュータなどさまざまなデバイスで、複数のメールやアプリのアカウントをリアルタイムに管理および更新できます。


-  ● サードパーティのアプリが端末にインストールされている場合にのみ、サードパーティのアプリのアカウントを作成できます。
- 同期できる情報のタイプはアカウントのタイプによって異なります。


 **設定** を開いて **ユーザーとアカウント** をタップします。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **アカウントの追加**：**アカウントを追加** をタップしてアカウントタイプを選択してから、画面の指示に従いアカウント詳細を入力してアカウントを追加します。
- **アカウントの削除**：削除したいアカウントを選択してから、画面の指示に従いアカウントを削除します。
- **アカウントの同期**： をタップして **データの自動同期** を選択し、画面の指示に従って **OK** をタップします。**データの自動同期** を選択しない場合、アカウントを手動で選択して  をタップすることで同期できます。

メモリおよびストレージのステータスの確認


長時間端末を使用していると、メモリとストレージがどのくらい残っているか心配になることがあります。端末のメモリとストレージ情報を確認することで、その使用量を監視し、クリーンアップ実行の必要性を判断できます。

 一部の端末では、microSDカードがサポートされていません。

 **設定** を開いて **ストレージ** をタップし、メモリ、内部ストレージの使用情報を表示して、以下の操作を実行します。**空き容量の確保**：**ストレージクリーナー** を選択して **クリーンアップ** 画面を表示すると、ワンタップでメモリをクリーンアップして空き容量を確保できます

製品情報の表示


ご利用の端末について詳細を知りたい場合、型番、バージョン番号、IMEI、ハードウェア設定、製品仕様、法的情報といった端末の製品情報を確認することができます。

製品情報の表示:  **設定** を開いて **システム** > **端末情報** に移動すると、ご利用の端末の型番、各種バージョン番号、IMEI、ハードウェア設定、ステータス情報、法的情報などを確認できます。

端末名の変更:  **設定** を開いて **システム** > **端末情報** > **端末名** に移動すると、ご利用の端末の端末名を変更できます。

スマート設定を使用して設定を素早く発見

スマート設定を使用すると、設定を簡単に見つけることができます。端末の使用状況に応じて設定の推奨も行われるため、すぐに設定を有効／無効にできます。

 **設定** を開きます。端末側で使用状況に応じて設定を推奨します。検索バーにキーワードや同義語を入力すると、端末に関連する設定がすべて表示されます。



← 設定の検索

法律上の注意事項

法律上の注意事項

Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2018. All rights reserved.

本書は、Huawei Technologies Co., Ltd. およびその関連会社（以下「Huawei」）の書面による事前の同意なくいかなる形式や方法でも、複製または転載することはできません。

本書に記載されている製品には、Huawei およびライセンス許諾者の著作権のあるソフトウェアが含まれている場合があります。いかなる方法によっても上記ソフトウェアを複製、配布、変更、逆コンパイル、逆アセンブル、暗号解読、抽出、リバースエンジニアリング、貸借、譲渡またはサブライセンス許諾を行ってはなりません。ただし、そのような制限が適用法により禁止されている場合、またはそのような行為が各著作権保持者により承認されている場合を除きます。

商標と許可



HUAWEI、HUAWEI と  はHuawei Technologies Co., Ltdの商標または登録商標です。

Android™はGoogle LLC の商標です。

Bluetooth® およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。Huawei Technologies Co., Ltdによるこの商標の使用はライセンス供与されています。

Qualcomm® aptX™  および Qualcomm® aptX™ HD  はQualcomm Inc. (NASDAQ: QCOM) の登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、ドルビーアトモス及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

本書内に記載されるその他の商標、製品、サービスおよび会社名は、それぞれの権利者に帰属します。

注意

本書に記載されている製品とその付属機器の一部の機能は、インストールされているソフトウェア、ローカルネットワークの機能と設定などに依存するため、現地のネットワーク事業者またはネットワークサービスプロバイダによって有効にできない場合や制限されていることがあります。

そのため、本書に記載される説明は、購入された製品またはその付属品と完全に一致しない場合があります。

Huawei は、事前通知または法的責任を負うことなく、本書に記載されている情報や仕様を変更または修正する権限を有しています。

他社製ソフトウェアに関する記述

Huaweiは、本製品に付属されている他社製ソフトウェアおよびアプリケーションの知的財産権を所有していません。そのため、Huaweiは他社製のソフトウェアおよびアプリケーションに対して、いかなる保証もいたしません。また、Huawei は、他社製のソフトウェアおよびアプリケーションを使用するお客様にサ

ポートを提供すること、及び他社製の当該ソフトウェアおよびアプリケーションの機能や性能に関して一切の責任を負いません。

他社製のソフトウェアおよびアプリケーションサービスは、事前の予告なく中断または終了されることがあります。また Huawei はいかなるコンテンツやサービスの可用性を保証いたしません。他社のサービスプロバイダは、Huawei の管理下でないネットワークや送信ツールを使ってサービスやコンテンツを提供します。Huawei は他社のサービスプロバイダが提供するサービスや、他社のコンテンツやサービスの中断や終了に関する補償を行ったり、責任を負わないことを、適用法が許容する最大範囲まで行使します。

Huawei は、本製品にインストールされているソフトウェアの合法性、品質などに関して、あるいは他社がアップロードまたはダウンロードしたテキスト、画像、ビデオ、ソフトウェアなどいかなる形式の制作物に対しても責任を負いません。お客様は、ソフトウェアのインストールや他社の制作物のアップロードまたはダウンロードに起因する、任意またはすべての結果（ソフトウェアと本製品の非互換性など）に対してリスクを負うものとします。

本製品はオープンソースのAndroid™プラットフォームを使用しています。Huawei は、このプラットフォームに対して変更を加えています。そのため、本製品は標準の Android プラットフォームがサポートしている機能をすべてサポートしているとは限りません。また、他社製のソフトウェアと互換性がない場合もあります。Huawei はこうした互換性に対していかなる保証や表明も行わず、明示的に一切の責任を負いません。

免責事項

本書の内容は現状のまま提供されます。適用法により必要とされる場合を除き、本書の正確性、信頼性、内容に関して、販売性、特定目的との適合性などを含む（ただしこれらに限定されない）明示または非明示の保証を行いません。

Huaweiは適用法が許容する最大範囲まで、特殊な損傷、故意による損傷、間接的または誘発的損傷、あるいは利益、業務、収益、データ、信用、または予定していた利益の損失に対する責任を負いません。

本書に記載されている製品の使用に起因して生じるHuaweiの最大責任範囲（この制限は、適用法が当該制限を禁止する範囲まで、個人的な負傷に対する責任には適用されない）は、お客様が本製品に支払った購入代金を上限とします。

輸出入規制

お客様は輸出入に関して、該当するすべての法律および規制に従い、ソフトウェアや技術情報など、本書に記載されている製品の輸出、再輸出、または輸入に必要な全ての公的許可やライセンスを取得する責任を負うものとします。

個人情報とデータセキュリティ

本端末で一部の機能またはサードパーティ製アプリケーションを使用した結果、個人情報やデータが失われたり、第三者によるアクセスが可能になってしまう恐れがあります。個人情報を保護するために、以下に示す措置を講じることをお勧めします。

- 本端末を安全な場所に置いて、不正に利用されないようにします。

- 本端末上で画面ロックを設定し、そのロックを解除するパスワードやロック解除パターンを作成します。
- 個人情報をSIMカード、メモリカード、または本体のメモリに定期的にバックアップします。別の端末に変更する場合、必ず以前の端末の個人情報を移動または削除します。
- サードパーティ製アプリケーションは必ず正規の場所から入手してください。ダウンロードした他社製アプリケーションに対して、ウイルスチェックを実行してください。
- Huaweiや正規のサードパーティ製アプリケーション提供者がリリースしているセキュリティソフトやパッチをインストールしてください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報が危険にさらされる可能性があります。ご利用の端末のオンラインによる更新機能から更新するか、Huaweiの公式ウェブサイトから該当する製品モデルの正規の更新パッケージをダウンロードすることをお勧めします。
- 一部のアプリケーションでは位置情報の要求や送信を実行します。結果的に、サードパーティが位置情報を共有することができる場合があります。
- サードパーティ製アプリケーション提供者のなかには本端末の検出情報や診断情報を収集する場合がありますが、これは自社の製品やサービス向上のために使用されます。
- Huaweiや正規のサードパーティ製アプリケーション提供者がリリースしているセキュリティソフトやパッチをインストールしてください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報が危険にさらされる可能性があります。ご利用の端末のオンラインによる更新機能から更新するか、Huaweiの公式ウェブサイトから該当する製品モデルの正規の更新パッケージをダウンロードすることをお勧めします。
- 一部のアプリケーションでは位置情報の要求や送信を実行します。結果的に、サードパーティが位置情報を共有することができる場合があります。
- サードパーティ製アプリケーション提供者のなかには本端末の検出情報や診断情報を収集する場合がありますが、これは自社の製品やサービス向上のために使用されます。

防水防塵

本端末は管理された試験において、防水防塵の認定を受けています。防水防塵性能の等級は国際規格IEC 60529に基づくIP53です。防水防塵性能は、永続的に維持されるものではなく、経年劣化により、耐性が低下する可能性があります。本端末は濡れた状態で充電しないでください。

水による損傷を防ぐために、以下のことは行わないでください。

- シャワーを浴びる際や水泳、セーリング、サーフィンを行う際に本端末を携帯するなど、本端末に水圧をかけたり、本端末を水の流れる場所で使用すること。
- サウナ、温泉、浴室など、高温・多湿の環境で本端末を使用すること。
- 塩水、アルコールや糖分を含む飲料、化粧用ローション、洗浄剤など、純水以外の液体を本端末にかけること。
- 意図的に本端末を水没させたり、損傷を引き起こすおそれのある場所に置くこと。
- 本端末が濡れた状態で付属品に接続したり、充電すること。

- 本端末に衝撃を与えたり、正規の修理担当者以外の人物が分解すること。
- カードトレイが正しく挿入されていない状態で本端末を使用すること。

本端末が濡れてしまった場合、以下の点に従ってください。

- 本端末を乾かす際は、電子レンジやドライヤーなどの熱風を使用しないでください。また、綿棒やティッシュペーパーなどを充電ポートやスピーカー穴に突っ込んだりしないでください。
- 本端末に付いた水分を完全に拭き取り、湿気のない風通しのよい場所に置いてください。本端末を扇風機の前に置き、充電ポートやスピーカー穴に対して冷風をあててください。これにより、本端末の乾きがはやくなります。
- 本端末を水の中に落としてしまった場合や、マイク、受話口、スピーカーが濡れた場合には、通話時の音声クリアに聞こえなくなるおそれがあります。この問題を解決するには、上記を参照して措置を講じてください。
- 本端末が濡れた場合、本端末を付属品に接続しないでください。清潔な柔らかい布（カメラレンズ用の布など）を使用して、本端末に付いた水分を拭き取ってください。すぐに充電したりせず、本端末が十分に乾いたことを確認してから充電または付属品への接続を行ってください。対応方法が不明な場合、本端末をお近くのHuaweiサービスセンターに持って行き、サポートを受けてください。
- 本端末の表面には、撥油（耐油）層が形成されています。ただし、撥油層は経年劣化します。掃除や、腐食性の物質により、撥油層の撥油力が低下し、本端末が損傷する場合があります。
- また、撥油層が形成されている場合でも、特定の状況では、本端末が損傷する場合があります。

ヘルプの取得


付属のクイックスタートガイドをお読みください。

法的情報を確認するには、設定 > システム > 端末情報 > 法律情報 をタップしてください。

詳細については、<http://consumer.huawei.com/jp/>を参照してください。

本書は参考用です。色、サイズ、および画面のレイアウトを含む（ただしこれらに限定されない）実際の製品は異なる場合があります。この取扱説明書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示または非明示の保証を行うものではありません。

注意：ご利用の端末で最後にログインしたGoogleアカウントを覚えておいてください。
信頼できない工場出荷時設定への復元時に、Googleの盗難防止メカニズムでは、ID認証のために、端末で最後にログインしたGoogleアカウントを起動ナビゲーション画面で入力する必要があります。ID認証を通過後、ご利用の端末の電源を正常に入れることができます。

 The N-Mark is a trademark or registered trademark of NFC Forum, Inc. in the United States and in other countries.

ご利用の国や地域の最新のホットラインおよびメールアドレスについては、<http://consumer.huawei.com/en/support/hotline> をご確認ください。

モデル：EML-L29

EMUI 8.1_02

Qualcomm[®]
aptX[™]

